

Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

テクニカルサポート

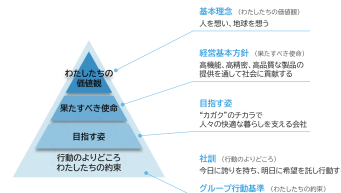
テクニカルサポートトップ

ベルト設計支援ソフト

TOP - サステナビリティ



トップメッセージ
TOP MESSAGE



理念体系
Philosophy System



サステナビリティ戦略
Sustainability Strategy

ESG Initiatives

ESGの取り組み



環境 (Environment)

環境ガバナンス体制

気候変動に係る取り組み

エネルギーマネジメント

資源循環社会実現に向けた取り組み
①環境配慮型製品の開発

資源循環社会実現に向けた取り組み
②廃棄物削減の取り組み

生物多様性の保全に向けた取り組み

水資源保全に関する取り組み



社会 (Social)

「人財戦略の強化」
人的資本経営の推進

人権の尊重

バリューチェーンマネジメント
①調達活動

バリューチェーンマネジメント
②安全と健康

バリューチェーンマネジメント
③品質保証活動

地域社会とのパートナーシップ



ガバナンス (Governance)

コーポレートガバナンスに関する取り組み

コンプライアンス

リスクマネジメント

BCP (事業継続計画)

情報セキュリティ



ESGデータ

Reports

各種レポート

INTEGRATED
REPORT
2024

MITSUBOSHI
三ツ星ベルト株式会社
統合報告書 2024

Reports Download

各種レポート ダウンロード

統合報告書 (2024年)、サステナビリティレポート (2023年)、CSR報告書 (2018年～2022年) および環境報告書 (～2017年) はこちらよりダウンロードいただけます。

＞ ダウンロードページを見る

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

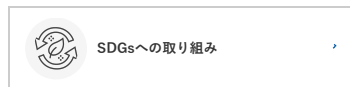
- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

テクニカルサポート

- テクニカルサポートトップ
- ベルト設計支援ソフト

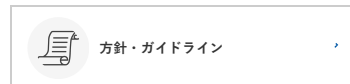
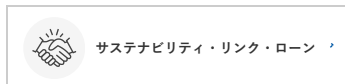
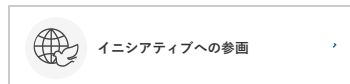
SDGs initiatives

SDGsへの取り組み



Related Information

関連情報



Sustainability Archives

サステナビリティ アーカイブ



三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

ブログ

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

©2025 Mitsuboshi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — トップメッセージ

TOP MESSAGE

創業より受け継がれる精神と企業文化

私たち三ツ星ベルトには、1919年の創業から連綿と受け継がれてきた価値観と企業文化があります。創業時の理念は“真心のこもった商品を作れ”。この精神を起点とし、「もっと良い製品を作ろう、社会の、人の役に立てる会社になろう」ーそのような想いで私たち三ツ星ベルトは事業を行ってまいりました。そして、お客さまや社会の課題一つひとつに真摯に向き合い続けることで技術力が磨き上げられ、また、品質第一主義を貫き、単に規模・利益の拡大を追い求めることはせず、社会との共創を目指してきた企業文化は、今なお私たち三ツ星ベルトに深く根付いています。



三ツ星ベルト株式会社
代表取締役社長：池田 浩

「ありがたい姿」の実現に向けて

こうした企業文化・DNAを大切にしながらも、持続可能な社会の実現に向け、経済価値と社会価値を共に創出し続ける事業運営を目指し、当社は今変革を進めているところです。

2022年5月、当社は、'21中期経営計画の見直しを行うと共に、2030年度の「ありがたい姿」を発表しました。「ありがたい姿」実現に向けては、収益性、資本効率性、株主還元、ESGなど各々にKPI目標を設定し、これらの達成に向けた種々の施策の取り組みを進めているところです。また、2023年には、新たに『目指す姿』を制定するとともに、基本理念・経営基本方針・社訓などを一つの理念体系として整理しました。改めて言うまでもありませんが、変革を実現する最も大切な要素は人材であると考えています。「当社の全ての従業員が、同じ価値観・想いをもってそれぞれの“チャレンジ”に取り組んでいける。」ー「ありがたい姿」実現に向け、そのような企業風土の醸成にも注力しています。

収益性	売上高：1,000億円、営業利益額：130億円
資本効率性	ROE：10%
株主還元・設備投資	中長期的な企業価値向上を図る資本政策
人財戦略	変革を推進する人財の育成
ESG	持続可能な社会の実現への貢献（社会的・経済的価値の向上）

チャレンジしないことが、最大のリスクになる

当社を取り巻く市場環境の変化は著しく、そのスピードは加速しています。自動車産業においては、自動運転やEV化といった技術革新が進み、産業構造に劇的な変化をもたらしています。このような状況下で“現状維持”を図ることは、時代のニーズに対応できず、持続可能性を著しく損なうリスクを伴います。当社にとって最大のリスクは“チャレンジをしないこと”であると私は考えています。

当社の事業は新規参入が難しいニッチな業界であることから、これまでの当社の企業風土は保守的なものであったと感じています。2030年度の「ありがたい姿」における人財戦略で掲げる「変革を推進する人材の育成」を実現するためには、先に触れた、これらも大切にするべき価値観を守りながらも、変えるべき風土については躊躇なく変えていくことも必要となります。組織の変革は、単なるプロセスや施策の導入ではなく、従業員一人ひとりの意識と行動に根差しています。したがって、私は2021年6月の社長就任以来、折に触れてグループ全体に「チャレンジしよう」というメッセージを発信してきました。一朝一夕には実現しませんが、私自身が先頭に立ち、組織の意識改革に取り組んでいきたいと考えています。そして、意識の変化が自発的な行動を生み、当社従業員一人ひと

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

りが変革の主役として活躍できる環境整備にも取り組んでいます。

『目指す姿』の制定および理念体系の整理については前述の通りですが、これを契機に従業員一人ひとりのエンゲージメントを高め、それを組織全体の行動変容につなげることで持続的な成長と競争力の強化を図ります。

また、“チャレンジ”を実践するに際しての会社としてのメッセージに従業員に明確に伝えられるよう、2023年度には従来の人事評価制度を改め、コンピテンシー評価を取り入れた新たなものと刷新いたしました。これにより、失敗することのリスクを恐れず挑戦的な取り組みへの新たな一歩を踏み出すことを後押しできればと考えています。

これら施策の結果、多くの業務プロセスにおいて、前例踏襲を良しとしない新たなアプローチ・提案が多くの従業員から上げられるようになっており、また、組織のヒエラルキーに関わらず活発な議論が行われている様子を目にする場面が増え、企業風土改革の手応えを感じています。今後は、外部人材も含めた多様な方々の能力を掛け合わせることで収益性向上への大きな推進力を生み出し、さらなる企業風土改革に取り組みます。

変革の進捗状況 ～'21中期経営計画の振り返り

2030年度の「ありたい姿」実現のための第1フェーズ：「基盤強化期間」として位置付けた'21中期経営計画では、2年目の2022年度に、企業価値向上を強く意識した資本政策へと抜本的な見直しを行い、収益性向上とバランスシート改善のための各種施策に取り組んでまいりました。結果、2021年度末時点で660億円であった当社の時価総額は、2023年度末（'21中期経営計画最終年度）には1,452億円と2年間で2.2倍となり、売上高、設備投資額、配当性向、ESGなどの項目においてもKPI目標を計画通りに達成することができました。一方で、ROEについては、政策保有株式の市場価格上昇などにより資本が増えたことでKPI目標未達となり、'24中期経営計画に向けての課題の一つとなりました。

成長と企業価値の向上へ ～'24中期経営計画

2024年度からは、「ありたい姿」実現のための第2フェーズ：「成長加速期間」として位置付けた'24中期経営計画が始まります。フェーズ名称の通り、前'21中期経営期間中に強化してきた事業基盤を活かし、確実な成長と企業価値の向上に取り組んでいかなければなりません。

'24中期経営計画では、収益性・資本効率性などのKPI目標を設定すると共に、企業価値向上に向け、「収益性向上」と「バランスシート マネジメント」の2つの柱を設定しました。

収益性向上のための施策では、「DX化推進」、「技術開発強化」、「事業ポートフォリオの最適化」などを施策として設定しましたが、なかでも当中期経営期間における最重要課題として「人財戦略強化」に取り組みます。変化の著しい事業環境や顧客ニーズに迅速に対応し持続的な成長を実現するためには、新しい発想と変革を恐れないチャレンジを是とする企業風土への変革が不可欠です。個の力を最大化に引き出し、それら個の力の結集がシナジー効果を生み、強固な組織力に変えていく。—こうしたビジョンを具現化するための戦略的施策の展開を現在進めているところです。

バランスシート マネジメントにおいては、「成長投資・経営基盤強化」、「資産効率向上」、「株主還元」の3つの戦略に注力して取り組みます。前計画からの継続施策に加え、当中期経営計画期間においても、大きな投資効果が見込まれる「革新的な生産ラインの導入」や「脱炭素化推進に大きく貢献する工法」の実現を通じ、収益性の向上と競争力の強化を図り、これにより、資産効率の向上と株主還元の最大化を目指します。株主の皆さまへの利益還元は、当社の経営における重要な方針の一つであり、成長投資に必要な資金を確保しつつ、株主還元を充実させることを基本方針としています。株主還元についての2026年度のKPIでは、当期純利益に左右される「配当性向」を改め、株主の皆さまへの還元がどの程度であるかを明確にするために、その指標にDOE（自己資本配当率）を採用することとしました。2026年度のKPIをDOE：5.4%程度とし、1株当たりの配当金は180円以上とすることを計画しております。

事業戦略 ～顧客価値に着目した共創型ビジネス

各事業の戦略については、基本方針を「顧客価値に着目した共創型ビジネスモデルの推進」とし、コア事業であるベルト事業の体質を強化し更なる収益性の向上を図ります。

共創型ビジネスモデル

当社は創業以来100年以上にわたり、お客さまや社会の課題一つひとつに真摯に向き合い続けることで新たな製品やソリューションを創出し、時代ごとの社会課題の解決に貢献するとともに、ステークホルダーとの価値共創を実現してきました。当社の強みの一つである共創型ビジネスモデルの深化により、お客さまが抱える課題、そしてその延長線上にある社会の課題を的確に捉え、顧客価値を最大化することで更なる競争優位性の確立を目指します。

コア事業の体質強化

私たちの製品は自動車をはじめとし、農業機械、各種産業機械、または環境関連装置・設備など、多種多様なあらゆる機械・機器に使用されています。市場環境の変化が著しい現代において、今後も持続可能な形で収益性を向上させ続けるためには、各業界・市場ごとの成長性や収益性の分析が必要であることは言うまでもありません。当社では現在、最適な事業ポートフォリオの実現に向けた分析を進めているところであり、これにより、今後のコア事業のより一層の体質強化を図ってまいります。



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

ESG経営における当社の取り組み

私が社長に就任して以来、ESG経営の推進を当社の戦略的な変革の一つとして位置付けました。基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献できる企業づくりを強く推進しています。

脱炭素社会の実現に向けたCO₂排出量削減活動の推進はもちろんですが、現在当社が注力している施策の一つに、サステナビリティをコンセプトの根幹においた次世代製品の開発が挙げられます。当社はこれまでも、自動車の燃費改善や、設備の省エネルギーに貢献できる種々のベルトを開発・販売していましたが、これらの製品に加え、例えば、非化石由来またはリサイクル材料の使用比率を70%にまで引き上げた製品等の開発を進めており、これら製品の販売により、当社の製品が一層の環境負荷軽減に寄与し、社会的価値の創出に貢献することを目指しています。

前述した人財戦略のほか、人権の尊重に係る取り組みも、企業が社会の一員としてその責任を果たし、持続可能な成長を実現するための必須条件です。三ツ星ベルトグループにおいても、すでに策定済みの「人権方針」、「調達方針」に加え、2024年2月には「調達ガイドライン」を制定・開示し、サプライチェーン全体での人権デューディリジェンス推進の取り組みを進めているところです。

ガバナンスに関しては、経営の透明性と信頼性向上のための種々の取り組みを進めています。社外取締役の割合を1/3以上とし、取締役の任期を2年から1年に変更するなど、ステークホルダーの皆さまとの対話を通じ頂戴したご意見も取り入れながら、エンゲージメントの向上にも引き続き取り組んでまいります。

最後に



「ありがたい姿」実現に向けた取り組みを開始してから3年目を迎えましたが、私たちの取り組みにゴールはありません。2030年度の「ありがたい姿」の実現を一つのマイルストーンとし、50年先、100年先にも持続可能な社会の実現に貢献できる会社であり続けることが当社の重要な使命であると考えています。

サステナビリティページでは、当社の現在および未来に向けた取り組みに加えて、当社のこれまでの歩みにも焦点を当て、価値創造プロセスをはじめとする種々のコンテンツを丁寧にお伝えさせていただきます。三ツ星ベルトは、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまとの価値共創の実現に向けた“チャレンジ”を引き続き推進してまいります。今後とも当社事業活動へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年9月

代表取締役社長

池田 浩

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
フリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

ブログ

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

Value Creation Stories

価値創造ストーリー

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

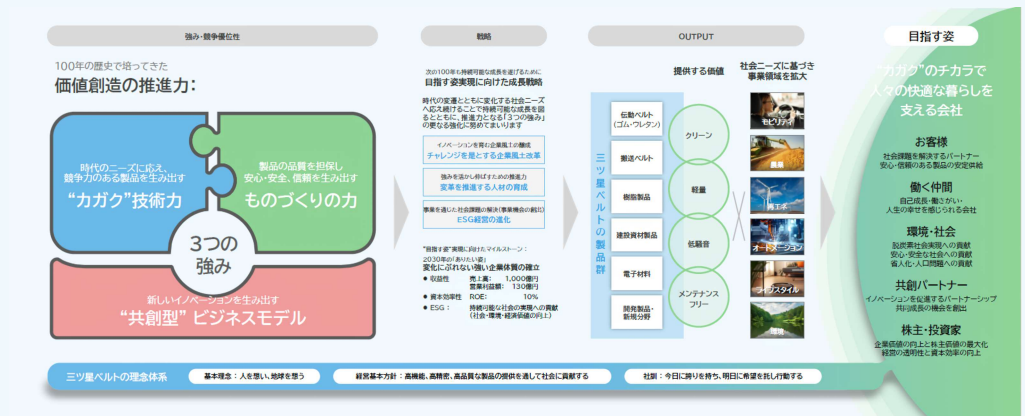
その他製品

TOP — 企業情報 — 価値創造ストーリー

価値創造プロセス

三ツ星ベルトグループは、1919年の創業よりお客さまや社会の課題の一つひとつに真摯に向き合うことで独自の強みを築いてまいりました。

磨き上げてきた技術力と、製品の品質を担保し安定した供給を実現するものづくりの力、そして共創型ビジネスモデルの3つの強みを活かした成長戦略の遂行により、さらなる社会価値の創出に取り組むとともに持続的な企業価値の向上を図り、私たちの「目指す姿」を実現してまいります。



培ってきた3つの強み 培ってきた3つの強み



三ツ星ベルトグループの強みは、100有余年にわたる経験と技術の蓄積によって連続と受け継がれてきたものです。私たちは、3つの強みを価値創造の推進力とし、次の100年に向けて新たな挑戦に取り組んでまいります。

時代のニーズに応え、競争力のある製品を生み出す

“カガク”技術力

- 三ツ星ベルトは、工業用ベルトを始めとする製品群の開発・製造を通して“カガク”技術の研究・発展に取り組んでまいりました。当社製品の主要な構成材料であるゴムの高機能化には、ポリマーや添加剤の選択、そして架橋に代表される化学反応を制御する高度な“化学”技術が不可欠であり、また、製品への要求品質を満足するためにはどのような材料特性が必要かを解析・評価するために、材料工学や構造解析などの“科学”技術が欠かせません。

- 当社は、1919年の創業以来お客さまや社会課題の一つひとつに真摯に向き合うことで

安心・安全、信頼を生み出す

ものづくりの力

- 優れた製品を開発する技術力と同等に重要になるのは、その製品を確実に安定して生産し、高い品質を担保するものづくりの力です。当社は、世界のどこで生産しても同じ品質を担保できるマネジメントシステムによって、高いレベルで品質保証を行うことが出来る数少ないメーカーとしてお客さまの信頼を獲得しています。

- 当社がグローバルベースでのものづくりにおいてマザー工場と同等の品質を担保できる大きな要因の一つは、国内外すべての工場で使用される主要な生産設備が、エンジニアリング本部による自社設計・自社製造のものであることにあります。

新しいイノベーションを生み出す

“共創型” ビジネスモデル

- 当社の主力製品であるベルトは、様々な機械において動力源からチカラを伝える役割を果たすものであり、あらゆる動力伝達システムにおける重要なコンポーネントです。どのような高性能の機械であっても、使用される1本のベルトの動きが止まれば、その機械そのものの機能も停止してしまいます。当社の製品・技術は機械に投入されて価値を発揮するものであり、これまで私たちは長年にわたり蓄積してきた技術を活用し、お客さまやパートナー企業さまとの協働によって新たな事業領域を開拓してきました。

- 当社は創業当初より代理店とのパートナーシップを大切にきた事業活動を行っていま



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品



蓄積してきた膨大な技術的知見・ノウハウを有しており、これら“カガク”技術を駆使し社会のイノベーション創出に果敢に挑戦しています。蓄積してきた技術的知見・ノウハウとは、例えば製品性能の制御因子および当社独自の材料技術や製品評価・解析技術などが挙げられます。

- 当社は、ゴム配合、その他材料の組み合わせ、形状など、製品のどこをどう変更すればどういった結果が得られるかといった製品性能を制御するあらゆる因子を広範かつ深遠に把握しています。そして、それら開発した製品に対してお客さま視点で総合的かつ多角的なシミュレーションや試験を行う製品評価・解析技術も当社の強みの一つです。
- 当社がお客さまの使用目的・条件に基づいて最適なシステムを提案することができるのは、これらの“カガク”技術力において大きな優位性を有しているからです。

■ 自社設計・自社製造の生産設備によりグローバルで同じ品質を保つことができるだけでなく、お客さまの多様なニーズに応えるための製造プロセスのカスタマイズも容易であり、これによりお客さまの要求や市場の変化に対する柔軟かつ迅速な対応を実現できています。

- 上述の生産設備のほかにも、当社は自社の厳しい品質保証基準を満たすために中間消費財のメーカーとしては類を見ない規模でのベルト評価設備を有しており、各業界においてお客さまの開発段階からその性能評価で重要な役割を果たしています。
- また、当社は独資による海外展開をグローバル方針の一つとしており、これにより最先端製造設備の積極的なグローバル展開を実現しています。

す。代理店と共に市場のニーズを捉えることで自社だけでは発掘しきれない新たなビジネスチャンスを創出し、そして各案件に柔軟かつ迅速に対応することで、顧客には最適なソリューションを提供しています。代理店との“共創”は、当社の強みを一層強固にし、持続的な成長を支える競争力の源泉の一つとなっています。

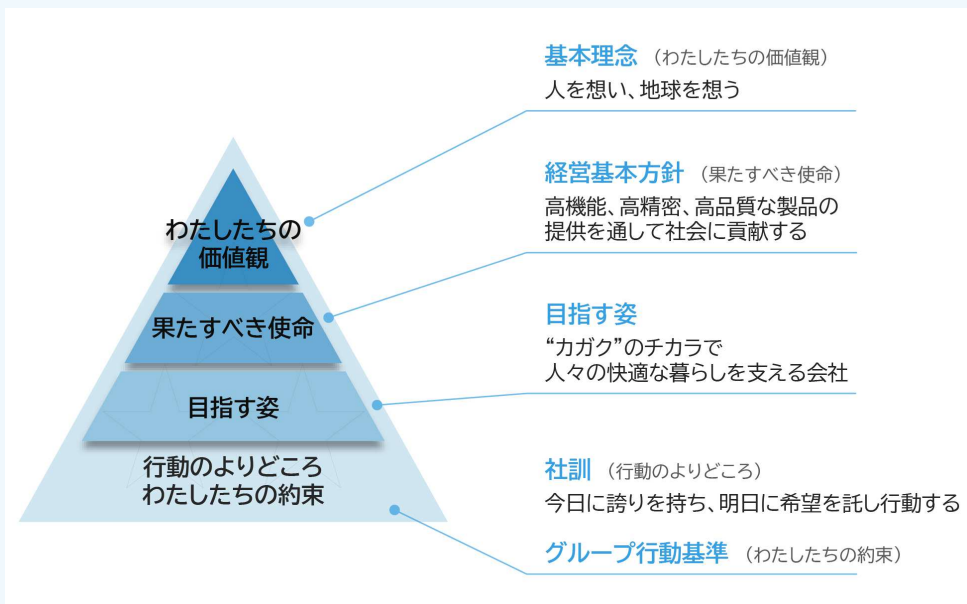
- 顧客志向の営業活動によりお客さまの抱える課題を的確に把握し、数多くの技術開発を進めてきた結果、お客さまとの協働により新たな製品やソリューションを生み出し、長い歴史の中で製造業のもののづくりや人々の生活を支えてきました。これには、地下水の揚水ポンプや灌がい用ポンプなど、ベルトがその機能を失うことにより人々の暮らしへ重大なインパクトを与えるものも多く含まれます。
- 学術機関とのイノベーション取り組みなどを通じて世の中の潮流変化を先取りし、自社のソリューション力を社会に提供することで、企業の成長と価値創造を推進してまいります。

創業の精神と理念体系

創業より受け継がれる品質第一主義のDNAと社会と寄り添い共に歩む企業文化

1919年、小田源蔵、中村真次郎、小島楠吉の出資により三ツ星商会が創立されました。木綿ベルトの生産に始まった当社はその後時代の社会課題・社会情勢に応じて製品群・事業領域を拡大し、“伝える”“運ぶ”の両面から社会の発展に貢献してきました。品質第一の精神と社会と共生・協働する企業文化は、今なお三ツ星ベルトグループに深く根付いています。

三ツ星ベルトの理念体系



グループ行動基準の全文は、[こちら](#)にてご確認いただけます。

1919年、創業の精神 -真心のこもった商品を作れ

1919年、三ツ星ベルト(創業時社名:三ツ星商会)は木綿ベルトを手掛ける会社としてその歩みをスタートさせ、日本の産業勃興期にあたるこの時期、三ツ星商会はベルトの動力伝達により鉄鋼、産業機械、非鉄金属など近代産業の発展に貢献しました。

創業時に掲げられた基本理念は“真心のこもった商品を作れ”、“一步一步堅実に歩め”。今日にも続く三ツ星ベルトのDNAはここから始まり、創業からの100有余年、わたしたちは「品質を作り、品質を売る」という“ものづくり”を実直に行ってまいりまし



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

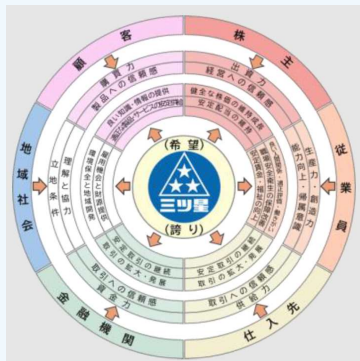
- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産業用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



創業者 小田源蔵



完成当時の四国工場(1947年)



1965年の基本理念展開図

三ツ星ベルトの『目指す姿』とは？

“カガク”のチカラで人々の快適な暮らしを支える会社

私たちの製品を直接目にすることは多くないかもしれませんが、三ツ星ベルトの製品は、自動車や二輪車、プリンタなどのオフィス機器、ATM、レジスター、および洗濯機やコーヒーメーカー等の各種家電など多種多様なあらゆる機械・機器に使用されています。私たちの製品はほんの小さなものかも知れませんが、どの機械、機器においても、当社のベルトが無ければそれら機械・機器は機能しません。“三ツ星ベルトの製品一つ一つが人々の暮らしを支えている。”私たちはそんな気概を持ってものづくりに取り組んでいます。



三ツ星ベルトのあゆみ

～ グローバル体制を構築 ～

1919年の創業当初より、品質にこだわった“ものづくり”、そして代理店とのパートナーシップを大切にする経営方針により発展を遂げてきました。

時代と共に事業領域・製品ラインナップを拡大。当社製品の品質の高さは国内外での市場で認知され、業界のリーディングカンパニーとしての地位を確立していきました。

社会情勢					
1919	1930	1940	1950	1960	
● 近代日本の産業発展期	● ウォーレス大企業・世界市場		● 高度経済成長期 ● ミッドセンチュリーの大企業	● インフレーションの急増 ● 都市化の進展・人口増加	

三ツ星ベルトの軌跡

1919

■ 近代日本の産業発展を支える

1938

■ 共創型ビジネスの礎

1959

■ パートナーシップのシンボル・本音で

1960

■ 国内外でのインフラ整備・社会に貢献

た。

品質第一主義のDNA

“事業百年の生命を思えば、妥協は許されない。断固、品質第一主義を採る”

1945年、第二次世界大戦終戦後の日本では、戦災によりインフラストラクチャーは壊滅的な被害を受け、社会は困窮を極めていました。そうしたなか生産再開に踏み切った三ツ星ベルト(当時社名:三ツ星調帯)は、「極端に物資が枯渇している今、多少品質は落ちても顧客は飛びついてくるだろう。そうした人たちを相手に量産に乗り出し、利益を図るのがいいのか。それとも従来の伝統を守って、品質本位か。事業百年の生命を思えば、妥協は許されない。断固、品質第一主義を採る。」と表明。混迷を極めた時代においても品質を大切にする精神は守られ、三ツ星ベルトの事業は今に続いています。

社会と共に歩む企業文化

「三ツ星を中核とする総関係者が、今日の三ツ星に誇りを持ち、明日の三ツ星に希望を託すことに信念を持って行動する」

1965年、三ツ星ベルトは創業45周年を転機として基本理念を見直し、上記理念が制定されました。

株主、顧客、金融機関、仕入先、従業員、地域社会を当社事業の“総関係者”と位置付け、協働して経済価値、社会価値を向上させようとするこの考え方は、現代で言うマルチステークホルダー経営そのものであり、三ツ星ベルトは実に1960年代からそうした事業運営に取り組んでいます。

1965年当時のこの基本理念は、その後文言を一部修正のうえ現在の当社社訓となっており、調和ある事業運営を目指す三ツ星ベルトの持続可能な発展を支えるバクボーンとして長く継承されています。

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

© 2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.

YouTube



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — サステナビリティ戦略

サステナビリティ戦略

サステナビリティ経営に対する考え方

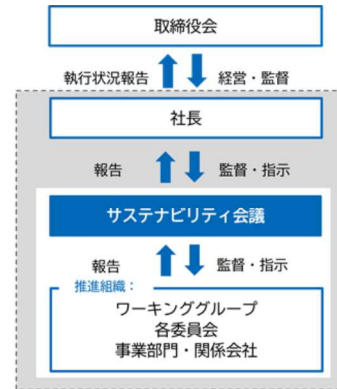
三ツ星ベルトグループは、基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、企業価値と環境・社会価値のトレードオンを図るべく、ESG経営の実践に取り組んでいます。

2030年度の「ありたい姿」においては、「持続可能な社会の実現への貢献（社会的・経済的価値の向上）」を掲げ、特定したマテリアリティを主とする各ESG課題の解決に取り組んでいます。

サステナビリティ経営の推進体制

環境や社会に対する企業の果たすべき役割がより大きくなった現在において、三ツ星ベルトグループが果たすべき役割と存在意義を改めて見つめ直し、ESG経営を迅速かつ効果的に実行することを目的として、2022年4月、代表取締役社長が委員長を務めるサステナビリティ推進委員会を設置いたしました。2024年7月にその役割と機能の一層の強化を図るべく、同委員会を「サステナビリティ会議」として新たに位置付けて、より実効性のある運営体制としております。

特定したマテリアリティについては、課題ごとに推進組織が設定され（推進組織は、各委員会、事業部門、またはサステナビリティ会議の直轄組織となるワーキンググループが担当）、各課題解決への取組みおよびKPI管理が行われます。それら取組みの進捗状況はサステナビリティ会議に報告され、同会議により、監視、指示、判断、評価されています。また、サステナビリティ会議の活動内容は、必要に応じて取締役会に報告、最終決定され、サステナビリティに関する執行側の取り組みを監督しています。



a. サステナビリティ会議構成

- ☐ 委員長：代表取締役社長
- ☐ 委員：取締役 4名、執行役員 4名、部長 3名
- ☐ オブザーバー：監査役 1名
- ☐ 事務局：サステナビリティ推進室

b. サステナビリティ会議体制

- ☐ 開催頻度：1回/月（2024年度開催実績：12回）
- ☐ 審議内容：
 - グループ全体のサステナビリティ課題戦略の策定、進捗状況の監督および助言
 - マテリアリティの各実行課題取組み状況に関する討議
 - 取締役会で審議すべきサステナビリティ課題の特定と取締役会への上申

c. サステナビリティ会議主要議題一覧（2024年度）

開催時期	カテゴリー	主要議題
第1四半期	E	2023年度CO ₂ 排出量、水資源、廃棄物などの実績報告
	E S G	マテリアリティとKPIの見直しについて
	E S G	統合報告書のコンテンツについて
	E S G	有価証券報告におけるサステナビリティ情報の開示について
第2四半期	E	ESGに係る法規制（EUDR等）への対応状況について

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

開催時期	カテゴリー	主要議題
	S	人権デューディリジェンスの推進について（2024年度の計画）
	E	サステナビリティ・リンク・ローンにおける第三者検証結果報告
	E S G	第三者評価機関（CDP）への回答内容について
第3四半期	S	サプライチェーンにおけるサステナビリティの取り組みについて
	E	2030年に向けたCO ₂ 排出量削減施策および計画について
	S	人的資本経営推進に係る施策について(行動規範ハンドブックの作成)
	E S G	SDGs推進委員会の活動内容について
第4四半期	S	人権デューディリジェンスの推進について（グリーンバンスメカニズムの構築）
	E	サーキュラーエコノミー推進の取り組みについて
	E	環境配慮型製品の開発体制強化について
	E S G	SSBJによるサステナビリティ開示基準への対応ついて

ESG課題に関するマテリアリティ

環境および社会課題の解決を企業活動の前提条件と捉え、持続可能な社会の実現に貢献するため、取り組むべき重点課題（マテリアリティ）を特定し、また実行施策ごとのKPIを設定しました。

マテリアリティの特定

三ツ星ベルトグループが取り組むべき重点課題（マテリアリティ）

三ツ星ベルトグループは、基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、持続可能な社会の実現に貢献するため、当社グループが取り組むべき重点課題（マテリアリティ）を特定しました。「環境」、「社会」、「ガバナンス」のESG課題の解決に向けた積極的な活動の展開を目指します。

確実に迅速な目標達成を目指して

2022年4月、社長が委員長を務めるサステナビリティ推進委員会を設置し、2024年7月にその役割と機能の一層の強化を図るべく、同委員会を「サステナビリティ会議」として新たに位置付けて、より実効性のある運営体制としております。三ツ星ベルトグループの目指す姿「“カガク”のチカラで人々の快適な暮らしを支える会社」を実現し、持続可能な社会の構築に貢献していくために必要な経営課題を三ツ星ベルトグループのESG経営におけるマテリアリティ（重要課題）としてとらえ直し、マテリアリティごとに実行課題とKPI（目標値）を設定いたしました。その実行内容は、サステナビリティ会議によって監視、指示、判断、評価されています。また、サステナビリティ会議には取り組む課題に応じた推進組織が設けられており、事業部門、関係会社から情報を収集・分析し、実施状況報告、戦略提案等を行うことでサステナビリティ会議活動を活性化させ、より迅速で確実なESG経営の目標達成を目指しています。

マテリアリティの特定プロセス

当社グループは、SDGs、ISO26000、GRIなどの国際的なガイドラインを踏まえて事業環境・事業構造を分析し、社会・環境に対する依存と影響の両面から取り組むべき課題を抽出した上で、サステナビリティ会議での議論を重ね、マテリアリティを特定しました。

マテリアリティー覧

	マテリアリティ	サブ・マテリアリティ (取り組む課題)	施策・内容	KPI	2024年度の進捗																						
E	脱炭素社会実現への貢献	GHG排出量の削減 (CO2換算 2013年度比) ※ 当社では、GHG（温室効果ガス）をすべてCO2に換算して管理しています。	再エネ電力の導入 太陽光発電システムの導入 カーボンニュートラル燃料の導入 低排出量燃料への切換	CO2排出量削減目標（Scope1・2／基準年度：2013年度） <table><tr><th rowspan="2">対象</th><th colspan="5">目標年度</th></tr><tr><th>2023</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2030</th><th>2050</th></tr><tr><td>国内</td><td>22%</td><td>27%</td><td>40%</td><td>46%</td><td rowspan="2">CN</td></tr><tr><td>海外</td><td>-</td><td>-</td><td>27%</td><td>40%</td></tr></table>	対象	目標年度					2023	2025	2026	2030	2050	国内	22%	27%	40%	46%	CN	海外	-	-	27%	40%	CO2排出量削減率実績：34%（2013年度比） （対象：国内8拠点のScope1&2）
			対象	目標年度																							
				2023	2025	2026	2030	2050																			
			国内	22%	27%	40%	46%	CN																			
		海外	-	-	27%	40%																					
		エネルギー消費原単位の改善	エネルギー使用量原単位目標：前年度比1%以上改善（対象：国内8拠点）	エネルギー使用量原単位改善率：12.2%※1																							
		バリューチェーン全体での排出量管理	Scope3排出量の削減目標値を設定のうえバリューチェーン全体での排出量削減に取り組む	Scope3排出量（連結）：278,516 CO2-t																							
生物多様性の保全	水資源保全の取り組み	冷却水循環システムの導入	国内拠点の取水量目標：2030年度までに50%削減（基準年度：2021年度）	国内拠点の取水量削減率：2021年度比15.1%																							
		水消費に係る効率の改善	海外拠点の取水量目標：取水量原単位を維持する（基準年度：2021年度）	海外拠点の取水量原単位：15.18 ℓ/t （2021年度 16.77 ℓ/t）																							
	環境保全への取り組み／環境汚染の防止	排水の管理強化	法令違反件数ゼロ	法令違反件数：0件																							
		化学物質の管理強化	化学物質排出・移動量目標：150t/年以下	化学物質排出・移動量実績：128t/年																							
		VOC排出量の管理強化	VOC排出量の目標値：73t/年以下	VOC排出量：42t/年																							

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

			天然ゴム、綿の生産地管理強化	取引先との協働により天然ゴム、綿の生産地管理を行うと共に、サステナブル材料への切り換えを進める	欧州森林破壊防止規則（EUDR）に対応した天然ゴムの調査実施
	資源循環型社会の構築／資源の有効活用	廃棄物量の削減／3Rの推進	産業廃棄物物理量の削減	発生量の1%以下（ゼロエミッションの達成／対象：国内拠点）	産業廃棄物物理量比率：0.2%
		環境配慮型製品の開発	環境配慮型製品の拡充	管理体制を確立し、炭素排出量低減製品、資源枯渇対応製品などの環境配慮型製品の拡充を進める	環境配慮型製品の開発：管理体制見直し
S	人権と人格の尊重	人権デューデリジェンスの推進	サプライチェーン全体での人権DDの推進	取引先との協働によりサプライチェーン全体での人権DDを推進する	EUDRに対応した天然ゴムの調査において人権侵害発生の有無を調査
		健康経営と労働安全衛生管理	従業員の健康と安全衛生管理の強化	従業員の喫煙者割合：2030年度までに15%以下／肥満率(BMI 25%以上の割合)を2030年度までに25%以下にする	喫煙者割合：25.8%、肥満者割合：29.9%
	人財戦略の強化	DE&Iの推進	DE&Iの推進	女性管理職比率（課長）2026年度：5%以上、2030年度：10%以上（三ツ星ベルト単体）	女性管理職比率（課長）：3.4%
		人的資本経営の推進	従業員エンゲージメントの向上（サーベイスコアの改善）	スコア改善目標 2026年度：10%改善、2030年度：13%改善	エンゲージメントスコア：2023年度比0%（同スコア）
G	経営の透明性向上と腐敗防止	コンプライアンスの徹底	腐敗行為の防止	法令違反件数ゼロ	法令違反件数：0件
		リスクマネジメントの強化	事業継続計画活動の推進	リスクマネジメントシステムの維持・管理とブラッシュアップを図る	BCP活動を営業拠点へ展開開始
			情報セキュリティ管理の強化	情報セキュリティに係るインシデント発生件数：0件	インシデント発生件数：0件
		ステークホルダーエンゲージメントの向上	ステークホルダーとの積極的な対話	建設的な対話が可能になる機会を創出し、積極的なコミュニケーションを図る	投資家・アナリストとの対話：55回開催
			適時適切な情報開示	2030年：グローバル基準のESG評価で最高ランクの取得	CDP気候変動：Bランク※2 FTSE：3.3※3
			地域社会とのエンゲージメント向上	地域社会との協働による災害などへの対応	地区まちづくり推進会との対話：22回

※1 国内8拠点 エネルギー消費原単位＝エネルギー総消費量÷原材料使用量

※2 2025年2月発表のスコア

※3 2024年6月発表のスコア

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsuboshi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトグループの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — 環境ガバナンス体制

環境ガバナンス体制

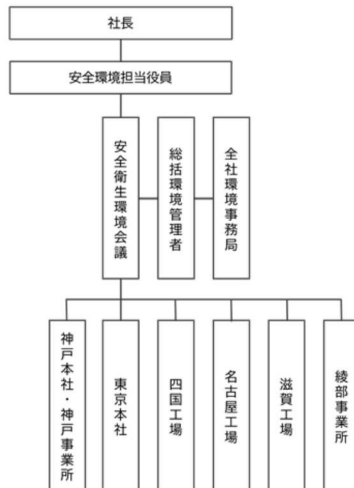
管理体制の維持・改善

三ツ星ベルトグループでは、「[環境基本方針](#)」のもと、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステム（EMS）を構築し環境保全活動に取り組んでいます。「環境基本方針」に示された環境保全活動には、省資源・省エネルギー、環境負荷物質削減以外に、GHG 排出量削減に代表される地球温暖化防止、水使用量削減や排水処理による水資源保全、生物多様性維持、森林保全、3R 活動と廃棄物削減によるサーキュラーエコノミーに向けた活動が含まれます。

日本国内のEMSを例にしてその組織と管理システムを説明します。活動の最小単位である環境部門は、各拠点に設けられた地区環境委員会に属し、その活動内容を毎月、地区環境委員会事務局に報告します。地区環境委員会は、毎月開催され、各部門の活動内容をレビューするとともに、レビューの結果を全社環境事務局に報告します。全社環境事務局は各拠点からの報告内容を全社活動としてまとめ総括環境責任者に報告するとともに、全拠点に情報展開します。

総括環境責任者は、2 回／年、安全環境担当役員が議長を務め、全部門長が委員を務める安全衛生・環境会議を開催し、全社環境事務局がまとめた各拠点の活動内容を、取締役社長、および経営会議メンバーに報告するとともに評価を行い、今後の活動における方針、施策、目標を明確にします。

全社統括環境管理組織



従業員の環境教育

三ツ星ベルトグループの環境に関する事業活動において、社員教育は、ISO 14001 に準拠したEMSの中で指名された環境事務局が、年度ごとに環境教育訓練計画として実施内容を企画し、実行しています。教育内容は、主に新規配属者教育（環境方針・目標、環境マニュアル等）、一般従業員教育（環境方針・目標、環境管理計画、スキルに基づく教育・訓練等）、管理者教育（環境方針・目標、環境管理計画、社内標準・環境規制改正等）、その他教育（緊急事態対応訓練、内部監査員教育、法定資格作業員教育等）から成っています。

現状の教育内容は、行政が定めた環境規制および社内標準遵守の徹底が中心になっていますが、気候変動対応、生物多様性、水資源保全、循環型社会構築等、今まさに取り組むべき環境課題を教育内容に取り込み、事業活動を活性化させることを今後の課題としています。

ISO14001認証の取得状況

三ツ星ベルトグループでは日本国内だけでなく海外でも生産拠点を中心にしてISO14001に準拠したEMSを構築し、維持・改善活動を展開しています。また、第三者にEMSの検証を依頼しISO14001認証の維持・更新活動も実施しています。2024年時点で、日本国内を含む全12サイトでISO14001認証を維持できています。

EMS（ISO14001）認証取得事業拠点（2024年）

対象



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

EMS（ISO14001）認証取得事業拠点（2024年）	対象
三ツ星ベルト㈱ （神戸工場・事業所、名古屋工場、四国工場） 三ツ星ベルト技研㈱ 三ツ星ベルト樹脂㈱ 三ツ星ベルトコンベヤ㈱ ネオ・ルーフィング㈱ 三ツ星ベルト工機㈱	一般産業用ベルト、自動車用ベルト、Vリブドブリー、タイミングブリー、搬送ベルトおよび関連製品、エンジニアリングプラスチック、発泡射出成形品、防水シート、金属ペースト、回路基板材料および塗料
MBL (USA) CORPORATION	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
PT. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾性体
STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
蘇州三之星機帶科技有限公司	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
ブリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — 気候変動に係る取り組み

気候変動に係る取り組み

基本的な考え方

温室効果ガスによる地球温暖化に警鐘が鳴らされ、全世界の国々が温室効果ガス排出量の削減目標をコミットして削減活動に取り組んでいます。一方で地球温暖化を原因とした様々な気候災害が全世界で発生、その頻度・激しさは年々増加し、人命だけでなく、私たちの企業活動の基盤となる社会・環境の存続に危機的状況をもたらしています。

このような状況下、三ツ星ベルトグループは、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で締結されたパリ協定、および日本の気候関連法令であるエネルギーの使用の合理化などに関する法律（省エネ法）および地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）を支持し、“脱炭素社会実現への貢献”を経営における重要課題（マテリアリティ）として取り上げ、具体的な施策とKPIを設定してCO₂排出量削減活動、省エネ活動、環境配慮型製品の開発等に取り組んでいます。

TCFD提言に基づく開示

三ツ星ベルトは、2022年12月にTCFD提言への賛同を表明するとともに、賛同企業や金融機関が議論する場である、TCFDコンソーシアムに入会いたしました。同提言が求める、ガバナンス、リスク管理、戦略、指標と目標の4項目にて当社グループの気候変動に係る取り組みをご説明させていただきます。



ガバナンス

三ツ星ベルトでは、経営における重要課題として、気候変動関連のリスクと機会について取締役会において意思決定・監督を行っています。気候変動関連のリスクと機会はサステナビリティ会議において審議のうえ取締役会に報告され、取締役会は、これを基に意思決定・監督を行います。

“環境”に係る取り組みとして「GHG排出量の削減」、「水資源保全の取り組み」、「環境保全の取り組み」、「廃棄物量の削減」、「環境配慮型製品の開発」がサブ・マテリアリティに設定されており、課題ごとに決められた施策担当部門（事業部門、委員会またはワーキンググループ）の進捗状況はサステナビリティ会議で議論・審議されることで活動の継続的な改善が図られています。

リスク管理

三ツ星ベルトグループでは、当社の事業活動において、事業に対するインパクトの観点から、グループ全体で取り組むべき課題（重大リスク）に対するリスク管理活動の監視・評価、および、その管理体制の維持・発展を目的として、リスク管理委員会が設置されています。

a. 気候変動関連リスクの特定及び評価プロセス

気候変動関連リスクは、全ての事業部門・関連会社の責任者が参加して行うリスクアセスメントにより様々な事業リスクの一つとして洗い出され、リスク管理委員会（取締役が委員長、全関係会社・事業部門、及び本社全管理部門の責任者が委員）にて、発生の可能性と影響の大きさ（影響度：大：10億円以上、中：1億円～10億円、小：1億円未満／時間軸：短期：～2026年、中期：～2030年、長期：～2050年）から対応すべき重大リスクが特定されます。

b. 気候変動関連リスクの管理プロセス



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス +
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ +
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

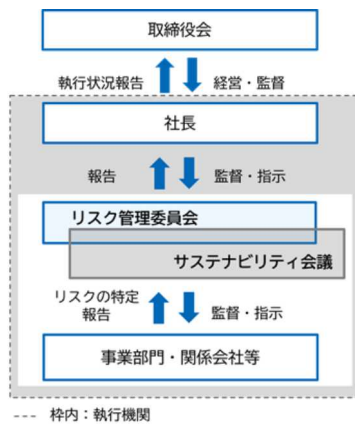
製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト +
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品



- 事業部門及び関係会社の責任者は、特定したリスクを集約し、取り組むべき課題、対応施策、対応部門、目標等を明確にして方針書に展開し、社長の承認を得ます。承認された方針書は、対応部門により実行計画書に展開、事業部門・関係会社責任者の承認の後、実行に移されます。
- 実行の状況は事業部門・関係会社の責任者により監視・評価され、原則、年1回の頻度で経営会議（当社ウェブサイトのサステナビリティ／コーポレート・ガバナンス参照）に報告、レビューを受け、その結果は次年度の方針書に反映されます。ESG経営のマテリアリティ課題に対応した施策の実施状況は、月1回の頻度で開催されるサステナビリティ会議に報告され、必要に応じて指示・評価されます。

c. 気候変動関連リスク管理と全体リスク管理の統合

- リスク管理委員会の審議を経て決定された重大リスク案は、同委員会を通じて取締役会に報告されます。決定された重大リスクに対する施策は、対応部門が所属する事業部門・関係会社の責任者により日常の監視・評価が実施され、その内容はリスク管理委員会に報告されます。
- 2024年度も前年度に続き、“CO₂排出量削減目標未達による企業価値低下”が、リスク管理委員会が実施するリスクアセスメントにおいて気候変動に関連したリスクとして特定されています。事業部門・関係会社で実施されるCO₂排出量削減活動は、サステナビリティ会議により監視・評価され取締役会に報告されています。
- 気候変動をはじめとしたESGのマテリアリティに係るリスクについては、サステナビリティ会議において当該リスクに対する実施内容の進捗について管理を行っています。



1. 事業部門・関連会社にてリスクと機会の洗い出しを行い発生の可能性と影響の大きさから対応すべきリスクと機会を特定
2. リスク管理委員会にて、グループ全体で対応する重大リスクを評価・特定、対応組織を指名
3. リスク管理委員会は対応組織の実施状況を監督・指示し、その内容を取締役に報告

※図の重なり部分＝「ESGのマテリアリティに関わるリスク管理」については、サステナビリティ会議が実施状況を監督・指示し、その内容を取締役に報告

戦略

気候変動が三ツ星ベルトグループのバリューチェーンに与える将来的な影響および気候変動対策の有効性検証を目的に、脱炭素トレンドが強まり移行リスク・機会の影響が大きくなる「1.5°Cシナリオ」と、気候変動が大きく進み物理的リスクの影響が強まる「4°Cシナリオ」の2つの気候変動シナリオに基づきシナリオ分析を実施し、「リスクと機会」に展開いたしました。

シナリオ分析

1) 分析対象と前提条件

地域	期間	範囲	主な参照シナリオ
三ツ星ベルトグループの事業展開国・地域	現在～2050年	バリューチェーン	IEAWEQ2022、IPCCAR6(SSP1-1.9、SSP3-7.0、SSP5-8.5)等

2) 三ツ星ベルトグループの事業を取り巻く将来の社会像

シナリオ	2030年	2050年
1.5°Cシナリオ	炭素価格は先進国で140USD/t-CO ₂ 、後進国で90USD/t-CO ₂	炭素価格は先進国で250USD/t-CO ₂ 、後進国で205USD/t-CO ₂
	世界各国において低炭素・脱炭素技術向けの商品需要が拡大	世界各国において低炭素・脱炭素技術向けの商品需要がさらに拡大
	自動車産業では電動化が進み、新車販売台数の半数が電動車となっている	自動車産業では電動化が進み、新車販売台数のほとんどが電動車となっている
4.0°Cシナリオ	平均気温の上昇が1.5度に達し、物理リスクが顕在化する。防災・減災への投資が増加	平均気温の上昇が1.6度に達し、物理リスクが顕在化する。防災・減災への投資が増加
	炭素価格は先進国で90USD/t-CO ₂ 、後進国でゼロ	炭素価格は先進国で130USD/t-CO ₂ 、後進国でゼロ
	世界各国において低炭素・脱炭素技術向けの商品需要が拡大	世界各国において低炭素・脱炭素技術向けの商品需要が拡大

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品



シナリオ	2030年	2050年
	自動車産業では電動化が進み、新車販売台数の半数が電動車となっている	自動車産業では電動化が進み、新車販売台数の半数にとどまる。後進国では内燃機関車が主流
	平均気温の上昇が1.5度に達し、物理リスクが顕在化する。防災・減災への投資が増加	平均気温の上昇が2.1度に達し、物理リスクが顕在化する。防災・減災への投資が増加

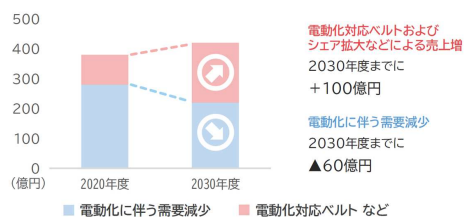
リスクと機会

種類	ドライバー	事業へのインパクト				対応策/戦略	時間軸
		影響度	<リスク>	影響度	<機会>		
移行	政策および法規制	中	炭素税が課された化石燃料の使用による製造コストの増加 カーボンオフセット、バイオマス 原材料等、CO ₂ 排出量削減活動によるコスト増加 サプライヤーの低炭素化費用の価格転嫁による原材料費の上昇 CBAMにより、廃棄物と関連する作られた製品の国際取引での競争性低下	中	省エネ・再エネ技術の導入加速によるエネルギーコストの減少 積極的なCO ₂ 排出量削減活動による企業価値の向上および顧客からの選考機会の増加	・設備電化と再生電力導入による炭素税の影響回避 ・低カーボンフットプリント(低炭素製品)の開発・販売の強化 ・製造時CO ₂ 排出量削減 ・Scope3排出量の削減(バイオマス原材料等)	中期～長期
	技術	大	電動化の普及に伴う自動車・二輪車の内燃機関用駆動ベルトの市場減少、消失	大	電動化により生まれる駆動ベルトの新規需要獲得	・製品ポートフォリオの移行 ・内燃機関用ベルトから電動ステアリング、ドア、ブレーキなど、電動車にも使用される各部駆動ベルトの拡販	短期
	低炭素技術への移行のための先行コスト	大	CO ₂ 排出量削減を実現する革新的技術開発の遅れによる競争力低下	中	低炭素化技術を実現することによる製品競争力向上 カーボンフットプリントを小さくすることによる製品競争力の獲得	・DX等も活用した低炭素技術実現のための製品開発、イノベーション推進 ・製造時CO ₂ 排出量削減 ・Scope3排出量の削減(バイオマス原材料等) ・環境配慮型製品の開発強化	中期～長期
	市場	大	顧客選定におけるカーボンフットプリントが大きい製品の競争力低下	中	低炭素化技術を実現することによる製品競争力向上 カーボンフットプリントを小さくすることによる製品競争力の獲得	・DX等も活用した低炭素技術実現のための製品開発、イノベーション推進 ・製造時CO ₂ 排出量削減 ・Scope3排出量の削減(バイオマス原材料等) ・環境配慮型製品の開発強化	中期～長期
	評判	大	ステークホルダーの不安増大、またはマイナスのフィードバック	—	—	・気候変動対策の遅れ、あるいは情報開示不足により企業価値が低下 ・気候変動対策の遅れ、あるいは情報開示不足により企業価値が低下	短期～長期
物理	急性リスク	中	サイクロン、洪水などの異常気象の激甚化・高頻度化	大	合成原材料を使った代替仕様の製品の早期開発による安定供給実現とこれによるシェア拡大 製品の安定供給による顧客信頼性の獲得	・ハザードスクリーニングを活用した、サプライチェーンを含む事業継続計画の策定・運用による安定した事業活動の実行	短期～長期
	慢性リスク	小	降雨パターンの変化、気象パターンの極端な変動性	大	災害時に備える設備のニーズ拡大 ① 環境負荷低減意識の高まりによる遠水シートの売上増加 ② 再生可能エネルギーの需要増加に伴う風力発電機用駆動ベルトの売上増加	・サプライヤーとの密な連携による有事の際の供給に関する事前合意 ・冷却水循環システム導入等による、洪水時の生産活動レジリエンスの強化	短期～長期
	平均気温の上昇	大	平均気温の上昇による労働環境の悪化に起因する労働生産性の低下	—	—	・DXの推進による生産設備の自動化推進 ・ハザードスクリーニングを活用した、サプライチェーンを含む事業継続計画の策定・運用による安定した事業活動の実行	短期～長期
	海面の上昇	小	在重の冠水、物流の寸断による顧客への製品供給の遅れが増加	—	—	・DXの推進による生産設備の自動化推進 ・ハザードスクリーニングを活用した、サプライチェーンを含む事業継続計画の策定・運用による安定した事業活動の実行	短期～長期

※ 定義
影響度：大:10億円以上、中:1億円～10億円、小:1億円未満
時間軸：短期:～2026年、中期:～2030年、長期:～2050年

自動車の電動化の進展に伴うリスクと機会について

自動車の電動化進展に伴い、2030年度まで以内燃機関用ベルトの需要は2019年度と比べて約60億円減少する見通しですが、同期間において、自動車・電動ユニット用ベルト（EPB、EPS、PSDなど）や電動2輪車向け後輪駆動用ベルトなどの販売拡大により約100億円の売上増を見込んでおります。自動車の電動化進展を機会と捉え、持続可能な成長を実現できる製品の開発に努めてまいります。



指標と目標

三ツ星ベルトグループでは、事業活動において重要な要素と位置付けているマテリアリティの1つに「脱炭素社会実現への貢献」を挙げ、国内拠点のScope1、Scope2排出量（マーケット基準）を対象に、基準年度を2013年度とし、2026年度までに40%削減、2030年度までに46%削減、そして2050年までにカーボンニュートラルを達成するという目標を設定しています。

また、海外拠点のScope1、Scope2排出量（マーケット基準）を対象に、基準年度を2013年度とし、2026年度までに27%削減、2030年度までに40%削減、2050年までにカーボンニュートラルを達成するという目標を設定しています。2025年2月、2035年度の排出量削減目標を定めた日本政府の新しいNDC（Nationally Determined Contribution）が国連に提出されました。また、1.5℃シナリオに整合した目標設定、排出量削減目標のSBT認証取得等の社会的要求も年ごとに強まっています。三ツ星ベルトグループではこのような背景を踏まえ、より確実に地球温暖化に対応していくため新しい排出量削減目標の設定に取り組んでまいります。

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

ミツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

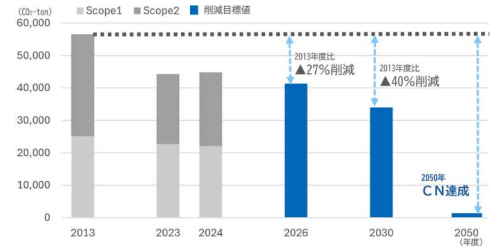
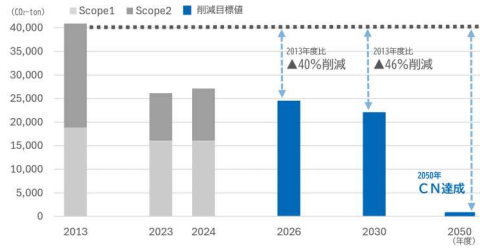
SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

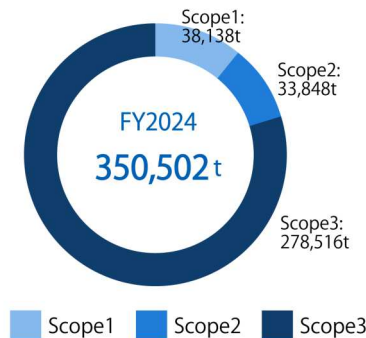


CN実現に向けた取り組み	～2024年度	2030年	2050年
省エネ、消費エネルギー原単位改善	全社省エネ活動の継続推進		
	設備改善・生産工法改善への取組		
再生可能エネルギーへの転換	再エネ電力の導入	グループ全社への導入推進／2040年度までに国内生産拠点に導入完了	
	太陽光パネル設置拠点の拡大	グループ全社への導入推進／2040年度までに国内生産拠点に導入完了	
再生可能エネルギーの創出	カーボンオフセットされた都市ガスの導入	グループ全社への導入推進	
低排出エネルギーへの転換	重油からLNGへの転換	グループ全社への導入推進	
		生産設備の電化推進	グループ全社への導入推進
次世代技術の導入、オフセット			・水素、アンモニア、バイオマス、e-fuel等の活用 ・CCS（炭素回収技術）の導入 ・オフセット

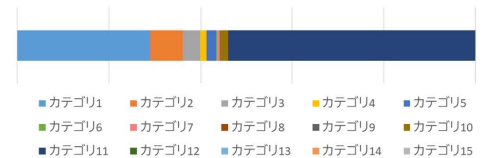
CO₂排出量

従来より取り組んでまいりました各事業所における太陽光発電設備の導入、再エネ電力への切り換え、重油を燃料とする設備のガス化への切り換えなどの取り組みを進めた結果（下表参照）、2024年度、国内拠点におけるScop1、及びScope2（マーケット基準）CO₂排出量は27,108t（対2013年度比 ▲33.7%）となり、海外拠点におけるScop1、及びScope2（マーケット基準）CO₂排出量は44,878t（対2013年度比 ▲20.7%）となりました。Scope3排出量は全てカテゴリーの算定範囲を単体から連結に変更したため278,516tとなり、前年度から70,359t増加しています。全Scopeの総排出量は350,502tとなり、前年度から71,910t増加しています。

Scope1～3 構成比



Scope3 カテゴリー構成比



Scope3排出量の詳細は、[こちら](#)からご確認いただけます。

CO₂排出量削減のための実施済み施策一覧

時期	事業拠点	施策	年間削減量/削減見込量※1
2021年12月～	神戸本社・神戸事業所	太陽光発電システム（オンサイトPPA）稼働開始	110t
2022年1月～	MITSUBOSHI POLAND SP.z o.o.	再エネ電力へ切り替え（全購入電力が対象）	100t
2022年6月～	神戸本社・神戸事業所	カーボンオフセットされた都市ガスへ切り替え※2	(100t)
2022年7月～	四国工場	再エネ電力へ切り替え（全購入電力が対象）	4,000t
2022年10月～	神戸本社・神戸事業所	再エネ電力へ切り替え（全購入電力が対象）	1,200t
2022年10月～	蘇州三之星機帯科技有限公司	太陽光発電システム（自家発電）稼働開始	900t
2023年1月～	名古屋工場	カーボンオフセットされた都市ガスへ切り替え※2	(2,500t)
2023年5月～	MBL(USA)	再エネ電力へ切り替え（全購入電力が対象）	2,400t
2023年11月～	PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA	再エネ電力へ切り替え（全購入電力の30％が対象）	1,000t

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

時期	事業拠点	施策	年間削減量/削減見込量※1
2023年12月～	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	太陽光発電システム（オンサイトPPA）稼働開始	500t
2024年1月～	四国工場	重油からLNGへ切り替え	1,000t
2024年1月～	四国工場	カーボンオフセットされた都市ガスへ切り替え（50％）※2	(1,500t)
2024年5月～	西神事務所	太陽光発電システム（自家発電）稼働開始	50t
2025年1月～	綾部事業所	重油からLNGへ切り替え	2,700t

※1 エネルギー投入量により削減量は増減します。記載の数値は概算値です。

※2 カーボンオフセットされた燃料については、CO₂排出量削減への寄与はゼロとして試算しています。

引き続き脱炭素社会実現への貢献に向けた取り組みを推進するとともに、Scope3を含むサプライチェーン全体での排出量削減活動にも注力してまいります。

外部組織との協働

三ツ星ベルトグループは当社グループを含め社会全体の気候変動に対する取り組みの活性化を目的として、前述のTCFDコンソーシアム、およびゴム製品製造の業界団体である日本ゴム工業会に入会し、情報提供、意見具申等を通じてそれぞれの組織の気候変動に係る活動に参加しております。それぞれの組織の活動内容は、以下のサイトから確認できます。

TCFDコンソーシアム：<https://tcfcd-consortium.jp/>

日本ゴム工業会：<https://www.rubber.or.jp/>

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
フリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — エネルギーマネジメント

エネルギーマネジメント

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループのエネルギーマネジメントは、1973年の第一次オイルショックを機に始まった「省エネ」を起源とし、既に半世紀に及ぶ活動となっております。当初は「石油枯渇」の懸念が主要な推進力となりましたが、その後「原価低減」が目的に加わり、現在では「気候変動対応」の重要な施策・指標として位置づけられています。

エネルギーマネジメントが地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与することを認識し、効果的な施策を迅速に実施することで、これらの目標達成に向けた積極的な活動を展開してまいります。

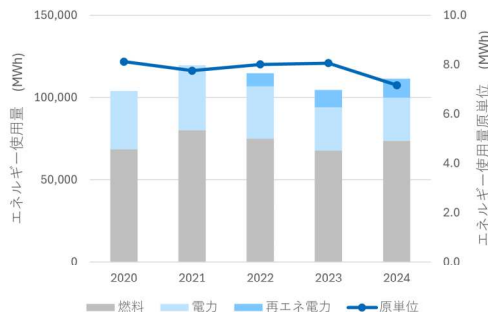
管理体制

三ツ星ベルトグループのエネルギーマネジメントは、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステム（EMS）において実行されています。EMSの詳細は「[環境ガバナンス体制](#)」に詳述しておりますのでご参照ください。

エネルギーマネジメントに係る当社のマテリアリティでは、CO2排出量削減のための施策として「エネルギー消費原単位の改善」が挙げられており、KPIとして「エネルギー使用量原単位目標：前年度比1%以上改善」が設定されています。これにより、エネルギーマネジメントの活動内容は、サステナビリティ会議の監視・評価対象にもなっています。リスク管理プロセスは、「[気候変動に関わる取り組み](#)」と共通しております。

目標と実施状況

エネルギーマネジメントに係る2024年度の目標は、前述の通り「エネルギー使用量原単位を前年度比1%以上改善」でしたが、2024年度のエネルギー使用量原単位の実績は、対前年比で11.1%の減少となり、目標を達成しました。日本政府の省エネ法（エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律）に従い、電力由来のエネルギーを一次エネルギー換算した場合は、12.2%の減少となります。下図の通り、直近5年間のエネルギー使用量原単位の推移を見ると、顕著な効果が現れておらず、長年にわたる活動のなかで、効果的な施策は一巡したように感じられます。



一方で、2021年度では全体の0.1%でしかなかった再生可能エネルギーの導入比率※については、2024年度では全体の10.4%が再生可能エネルギーに置き換わりました。再エネ電力の一次エネルギー換算値は、化石燃料由来のエネルギー換算値よりも小さくなると考えられますので、今後は、再エネ電力の寄与度を順次拡大していくことを計画しています。

※ 対象：国内8拠点



ENGLISH | 中文

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

TOP — サステナビリティ — 資源循環社会実現に向けた取り組み ①環境配慮型製品の開発

資源循環型社会実現に向けた取り組み ①環境配慮型製品の開発

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、環境問題の解決や脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進することを企業の社会的責任と認識し、持続可能な企業活動を実現することを目指しています。環境に配慮した製品の開発を強化するとともに、生産工程におけるCO₂排出量の低減にも積極的に取り組んでいます。

CO₂排出量削減に貢献する

三ツ星ベルトグループの主力製品である伝動ベルトは「いかに効率良く動力を伝達するか」、「少しでも製品寿命が伸ばせないか」を命題にして研究され、多くの高性能製品が開発されてきました。高効率の動力伝達は消費エネルギーを低減することでCO₂排出量削減に貢献し、長寿命化した製品は廃棄物量を削減することでCO₂排出量削減とサーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。



低フリクションロスベルト / 油中タイミングベルト

内燃機関四輪車用に開発した低フリクションロスベルトや油中タイミングベルトは燃費を改善する効果があります。高効率でエネルギーロスの小さい伝動ベルトを提供することで、排気ガス量の低減・CO₂削減に貢献しています。



自動車用低モジュラスベルト Star Fit®

自動車用低モジュラスベルト「Star Fit®」を採用することで張力調整が不要となり、テンションプリー&ブラケットレス化によって約1.5kgの軽量化を実現。燃費向上に貢献しています。



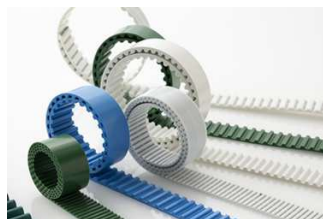
オルタネータ（自動車用発電機）用プリー Smastar®

アイドリングストップなどの燃費向上技術導入により、回転変動が増加傾向にあるエンジンにおいて、ベルトの張力変動を吸収するプリーとして開発したオルタダンパプリー Smastar®は、張力設定を下げることで、ベルトからの発音の抑制、ベルト寿命の向上、さらに燃費向上に貢献しています。



省エネルギー用ベルト e-POWER®

特殊形状を採用することによって動力損失の最大要因である曲げ応力を軽減し、省エネ効果を高めた環境にやさしいベルトです。ベルトの交換のみで、各種設備・機械において節電効果が上げられ、CO₂排出量を削減できます。



風力発電機、ブレードピッチ駆動用タイミングベルト

風力発電装置のブレード角度のピッチ調整に伝動ベルトが使用されています。風力発電装置の発電能力、設置環境など、顧客要求に適応した機能開発を行い、拡大する風力発電需要に対応してまいります。

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

企業情報

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

樹脂製品

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト

適正張力計算コーナー

プーリCADデータ

テクニカルライブラリ

用途別設計検討事例集

よくあるご質問

製品の該非判定について

改正食品衛生法適合製品

環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — 資源循環社会実現に向けた取り組み ②廃棄物削減の取り組み

資源循環型社会実現に向けた取り組み ②廃棄物削減の取り組み

基本的な考え方

世界的に人口が増加し経済が発展していくなかで、資源の大量消費・大量廃棄が発生し、資源の枯渇以外にもそれに伴う環境汚染、生態系の破壊など様々な社会課題が深刻化しています。

三ツ星ベルトグループは、資源循環社会実現へ貢献するために、廃棄物の削減、非石油由来原材料やリサイクル材料の使用比率拡大などの取り組みを積極的に推進しています。また、海洋汚染の主要原因としてクローズアップされているプラスチックについては、まずは、その管理体制を構築し、施策およびそのKPIを設定し具体的な活動に展開していきます。

管理体制

三ツ星ベルトグループの廃棄物管理は、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステム（EMS）において実行されています。EMSの詳細は「[環境ガバナンス体制](#)」に詳述しておりますのでご参照ください。

廃棄物に係る当社のマテリアリティ「資源循環型社会の構築 / 資源の有効活用」の施策として「廃棄物量の削減 / 3Rの推進」が挙げられており、KPIとして「産業廃棄物埋立量比率：1.0%以下」が設定されていますので、廃棄物管理の活動内容は、サステナビリティ会議の監視・評価対象にもなっています。リスク管理プロセスは、「[気候変動に関わる取り組み](#)」と共通しております。

実施状況

三ツ星ベルトグループでは、3R（Reduce、Reuse、Recycle）、特に、製造方法による"Reduce"、工程内"Reuse"により、廃棄物の増加抑制を意識した事業活動を実施しています。

国内生産拠点における2024年度総廃棄物量に占める埋立量比率は0.2%であり、マテリアリティの取り組み課題として設定しているKPI：「産業廃棄物埋立量比率：発生量の1%以下」を下回り、ゼロエミッションを達成しました。海外生産拠点においては、インドの生産拠点では埋立処分率ゼロとなっていますが、その他の拠点ではインドネシアとタイを除いて廃棄物の100%が埋立処分となっています。タイ、インドにおいて社外でのリサイクル化が進展し、総廃棄物量に占める埋立量比率は17.2%まで低下しています。

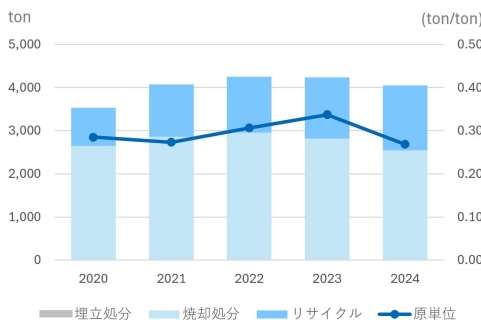


図1 廃棄物量の推移（国内）

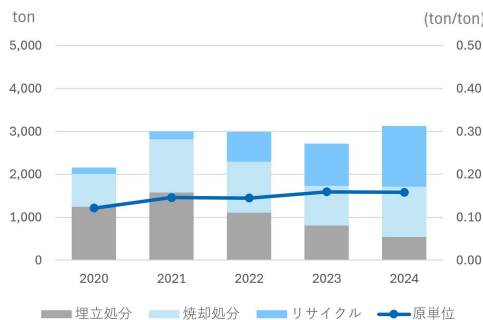


図2 廃棄物量の推移（海外）

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ

IR情報

トップメッセージ

製品情報

事業分野から製品を探す

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト



企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

カタログ

自動車・二輪用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

樹脂製品

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

適正張力計算コーナー

プーリCADデータ

テクニカルライブラリ

用途別設計検討事例集

よくあるご質問

製品の該非判定について

改正食品衛生法適合製品

環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

© 2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.

YouTube

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



TOP — サステナビリティ — 生物多様性の保全に向けた取り組み

生物多様性の保全に向けた取り組み

基本的な考え方

人類の活動による地球温暖化、環境汚染、乱開発、乱獲等により生物多様性が急速に失われつつあり、生態系の維持が危機的な状況にあります。今、対応を怠れば、将来、生態系サービス享受できないことにより社会全体が大きなダメージを受け、「持続可能な社会」が実現できなくなります。三ツ星ベルトグループは、これまで地球温暖化の抑止に向けてCO₂排出量削減活動に取り組んでまいりましたが、生物多様性の損失もまた、社会全体にとって地球温暖化と同じく重要性・緊急性の高いリスクであると認識しています。

当社は、生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）における「昆明・モントリオール生物多様性枠組」、日本政府の「生物多様性国家戦略2023-2030」を支持し、マテリアリティの一つに「生物多様性の保全」を掲げ、水資源の保全をはじめとする課題毎にKPIを設定し種々の活動に取り組んでいます。

ガバナンスとリスク管理

三ツ星ベルトグループの生物多様性の保全活動に関するガバナンスとリスク管理プロセスは、「[気候変動に関わる取り組み](#)」と共通しております。

戦略

サステナビリティ会議において、TNFDが推奨する開示フレームワークに従って「生物多様性の保全」に関するリスクと機会の洗い出し、また、それらが三ツ星ベルトグループの事業活動に与えるインパクト評価を実施し、その結果を戦略と目標に展開いたしました。

事業活動と自然との関係

1) 自然への依存と影響

当社グループの生産拠点では、ゴム製品の加工において、熱媒として蒸気を、冷媒として水を使用しています。自然から供給される良質で十分な量の淡水がなければ、たちまち操業を中断せざるを得ない状況に陥ります。また、天然ゴムや綿、パーム油を加工したオイル等は、ゴム製品の製造において、非石油由来の原材料として活用されていますが、これらの供給が途絶えた場合、石油由来の原材料に依存せざるを得なくなり、資源枯渇のリスクが増大します。さらには、当社グループの主力製品である伝動ベルトおよび関連製品は、農林水産業、鉱業、半導体、自動車、電機、機械、食品、物流業界など、様々な分野で広く活用されています。このことから、当社グループの事業活動は水や自然素材だけではなく、その他多くの生態系サービスにも依存していると認識しています。

ENCORE^{※1}を使って、当社グループの事業活動（ISICセクション：製造業、ISICディビジョン：ゴム・プラスチック製品製造、ISICグループ：ゴム製品製造）の生態系サービスへの依存を調査しました。調査の結果、「High」以上のレベルで依存している生態系サービスはありませんでしたが、「浄水」、「水流調整」、「洪水緩和」、「暴風雨緩和」の四つの生態系サービスに「Medium」レベルで依存していました。同様にして当社グループの他の事業活動（プラスチック製品製造、金属加工）、及び取引先の事業活動（合成繊維製造、化薬品製造、プラスチック一次成形、紡糸・製織、ガラス製品製造）についても調査を行っております（下表参照）。

当社グループの生産活動では、エネルギーを含む種々の資源（水や天然資源など）を消費し、廃棄物、排水、排気、排熱、騒音、臭気などを排出し自然環境に影響を及ぼしています。ENCOREで特定した当社グループ事業活動（ゴム製品製造）の生態系への影響は、「High」以上のレベルで影響している生態系サービスは存在しませんが、「生活妨害」、「温暖化ガス排出」、「大気汚染」、「固体廃棄物」の4つの生態系サービスに対して「Medium」レベルで影響している結果となりました。他の事業活動、及び取引先の事業活動についての調査結果と合わせて下表に示します。

これらの結果を踏まえ、当社グループでは、自然資本の持続可能な利用と環境への影響低減に向け、引き続き、資源の効率的な利用や

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



生態系サービス		依存																		
		供給サービス					調整サービス										文化サービス			
		水	バイオマス	適宜投資	動力エネルギー	グローバル気候	ローカル気候	大気浄化	水質浄化	希少	廃棄物処理	水浸	洪水緩和	海面上昇緩和	陸面バタニ	騒音低減	気候保護	土壌保持	土質	花粉
直接提供	ゴム製品製造	L				VL	L	VL	M		L	M	M	M		VL		L		
	プラスチック製品製造	L				VL	L	VL	M	L	L	M	M	M	VL	VL	VL	L		
	金属加工	M				VL	L	L	M		M	M	M	M		VL	VL	L		
取引先	合成繊維製造	M				VL	L	VL	M		L	M	M	M		VL	VL	L		
	化学薬品製造	M				VL	L	VL	M		M	M	M	M		L	VL	M		
	プラスチック一次成形	M				VL	L	VL	M	L	L	M	M	M	M	VL	VL	M		
	紡糸・製織	M				VL	L	VL	M	L		M	M	M	VL	VL	L	L		
	ガラス製品製造	M				VL	L	VL	M			M	M	M	M	VL	VL	L		

VL:Very low L:Low M:Medium H:High VH:Very high

生態系サービス		影響													
		生物多様性	大気汚染	土壌・水質汚染	森林破壊	気候変動	GHG	土地利用	水利用	廃棄物	有害物質	水	生物多様性	気候変動	土地利用
		生物多様性	大気汚染	土壌・水質汚染	森林破壊	気候変動	GHG	土地利用	水利用	廃棄物	有害物質	水	生物多様性	気候変動	土地利用
直接提供	ゴム製品製造	M	M			M	M	L			M	L			
	プラスチック製品製造	M	M			M	M	L			VH	L			
	金属加工	M	L			L	L	L			VH	M			
取引先	合成繊維製造	M	M			M	M	L			M	M			
	化学薬品製造	VH	M			M	M	L			VH	M			
	プラスチック一次成形	VH	M			M	M	L			VH	VH			
	紡糸・製織	M	M			M	L	L	M		M				
	ガラス製品製造	M	M			M	M	L			M				

VL:Very low L:Low M:Medium H:High VH:Very high

2) 事業活動地域と生物多様性にとって重要な地域との接点

三ツ星ベルトグループの製品ライフサイクルを考慮した事業活動地域と、生物多様性の保全にとっての重要地域の接点を調査・特定しました。具体的には、事業活動地域として、①当社グループの14生産拠点の所在地域、②原材料である天然ゴム・綿花の生産地域、③原材料・エネルギー源である原油の生産地域を選択しました。生物多様性の保全にとって重要な地域には、生態系の完全性が失われつつある「ホットスポット」※2と呼ばれる地域、絶滅危惧種の保護が必要とされる地域（AZE site※3）、水ストレスの高い地域※4を選択しました。

事業活動地域			ホットスポット	AZE site	水ストレス
生産拠点	神戸事業所	日本	●		
	四国工場	日本	●		
	名古屋工場	日本	●		
	綾部事業所	日本	●		
	滋賀工場	日本	●		
	三ツ星コード(株)	日本	●		
	西神	日本	●		
	MBL (USA) CORPORATION	アメリカ			●
	PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA	インドネシア	●		
	PT. SEIWA INDONESIA	インドネシア	●		
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	タイ	●		
	蘇州三之星機帯科技有限公司	中国			●
	MITSUBOSHI POLAND Sp.z o.o.	ポーランド			
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	インド			●
天然ゴム生産地域		タイ、インドネシア、ベトナム	●	●	
綿花生産地域		インド、パキスタン			●
石油・天然ガス採掘地域		中東アジア			

当社グループ各拠点の事業活動に伴う水消費および排水・排気、また廃棄物による環境汚染は生態系に影響するものと認識しています。加えて取引先の事業活動も生態系に影響するものと認識しています。具体的には、天然ゴムの生産において土地利用による森林破壊が影響し、綿花の生産において栽培に要する水消費、農業による環境汚染が生態系に影響すると考えています。天然ゴム、綿花については、既に国際的な環境課題として取り上げられ、その改善に向けていくつかのイニシアティブが立ち上げられており、当社グループの事業活動において最優先で取り組むべき課題であると考えています。また生産活動における水消費量の削減活動は、活動の主体と

環境への影響緩和を考慮した生産活動

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

なる日本国内の生産拠点が全て生物多様性のホットスポットに所在することから生物多様性の保全にとっても重要な施策となるため、その目標を確実に達成してまいります。

※2 ホットスポットとは1,500種以上の固有維管束植物（種子植物、シダ類）が生息しているが、原生の生態系の7割以上が改変された地域のことです。

※3 AZE siteとは、生物多様性イニシアティブAlliance for Zero Extinctionにて開示されている、地球上で最も絶滅が危惧されている1,483種の個体群が最後に残っている地域のことです。

※4 ウォストレスの高い地域は、World Resource InstituteがAqueductのWATER RISK ATLASにて開示されている"Water Stress"において、"Extremely High"に分類された地域としました。

シナリオ分析とリスクと機会、戦略

三ツ星ベルトグループの事業活動地域と生物多様性の重要地域の関係、また下表1に示したシナリオを考慮して、洗い出したリスクと機会およびその対応施策を表2にまとめました。シナリオの内容は、開示されている生物多様性に関するレポートやWorld Resources InstituteのAqueductから得られた情報を基に検討し、2030年と2050年における自然環境と社会の状況に展開しました。

表1 生物多様性の保全状況から見た近未来のシナリオ

	生物多様性が保全されるシナリオ	生物多様性が喪失するシナリオ
2030年	人による環境破壊が停止し、環境が自己修復を開始する	現在に比べ、生物多様性にとって必要な地域が拡大する
	森林破壊や気候変動由来の災害が現在より減少する	環境破壊により、気候変動棋院の災害規模が増幅する
	全ての産業の土地開発に対して厳格な環境アセスメントが実施される	現状と同じあいまいな環境アセスメントで土地開発が拡大する
	生物多様性が回復する中、ウォストレスは人口増加などの社会的要因で悪化する	生物多様性の喪失と相まって、ウォストレスの悪化が促進される
	割高な環境配慮型製品が需要の主流となる	環境配慮型製品は価格競争により市場から排除されていく
	生態系サービスは安定して供給され、それを活用する個人・会社・地域・社会は安定する	生態系サービスの提供が不安定になり、品不足、物価高騰、地域紛争等が現状より増加する
2050年	環境の自己修復が進行し、現在よりも豊かな生物多様性となる	2030年に比べ、生物多様性にとって重要な地域が拡大する
	森林破壊や気候変動由来の災害が2030年より減少する	気候変動由来の災害が2030年よりさらに増幅される
	全ての土地開発に対してさらに厳格な環境アセスメントが実施される	全ての産業の土地開発に対して、ようやく厳格な環境アセスメントが一般的な基準となる
	生物多様性が回復する中、ウォストレスは人口増加などの社会的要因で悪化する。	生物多様性の喪失と相まって、ウォストレスの悪化がさらに促進される
	環境に配慮されていない製品は市場から淘汰される	割高な環境配慮製品が、ようやく需要の主流となる
	生態系サービスは安定して供給され、それを活用する個人・会社・地域・社会は安定する	生態系サービスの提供が停止するようになり、品不足、物価高騰、地域紛争等が2030年よりさらに増加する

表2 生物多様性の保全におけるリスクと機会

	種類	ドライバー	影響/依存	影響度	事業へのインパクト			対応策 / 戦略	時間軸
					リスク	影響度	機会		
物理リスク	急性	環境事故	影響	大	事故による生産拠点からの有害物質漏洩、それに伴う操業停止	大	事故発生時の未然防止活動による安定した操業の確保	BCPの運用/継続的改善、化学物質管理	短～長期
		環境汚染	影響	大	生産拠点からの排水、排気、廃棄物による環境汚染、それに伴う操業停止	大	環境汚染を防止する活動による安定した操業の確保	排水・排気・廃棄物管理、排水・排気処理設備導入、廃棄物量削減活動、化学物質管理	中～長期
		森林破壊	影響	小	森林破壊を伴う天然ゴムを使用した製品による売上減少、企業価値低下	小	森林破壊防止対応天然ゴムの使用による売り上げ確保、企業価値向上	サプライヤーエンゲージメント、天然ゴムを使用しない代替仕様開発	短期
	慢性	地球温暖化	依存	小	洪水、土砂崩れ等の災害が発生し生産停止による売上減少	中	防災事業用製品需要増加による売上増加	グローバルな生産補完体制の維持・改善 防災事業関連の受注活動を海外市場まで拡大	短～長期
			依存	小	生態系サービス由来原材料の不作により原材料価格が上昇し収益性圧迫			生態系サービスに依存しない原材料を使用した製品の開発	短～長期
		水ストレス	影響	小	栽培地域の水ストレス悪化を伴う綿を使用した製品による売上減少、企業価値低下	中	環境に優しい綿の使用による売り上げ確保、企業価値向上	サプライヤーエンゲージメント、綿を使用しない代替仕様開発	中～長期
依存	小		生産拠点所在地の水ストレス悪化による取水制限、それに伴う生産性低下	小	取水制限に影響されない生産体制構築による安定した操業の確保	設備投資によるリサイクル水使用範囲の拡大	中～長期		
移行リスク	政策	土地開発規制	依存	小	天然ゴム、綿花、パーム油等の管理が強化され、価格高騰による収益性低下			生態系サービスに依存しない原材料を使用した製品の開発	中～長期
		環境規制	影響	小	環境規制の強化に対応した設備投資、管理費用増による収益性の低下	大	厳格な規制対応、及び適切な情報開示による企業価値向上	DX技術を活用した生産性改善により設備投資額、増加費用を吸収	中～長期
		水ストレス	依存	小	水資源枯渇により取水制限が発生し生産停止による売上減少	小	水消費量を削減し、取水制限下でも安定した製品供給による顧客信頼獲得	冷却水循環システム、ミスト冷却システム等の展開 グローバルな生産補完体制の維持・改善	中～長期
		地球温暖化	影響	中	カーボンプライシング制度（CBAM、炭素税、ETS等）による収益性低下	大	地球温暖化が抑止されることによる事業リスクの軽減	サステナビリティ会議（トップマネジメント）による GHG 排出量削減活動の管理	中～長期
		技術	リサイクル技術	影響	中	法規制、顧客が求めるリサイクル率を満足する製品に開発でさえ事業機会を損失	中	法規制、顧客が求めるリサイクル率を満足する製品による新しい事業機会の創出	生態系サービスに依存しない原材料を使用した製品の開発
市場	顧客指向	影響	中	顧客が求める環境配慮製品への転換遅れによる事業機会の喪失	中	新しい環境配慮製品による新しい事業機会の創出	環境配慮製品の調査・企画・開発 環境配慮製品管理システムの維持・改善	中～長期	

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

評判	市場要求	影響	大	生物多様性保全活動の目標未達、或いは情報開示不足による企業価値低下	大	生物多様性保全活動の目標達成、或いは適切な情報開示による企業価値向上	サステナビリティ会議（トップマネジメント）による生物多様性保全活動の管理	短～長期
		※影響度	小 中 大	：1億円以下 ：1億円～10億円 ：10億円以上				
		※時間軸	短期 中期 長期	：～2026年 ：～2030年 ：～2050年				

環境配慮型製品の開発に取り組まないことは、新規の事業機会を失うだけでなく、既存の製品需要も減少させるという財務的影響を発生させます。気候変動対応においてカーボンフットプリントの大きな製品が市場から排除されるのと同様に、生物多様性の保全に悪影響を及ぼす製品は市場から排除されていきます。実際に、2023年6月にはEUの森林破壊防止規則（EUDR）※5が発効され、欧州市場への輸出の際に当該製品が森林破壊に繋がるものではないことを保証することが求められることになっています。

一方で、水ストレスの高い地域での水利事業は、今後ますます活発になっていくと予想されます。当社が提供する遮水シートとその施工サービスは、日本国内では水利事業において既に広くご採用いただいておりますが、現状においては、海外の水ストレスの高い地域への展開はほとんどできておりません。主力製品である伝動ベルトの販売網を活用し、遮水シートおよび施工サービスの水ストレスの高い地域への事業展開を行ってまいります。

水消費量の削減に取り組み、その状況を適切に開示していくことは、気候変動対応におけるCO2排出量の削減・算定・開示と同様に、事業活動にとって重要な施策であると考えています。当社におけるこれまでの取り組みから、水消費量削減の施策として冷却水循環システムを使ったリサイクル水の活用が有効であることが既に確認されており、このシステムを積極的に展開していくことで確実に水消費量を削減してまいります。

※5 世界の森林破壊・劣化に対するEUの加担を最小限に抑えることを目的として、事業者および貿易事業者がEU市場にて取引するコモディティ7品目（カカオ、コーヒー、パーム油、ゴム、大豆、牛、木材 およびその派生物）を対象に、森林破壊につながる製品の取引禁止やデューデリジェンス実施を求める規則。中小企業では2026年6月30日から、中小企業以外では2025年12月30日から EU域内においてEUDR 基準に満たしていない製品の販売が禁止される。

目標

当社グループでは、綿や天然ゴムを使用しない製品仕様の開発は既に完了していますが、それらの製品では止むを得ず一部再生可能ではない原材料を使用せねばならず、資源枯渇を考えた場合、綿や天然ゴムは引き続き重要な役割を果たす原材料であると考えています。こうした背景から、今後、2023年度に策定・開示しました調達ガイドラインに基づき、綿や天然ゴムのサプライヤーに対して生物多様性の保全に配慮した事業活動を行っていただくよう働きかけていく計画としています。

2024年度の活動では、Saasを活用した取引先とのコミュニケーションツールを導入し試験運用を開始いたしました。また2025年、EUDRの適用開始に対応して、原材料として使用する天然ゴムが森林破壊に関与していないことを検証し、その結果をデューデリジェンスステイメントとして開示する計画です。これまで入手できなかった天然ゴムや綿の生産地情報を取引先と共有し生物多様性の保全に関する活動を取引先と共に実施してまいります。

水資源に関する目標については、「水資源保全に関する取組み」の「指標と目標」をご参照願います。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ



サステナビリティ

- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ	
事業分野から製品を探す	
カタログ	
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト	
一般産業用ベルト	
搬送ベルト	+
エンジニアリングプラスチック素材・加工	
SF(発泡射出)成形	
建築用防水材	
土木用遮水材	
電子材料・塗料	
その他製品	



TOP — サステナビリティ — 水資源保全に関する取り組み

水資源保全に関する取り組み

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、環境保全に取り組むことを重要な経営課題の一つと位置づけており、「水資源の保全」に注力しています。当社が行っている水資源の保全に関する取り組みは、地球温暖化による気候変動に対応する取り組みと密接に関連しています。水は、私たちが生きるために欠かせない重要な資源でありながら、その重要性に反して水の枯渇や汚染が進んでおり、私たちの社会生活、経済活動、自然環境に深刻な影響を与えています。

当社は、水の枯渇や汚染が社会に及ぼす影響を深く認識しており、事業活動における「取水量の削減」と「排水の水質管理（水質汚染の防止）」に努めてまいります。また、生産拠点の所在地ごとに定められた水利用に関する法規制を支持し 確実に遵守し、WASH（Water, Sanitation, and Hygiene）に関する活動は、「SDGs目標6 安全な水とトイレを世界中に」を支持し、労働安全衛生活動、および社会貢献活動として展開してまいります。

ガバナンスとリスク管理

三ツ星ペルトグループの水資源保全活動に関するガバナンスとリスク管理プロセスは、[「気候変動に関わる取り組み」](#)と共通しております。

戰略

水道水が飲料水として使用でき、かつ低コストで入手できる日本では、水資源の保全に対する意識が薄れがちです。実際に、当社グループの国内生産拠点は、主力製品である伝動ベルトの生産量が海外生産拠点の1/3に過ぎないにもかかわらず、海外生産拠点の約2.5倍の水を使用しています（2024年度時点、図1、図2参照）。

しかし、日本全土が生物多様性のホットスポット※¹に指定されており、取水による水ストレスの悪化、排水による環境汚染など事業活動による自然環境への影響は、生物多様性を棄損するリスクとなっています。

海外生産拠点は日本に比べればはるかに高い水ストレス地域に所在しているため、良質な水は高コストとなることから、拠点設立時から取水量削減の施策が実行されてきました。しかし、近年、生産量の拡大に伴う取水量の増加、地球温暖化による所在地の水ストレス上昇等が発生し、行政の取水制限、あるいは渇水等により水の供給不足が発生し生産活動が抑制されるリスクが高まる中、さらなる取水量削減活動が必要となってきています。また、当社グループが原材料として使用する綿は、栽培時における取水と農業による環境汚染が栽培地域の水ストレス悪化の原因となるため、栽培におけるこのような環境課題への対応状況を検証した上で購入すべき材料となっています。

こうした現状を踏まえ、「水資源の保全」に関するリスクと機会を洗い出し、それらが当社グループの事業活動に与えるインパクトを評価のうえ、その結果を戦略と目標に展開いたしました。

三ツ星ベルトグループの生産拠点ごとの「水供給不足」および「水ストレス」のリスクを分析、評価しました。「水供給不足」リスクおよび「水ストレス」リスクは、生産拠点の所在地により変化するため、World Resources InstituteのAquaductから、現在および将来のリスク情報を入手し、SSP1 RCP2.6、SSP5 RCP8.5シナリオに沿った2030年、2050年、2080年のリスクを5ランクで表示しました（リスクが高い：5⇐リスクが低い：1）。

a. ハザードスクリーニング

生産拠点※	所在地	水供給不足								水ストレス							
		SSP1 RCP2.6				SSP5 RCP8.5				SSP1 RCP2.6				SSP5 RCP8.5			
		現在	2030年	2050年	2080年	2030年	2050年	2080年	現在	2030年	2050年	2080年	2030年	2050年	2080年		
神戸	日本	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2		
四国	日本	1	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2		
名古屋	日本	2	2	2	2	2	2	1	3	3	3	3	3	3	3		

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

綾部	日本	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
滋賀	日本	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
三ツ星コード	日本	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
西神	日本	2	2	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
MBL(USA)	アメリカ	2	2	2	3	2	3	3	5	5	5	5	5	5	5
MOH	シンガポール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
MBI	インドネシア	2	2	2	2	2	2	2	4	4	3	3	4	4	4
SEIWA	インドネシア	2	2	2	2	2	2	2	4	4	2	2	4	4	4
STI	タイ	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4
SMB	中国	2	2	2	2	2	2	3	5	4	4	4	4	4	4
MB(POL)	ポーランド	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
MB(IND)Rabale	インド	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
MB(IND)Supa	インド	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5

1 2 3 4 5
低 高

拠点略称

MBL(USA) : MBL (USA) CORPORATION
MOH : MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
MBI : PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA
SEIWA : PT. SEIWA INDONESIA
STI : STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
SMB : SUZHOU MITSUBOSHI BELTING CO., LTD. (蘇州三之星機帶科技有限公司)
MB(POL): MITSUBOSHI POLAND Sp.z o.o.
MB(IND)Rabale : MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED (Rabale Plant)
MB(IND)Supa : MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED (Supa Plant)

国内7生産拠点において、水供給不足リスクは気候変動の影響をほとんど受けず、リスクの低い（レベル1〜2）状況が世紀末まで継続すると判断しています。海外9生産拠点の水供給不足リスクは、日本と比べるとやや高いリスク（レベル1〜4）を有していますが、既に、冷却水循環システムやミスト冷却システム等の対策を講じ安定した操業を継続できています。また、世紀末まで現在の水供給不足リスクから大きく変化することはないという分析結果より、冷却水循環システムやミスト冷却システム等の展開は進めるものの、差し迫った対応の必要はないと考えています。

国内7生産拠点の、現在の水ストレスリスクは、水供給不足リスク同様、気候変動の影響をほとんど受けず、リスクの低い状況（レベル2〜3）が世紀末まで継続します。海外9生産拠点においては、インドの1生産拠点、中国の生産拠点、米国の生産拠点が最高のリスクレベル5、インドネシアの2生産拠点、タイの生産拠点がリスクレベル4とかなり高いリスクレベルにあり、この状況が世紀末まで続くと思われます。水ストレスリスクを悪化させる主な原因は、“人口増加”、“気候変動”、“水紛争”等、地域の社会環境にあると言われていたため、水ストレスに関する基本的な対応施策を「取水量の削減」とし、地域ごとの社会環境変化を確実に監視・評価し、適時適切な対応をとっていきたいと考えています。

さらには、水ストレスリスクの調査範囲を、サプライチェーン全体へ広げた結果、当社が使用する原材料の一つである「綿」の生産地域と水ストレスの高い地域とが、インド北西部で重なっていることが確認できました。この地域の現在の水ストレスは最高ランク5にあり、将来も改善されません。2023年度に策定しました調達ガイドラインでは水資源の保全に関する活動の実施を明確に要請しており、サプライチェーン全体で「サステナブルコットン」等のサステナビリティ材料への切換等を進めていきたいと考えております。

リスクと機会の洗い出しおよびインパクト評価の結果、気候変動による水供給不足および社会環境の変化に伴う水ストレスの上昇は、当社グループの生産活動における取水に影響し、対応を怠れば製品供給の遅れにつながります。他方、適切な対応を実施できれば製品の安定供給による顧客信頼性の獲得につながると判断しています。更に、水ストレスが高い地域で生産される綿を原材料として使用した場合、強制労働により生産された綿同様に、当社のレピュテーションに大きなマイナスの影響を及ぼし、不買運動等につながりかねないリスクを有しています。

一方、水利事業として、効率的な水資源の活用を目的としたダム、ため池、用水路等の整備が進展すると予想され、これらに活用される当社の遮水シートおよびその施工サービスに対する需要の高まりが期待されます。

b. リスクと機会の洗い出しおよびインパクト評価結果

種類	ドライバー	事業へのインパクト				対応策 / 戦略	時間軸	
		影響度	リスク	影響度	機会			
物理リスク	急性	環境事故	大	生産拠点からの有害物質を含む排水が漏洩、それに伴う操業停止	大	事故発生の未然防止活動による安定した操業の確保、顧客信頼の獲得	BCPの運用／継続的改善、排水設備管理、化学物質管理	短～長期
	慢性	環境汚染	大	生産拠点からの排水による環境汚染、それに伴う操業停止、取水制限	大	環境汚染を防止する活動による安定した操業の確保、顧客信頼の獲得	排水・排気・廃棄物管理、排水・排気処理設備導入、廃棄物量削減活動、化学物質管理	短～長期
		地球温暖化	小	降雨量減少による地域の水ストレス上昇、そして取水制限	中	取水量削減活動による安定した操業の確保、顧客信頼の獲得	リサイクル水使用範囲の拡大、水消費を抑えた工法開発、地域の水ストレス監視	中～長期
			大	降雨量減少による水源の枯渇、操業停止			地域の気候変動と水ストレス監視	長期
		社会環境変化	小	人口増加による地域の水ストレス上昇、そして取水制限	中	取水量削減活動による安定した操業の確保、顧客信頼の獲得	リサイクル水使用範囲の拡大、水消費を抑えた工法開発、地域の水ストレス監視	中～長期
	大		取水する企業の増加による地域の水	大	取水制限に影響されない生産体制構築	リサイクル水使用範囲の拡大、水消費	中～長期	

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
ミツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産業用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

		低	中	高	中	高	中	高
移行リスク	政策	環境汚染	小	規制の強化に対応した設備投資、管理費用増による収益性の低下	大	厳格な規制対応、及び適切な情報開示による企業価値向上	環境汚染防止システムの継続的改善、実施状況の監視、情報開示	短～長期
		生物多様性	小	生物多様性にとって重要な地域に指定されることによる管理費用の増加、収益性の低下	大	生物多様性に対して実効性のある活動を実施することによる企業価値向上	事業活動拠点ごとに TNFD のフレームワークを使用して生物多様性に関する分析を実施	中～長期
		公共サービス	小	公共サービス改善を目的とした工場での取水制限	中	取水量削減活動による安定した操業の確保、顧客信頼の獲得	リサイクル水使用範囲の拡大、水消費を抑えた工法開発、地域の水ストレス監視	中～長期
	市場	顧客指向	中	顧客が求める環境配慮製品への転換遅れによる事業機会の喪失	中	新しい環境配慮製品による新しい事業機会の創出	環境配慮製品の調査・企画・開発 環境配慮製品管理システムの維持・改善	中～長期
	評判	社会要求	大	水資源保全活動の目標未達、或いは情報開示不足による企業価値低下	大	水資源保全活動の目標達成、或いは適切な情報開示による企業価値向上	サステナビリティ会議（トップマネジメント）による水資源保全活動の管理	短～長期
※影響度		小	：1 億円以下					
		中	：1 億円～10 億円					
		大	：10 億円以上					
※時間軸		短期	：～2026 年					
		中期	：～2030 年					
		長期	：～2050 年					

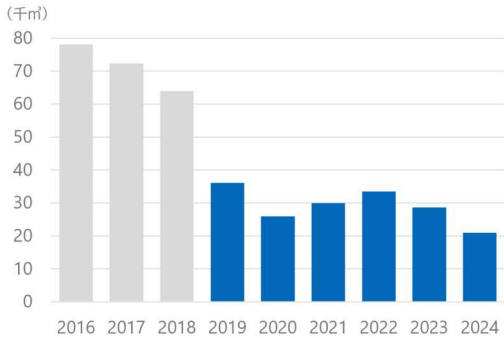
生産活動の停止による財務インパクトは、グローバルな生産補完システムが機能することによって、連結ベースでの影響は非常に軽微なものとなりますが、生産拠点単独ベースでは、停止期間に応じた売上高の減少が見込まれます。また、水利事業活性化による遮水シートの売上高は、これだけを分離して見積もることは難しいですが、2024年度のこれを含んだ建材資材分野の売上高は、2020年度比42%増の8,102百万円/年となりました。

目標

これまで当社では、水の消費量を減らすために、日本に比べ取水環境の厳しい海外生産拠点を中心に「冷却水循環システム」、「ミスト冷却システム」等を導入してまいりました。ゴム製品の生産においては、化学反応によりゴム弾性を発現させる"加硫"工程が不可欠ですが、この工程では、ゴムに硫黄等を加え、高温（100℃以上）で反応させるため、加硫後には冷却が必要であり、この冷却に水を使用しています。

2019年度、当社・北米の生産拠点 MBL (USA) CORPORATIONにおいて、「冷却水循環システム」を導入いたしました。同システム導入前後の水使用量の推移は図の通りです。導入前では、年間約7万㎡の水を使用していましたが、同システムの導入により、年間水使用量を3万㎡弱まで減少させることができました。

参考：MBL (USA) CORPORATIONにおける水使用量の推移



前述の通り、当社グループ・国内生産拠点の取水量は、海外生産拠点の約2.5倍であり、特に国内生産拠点における取水量の削減が急務となっております。以下の目標を設定し、取水量の削減に取り組んでまいります。既に「冷却水循環システム」が導入されている海外生産拠点では生産量の増加に伴う取水量の増加が見込まれますが、水消費効率の維持・改善を展開し、2021年度の取水量原単位維持を目指します。これら施策の展開により、当社グループの2030年における水使用量は約900千㎡（2021年度比26%削減）を見込んでいます。

サブマテリアリティ	施策・内容	KPI
水資源保全の取り組み	冷却水循環システムの導入	国内拠点の取水量目標： 2030年度までに50%削減（基準年度：2021年度）
	水消費に係る効率の改善	海外拠点の取水量目標： 取水量原単位を維持する（基準年度：2021年度）

実施状況

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ



製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

取水量削減活動

2024年度の国内拠点の取水量は、名古屋工場において「冷却水循環システム」の導入、全拠点で水消費効率の改善を進めた結果、744,795㎡（2021年度比 ▲15.1%）となりました。海外拠点の取水量原単位は、全拠点で水消費効率の改善を進めた結果、15.18㎡/t（2021年度取水量原単位：16.77㎡/t）となりました。

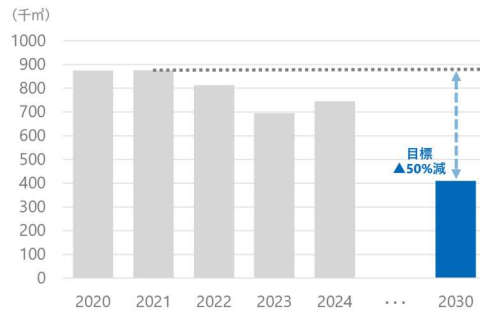


図1 国内拠点の取水量の推移

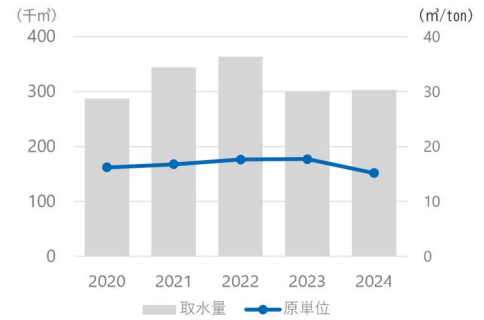


図2 海外拠点の取水量原単位の推移

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

製品情報

- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- 樹脂製品
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

テクニカルサポート

- ベルト設計支援ソフト
- 適正張力計算コーナー
- プーリCADデータ
- テクニカルライブラリ
- 用途別設計検討事例集
- よくあるご質問
- 製品の該非判定について
- 改正食品衛生法適合製品
- 環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — 「人財戦略の強化」人的資本経営の推進

「人財戦略の強化」人的資本経営の推進

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、当社が今後も社会価値の向上とともに持続可能な成長を実現するためには「人財」が最も重要な成長の源泉であると認識し、2030年度の「ありたい姿」において、下記の「人財戦略」を掲げています。また、2024年5月に開示しました'24中期経営計画では、「企業価値向上への取り組み」の筆頭に「人財戦略強化」を掲げ、その取り組みをさらに加速させていきたいと考えています。

グループ従業員だけでなく、外部人材も含めた多様な方々の能力を掛け合わせることで収益性向上への大きな推進力を生み出しています。

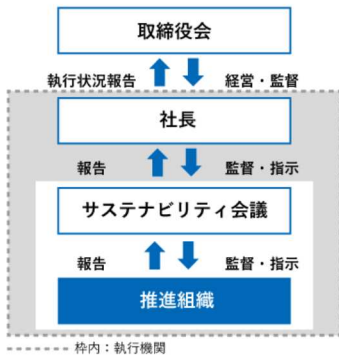
変革を推進する人材の育成

- 「人」の力を最大限に発揮できる人事制度（教育を含む）、職場環境の充実
- 多様性を尊重した新しい発想、変革を恐れないチャレンジ精神を大切にする「企業風土」の醸成管理体制

人的資本経営の推進体制

当社グループにおける人材育成と職場環境整備に関する戦略と方針は、人事総務本部（部門長：取締役常務執行役員）において立案され、サステナビリティ会議で審議、決定のうえ、取締役会に報告されます。

人的資本経営の推進体制と役割



役割	推進組織
異動、報酬、評価などの人事制度 ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン	人事部
教育制度の企画・実行	人材開発室、DX推進室
安全衛生、健康管理などの 職場環境管理	総務部
職場環境管理に係る制度管理	安全環境管理部
従業員エンゲージメント、職場環境の整備、など	働き方改革推進委員会

また、職場環境の整備、生産性改善に関する施策を組織横断的に実施し迅速に普及させることを目的として、取締役が委員長を務め、ダイバーシティ（性別、年齢、職種、職制）を意識した委員で構成する働き方改革推進委員会が設けられています。本委員会では、実行課題、対象部門、対応施策、目標を設定し、対応施策の実施状況を監視・評価し、必要に応じて施策内容の変更を指示します。これら活動内容は、対応施策の進捗状況に応じて、社長及びサステナビリティ会議に報告、審議され、この報告・審議内容は取締役会の報告事項となっています。

さらに、サステナビリティ会議においては、人的資本経営推進の観点から、マテリアリティの1つに「人財戦略の強化」が取り上げられ、施策ごとに推進組織（下記表参照）が指名されています。施策推進組織からサステナビリティ会議へは実施状況報告がなされ、施策実施内容の監視・評価が行われています。「人財戦略の強化」に関するリスク管理のプロセスは「気候変動に係る取組」（リンク貼付け）と共通しております。2024年度、リスク管理委員会において、人的資本経営に関する重大リスクは特定されませんでした。サステナビリティ会議では、前述の通り「人財戦略の強化」がESG経営におけるマテリアリティとして特定されています。

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

マテリアリティ：「人財戦略の強化」 課題ごとの推進組織

取り組む課題	課題の施策	推進組織
DE&Iの推進	女性管理職者割合の向上	人事部
人的資本経営の推進	従業員エンゲージメントの向上	働き方改革推進委員会

「人財戦略の強化」に関するリスク管理のプロセスは「[気候変動に係る取組](#)」と共通しております。2024年度、リスク管理委員会において、人的資本経営に関する重大リスクは特定されませんでしたが、サステナビリティ会議では、前述の通り「人財戦略の強化」がESG経営におけるマテリアリティとして特定されています。

人的資本に係る戦略と施策実施状況

日本の三ツ星ベルトグループを対象として、今後発生することが想定されている労働人口の減少と高齢化、人的資本経営の普及等を外部環境の変化と想定した場合に、事業活動へのインパクトを「リスクと機会」としてまとめました（下図参照）。

日本企業の経営において、労働人口の減少、従業員の高齢化は、各社共通した課題ですが、日本の三ツ星ベルトグループでは、これら以外に、女性従業員比率・女性管理職比率の低さが課題であると認識しています。また、2023年度からサーベイを開始しました従業員エンゲージメントの向上は事業活動の活性化に直結するものであり、その測定・監視・評価・改善は事業活動の中で重要な要素となります。また、これまで難しかった人事・総務施策の目標設定に活用することで、施策の有効性が明確になり、効率的な人事・総務活動につながるかと考えています。

図 日本の三ツ星ベルトグループにおける人的資本に係るリスクと機会

種類	ドライバー	事業へのインパクト				対応策 / 戦略	時間軸
		影響度	リスク	影響度	機会		
政策 法規制 人口構成	人権擁護、少子高齢化、多様化、働き方改革、労働環境改善を目的とした各種法規制	大	・法規制不遵守、コンプライアンス事故発生による信頼性失墜、社会的価値低下 ・制度運用に要する経費増大	大	・従業員エンゲージメント向上による労働生産性改善 ・法規制遵守、適切な情報開示による企業価値の向上	・コンプライアンス管理体制の整備、監視・評価の実行 ・web サイト管理体制の強化	短～長期
	人的資本経営	大	・旧来の経営スタイルを継続することによる改善機会の損失 ・人的資本経営を導入しないことによる企業価値低下	大	・人的資本経営による労働生産性改善 ・適切な情報開示による企業価値の向上	・人的基本経営の推進 ・web サイト管理体制の強化	中～長期
	労働人口減少 少子高齢化 外国人就労者	中	・採用人材の能力低下による労働生産性の低下 ・社会保障負担増加による収益性悪化	大	・自動化、業務改善による収益性向上 ・従業員エンゲージメント改善による労働生産性改善	・人事制度の拡充 ・DX 活用、採用人材多様化による労働生産性改善 ・従業員エンゲージメント改善施策実行と監視	中～長期
要員構成 (多様性)	年齢、性別、国籍、人種、宗教、言語等々	大	・多様性喪失による変革機会喪失、事業持続性低下 ・多様性喪失、人権事故発生による信頼性失墜、社会的価値の低下 ・固定費増加による収益圧迫	大	・多様性維持による変革機会創出、持続性維持、収益改善 ・多様性維持、適宜適切な情報開示による信頼性獲得、社会的価値向上	・人的資本経営の推進 ・従業員エンゲージメント改善施策実行と監視 ・人権デューデリジェンス活動の実行、改善 ・マイノリティにも対応した制度設計 ・web サイト管理体制の強化	中～長期
	法規制 要員構成 人権擁護	大	・制度不備、管理不足による従業員エンゲージメント低下、労働生産性低下 ・人権侵害、法令違反等の事故発生	大	・適切な制度整備の完全な制度運用による従業員エンゲージメントの向上、労働生産性改善 ・適宜適切な情報開示による信頼性の獲得、社会的価値の向上	・人事制度の拡充 ジョブマッチング タレントマネジメント 従業員株式交付制度 ・安全衛生管理システムの第三者認証取得 (ISO45001) ・従業員エンゲージメントを評価指標とした制度運用管理 ・人権デューデリジェンス活動の実行、改善 ・web サイト管理体制の強化	短～長期
	法規制 要員構成	中	・制度不備、管理不足による従業員エンゲージメント低下、労働生産性低下 ・労災、疾病等の安全衛生事故の増加	大	・適切な制度整備の完全な制度運用による従業員エンゲージメントの向上、労働生産性改善 ・適宜適切な情報開示による信頼性の獲得、社会的価値の向上	・労働安全制度の拡充 ・安全衛生管理システムの第三者認証取得 (ISO45001) ・マイノリティにも対応した制度見直し ・web サイト管理体制の強化	短～長期
安全衛生	法規制 要員構成	中	・制度不備、管理不足による従業員エンゲージメント低下、労働生産性低下 ・労災、疾病等の安全衛生事故の増加	大	・適切な制度整備の完全な制度運用による従業員エンゲージメントの向上、労働生産性改善 ・適宜適切な情報開示による信頼性の獲得、社会的価値の向上	・労働安全制度の拡充 ・安全衛生管理システムの第三者認証取得 (ISO45001) ・マイノリティにも対応した制度見直し ・web サイト管理体制の強化	短～長期
	法規制 DX・リスキリング 人的資本経営 社内制度	中	・法規制周知活動不足によるコンプライアンス事故、人権事故の発生 ・教育内容の充実に伴う費用拡大 ・教育不足による労働生産性の低下、人材戦略の破綻	大	・法規制遵守、適切な情報開示による企業価値の向上 ・教育内容の充実による従業員エンゲージメント改善、労働生産性向上 ・DX 活用による労働生産性改善、固定費低減	・人材ポートフォリオに沿った教育活動 ・DX 教育プログラムの開発、導入 ・web サイト管理体制の強化	短～長期
※影響度		小	：1 億円以下				
		中	：1 億円～10 億円				
		大	：10 億円以上				
※時間軸		短期	：～2026 年				
		中期	：～2030 年				
		長期	：～2050 年				

チャレンジを是とする企業風土改革

人事制度の再構築

当社では、『多様性を尊重した新しい発想、変革を恐れないチャレンジ精神を大切に「企業風土」の醸成』を経営の最重点課題として捉え、「ありがたい姿」実現に向けた種々の施策に取り組んでいます。

上述しました「チャレンジ精神を大切に「企業風土」を醸成するための施策として、2022年度より人事制度の改訂に取り組んでいます。新たな人事制度では、従業員のより主体的な「チャレンジ」を促し、結果だけではなく、その取り組み姿勢やプロセスを適切に評価することを目的に、コンピテンシー評価を取り入れ、また、若手社員が多様なキャリアパスを通じて早期に成長できるよう、監督・管理職への任用基準を含めた人材育成の枠組みを改定しました。引き続き、個の力を最大限に発揮できる人事制度を目指し取り組みを進めてまいります。

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
ミツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

多様な個性が最大限に発揮され、そしてそれら個性が組織として活かされるためには、従業員の主体的な"チャレンジ"を支援する制度が必要だと考えています。この考えのもと、当社では、従業員自らが志向する業務へ挑戦できる機会を提供するため、従業員の手挙げによるジョブマッチング制度の導入を進めています。この制度により、従業員のキャリアプラン実現によるエンゲージメント向上にも期待しています。

人材マネジメント、育成・リスクリング

能力開発プログラム

当社では、新入社員教育、初期作業者教育をはじめとして、役割の変化に伴う階層教育、職務内容に応じた専門教育等、様々な能力開発プログラムを運用しています（下表参照）。

社員教育は、OJT（職場内教育）を基本として、スキルマトリックスをベースに部門あるいは定められた組織で年度ごとに計画・実行され、有効性を評価したのち、次年度の事業活動に展開されています。

また、自ら学び、自ら取り組み、問題解決に向けて努力する人材育成のため、充実した自己啓発プログラムを設けることで従業員各自の向上意欲を開発、助成する必要な施策を行っています。

階層	階層教育	職能教育	ものづくり・DX	グローバル人材教育	女性活躍 自己啓発 他
上級管理職 管理職	エグゼクティブスクール	各所属部門における専門職能教育	AOTS海外 実務者研修	徳星塾	通信教育
	ミドル・マネジメント・プログラム				
	新任管理職研修				
	ヒューマンアセスメント研修				
監督職	係長研修		ミツ星アカデミー	海外派遣研修	eラーニング
	組長・班長研修				
中堅社員 若手社員	クリティカルシンキング研修		自主保全士研修		お星さま研修
	リーダーシップ研修				
	入社3年目研修				
新入社員	新入社員研修		生産現場の 問題解決研修	オンライン 語学研修	プレゼンテーション スキルアップ セミナー
	フォロー研修		品質管理の 基礎研修	海外赴任前研修	若手社員交流会
	ステップアップ研修				
	ビジネスマナー研修		QC検定	働く女性の スキルアップ セミナー	
	コミュニケーション&ストレスケア研修				
	PC・office研修		DX人材育成	海外ローカル 社員研修	ラインケア研修
	製品・材料基礎研修				
	ビジネス文書・簿記				
	サステナビリティ経営/SDGs				
	営業・技術・本社研修				
	安全教育				
工場研修					

次世代リーダーの育成

変革を成功に導く次世代リーダー育成のため幹部候補社員を社外の経営幹部養成プログラムへ派遣しています。論理思考力や「ヒト」「モノ」「カネ」の経営全領域を学ぶことで、ゼネラルマネジメントの視点を養うと共に異業種参加者との他流試合を行い、刺激を受けることで自らを高める事にも寄与しています。業界を超えた参加者とのネットワークは貴重な財産になっています。

海外派遣研修制度

グローバルで活躍できる人材育成のため、当社では、アメリカ、中国の2か国の大学に研修生を派遣しています。研修先の国では、語学の習得に専念できる環境が整えられているだけでなく、日本では体験する機会の少ない異文化交流を通じた多様な視点を養うまたとない機会であり、研修終了後は、グローバルな視野を持つ人材として所属部署での活躍が期待されるとともに、対象者のキャリアプランに応じて、その後の海外拠点での勤務にも挑戦することができます。

DX研修

日本においては、労働人口減少への対応を進めることが今後の事業を継続していくための重要な課題であると認識しています。労働人口が減少する中、DXを推進して生産性改善と自動化を進め、事業拡大に伴う要員の増加を抑制または削減するための施策推進に取り組んでいます。

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



DX研修プログラム受講者数（単位：名）

プログラム	2022年度	2023年度	2024年度
DX研修	33	730	558

自己啓発

自律的な学び直しを支援するため、2か月ごとに従業員の手挙げにより受講者を決定し、費用を全額会社が負担する研修プログラムを設けています。当プログラムは eラーニング形式で提供されており、また、所属長の了解のもと就業時間内での受講も認められていることから、受講者はそれぞれのライフスタイルに合わせて学びを進めることができます。2024年度の実受講者数74名・研修時間（1人あたり8.4時間）の学びの場が提供され、従業員のスキル向上に役立てられています。

eラーニング研修プログラム受講者数（単位：名）

プログラム	2022年度	2023年度	2024年度
DX研修	140	81	74

DE&Iの推進

女性活躍推進

当社は、年齢、国籍、性別などそれぞれ異なるルーツ・バックグラウンドを持つ従業員一人ひとりの能力と多様な個性が十分に発揮される企業を目指しています。ジェンダーの多様性の観点からは、当社においては、女性従業員および女性管理職の割合が少なく※、当社の多様性における課題の一つであると認識しています。こうした状況の改善を目指し、積極的な女性の採用を行うと共に、ジェンダーに関わらず全ての従業員の活躍を推進するため、従業員それぞれのワークライフバランスを実現する諸制度の拡充に取り組んでいます。

※ 2024年度実績：女性管理職比率：3.4%（三ツ星ベルト単体）

マテリアリティのKPI：2026年度：5%以上、2030年度：10%以上（三ツ星ベルト単体）



多国籍人材の活躍

当社グループは、11カ国15拠点で生産と販売を展開し、売上高および生産量の50%以上を外国拠点で占めるグローバル企業です。世界中で活躍する約4,500人の従業員のうち約60%が外国籍従業員です。これら多様な人材が最大限に力を発揮できるよう、現地の文化や価値観に合った人材の確保および育成に取り組み、グローバルベースでの競争力強化を目指してまいります。

シニア人材の活躍

日本企業の経営において、従業員の高齢化は大きな課題の一つです。また、少子化問題の対策に進展が見られない現状においては、シニア人材の活躍は企業の競争優位の源泉確保に欠かせない課題となっております。現状では70歳までの雇用が当たり前になりつつあり、シニア人材の"経験"というメリットを活かしながら、"身体的な衰え"や"技術の陳腐化"というデメリットを打ち消す施策の導入が必要です。当社は、①健康の維持、②リスキング の2つの観点からシニア人材の活躍支援に取り組んでいます。

ウェルカムバック制度（アルムナイ採用制度）

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- ミツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産業用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

当社では、ライフイベントや自身のキャリアプランの追求のために一度当社を離れた退職者を再雇用する制度の導入を進めています。当社の企業文化や業務内容を深く理解している元従業員が一度当社を離れ経験を積み、異なる視点を持って戻ってくることにより、彼らの経験や知見を活用する機会を創出し、また、会社としては、当社の長所や課題に対する新たな気付きを得られることを期待しています。

障がい者雇用

当社では、障害を持つ方や障がいによって困る環境を整えるため、車いす用のスロープや障害者用トイレなどを設置しています。また、障がいを持つ方の雇用増加に努めており、2024年度の障害者雇用率は2.5%となりました。今後も法定雇用率の遵守を目指し、障がいを持つ方の雇用増加に努めてまいります。引き続き、誰もが働きやすい、多様な人材が活躍できる企業を目指してまいります。



働きがいのある職場づくり

働き方改革推進委員会

ワークライフバランスの取れた多様で柔軟な働き方を実現するために、職場環境の整備、生産性改善に関する施策を組織横断的に実施し、迅速に普及させることを目的として、当社では、取締役が委員長を務め、ダイバーシティ（性別、年齢、職種、職制）を意識した委員で構成する働き方改革推進委員会が設けられています。本委員会では、実行課題、対象部門、対応施策、目標を設定し、対応施策の実施状況を監視・評価し、必要に応じて施策内容の変更を指示します。これらの活動内容は、施策の進捗状況に応じて社長および取締役会に報告され、審議が行われています。

従業員エンゲージメント向上のための環境整備

従業員一人ひとりが『心がはずみ、明日が華やぐ』状態であることを目指し、2023年度より従業員エンゲージメントの測定を開始しました。相対的にエンゲージメントスコアが低い30歳代および生産部門の従業員を中心に、1on1ミーティングの実施や、一般社員と経営層とのタウンミーティングの開催などにより当社理念および経営戦略等のさらなる浸透を図り、これら施策によりエンゲージメントの改善に努めてまいります。

従業員向け株式交付制度の導入（MISA（ミーサ）※）

当制度は、対象従業員に株式を交付することで経営参画意識を醸成し、業績向上への貢献意欲や士気を一層高めることを目的としています。これにより、従業員エンゲージメントの向上を図り、当社の持続可能な企業価値の向上に繋げることを目指します。

※ MISA（ミーサ）：Mitsuboshi Individual Shares Award

ワークライフバランス（子育てや介護と仕事の両立）

前述の通り、当社は、年齢、国籍、性別などそれぞれ異なるルーツ・バックグラウンドを持つ従業員一人ひとりの能力と多様な個性が十分に発揮される企業を目指しています。ジェンダーに関わらず、子育てや介護などのライフイベントと並行して仕事とプライベートを両立しやすい職場環境づくりを進めています。主な取り組みは以下の通りです。

育児休業制度

育児休業は法律に則り、最長で子供が2歳になるまで取得ができます。育児休業からの職場復帰後は、労働時間を最大で2時間短縮できる短時間勤務の選択が可能です。短時間勤務は子供が小学校の始期に達するまで選択可能で、子供が3歳になるまでは賃金の減額もありません。また、所定外労働・深夜業務等に制限を設け、子育てを行う従業員を支援しています。

育児休業取得率

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
男性	10.0%	26.5%	59.3%	50.0%
女性	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

当年度権利取得者の取得率（継続者は含まない）

子育てサポート

次世代の育成支援に積極的に取り組む企業を認定する「くるみん」を2008年に取得しています。従業員から"選ばれる"会社であることを目指し、今後はプラチナくるみんの取得を計画しています。



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

年次有給休暇制度

生活における様々な状況に対応して働き続けられるように、繰り越し日数も含め、最大で40日の年次有給休暇を取得することができます。また、休暇を取得しやすいように半日単位、時間単位の取得も出来る制度としています。

年次有給休暇取得率

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
48.6%	53.1%	68.3%	67.1%

特別休暇制度

年次有給休暇以外にも、結婚、出産、忌引、法要、転勤など、一人ひとりのライフイベントに対応した有給休暇を取ることができる制度を設けています。メモリアル休暇は誕生日の前後1週間に取得することができ、また、勤続15年 / 25年を迎えた従業員にリフレッシュ休暇を付与するとともに、旅行券の支給も行っています。

お星さま制度 / お星さま休暇 / お星さま研修

母子・父子家庭の従業員ならびに障害のある子ども、また要介護者のご家族を持つ従業員を対象とした制度で、支援金と特別休暇の両側面から支援を行っています。さらに、長期の育児休暇後の従業員には、スムーズな職場復帰をしてもらうためのメンタルサポート研修も実施しています。

介護休業

介護休業は法律に則り最大93日まで取得することができます。また、所定外労働・深夜業務等に制限を設け、介護を行う従業員の生活に配慮しています。

ドレスコードの自由化

DE&I促進の一環として、当社ではオフィスでのドレスコードを変更し、スーツや制服以外の服装を選択できるようにしています。従業員一人ひとりの個性を活かし、新しく自由な発想や自律的な思考が生まれやすい職場環境を目指しています。

新卒入社後3年以内の離職率

2018年から5年間の新卒入社3年以内離職率は平均6%程度であり、全国平均※の約30%を大きく下回っています。「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、人に優しい、温かい人間味あふれる社風に共感して入社してきた従業員が、物事に前向きに取り組み、活躍しています。

入社年度	入社人数	入社3年以内	
		離職者数	離職率
2018年度	33人	2人	6%
2019年度	36人	2人	5%
2020年度	23人	1人	4%
2021年度	22人	3人	13%
2022年度	19人	0人	0%

※厚生労働省「新規学校卒業就業者の在職期間別離職状況」より

目標と実施状況

2024年、サステナビリティ会議では「人財戦略」における課題の施策「女性管理職割合の向上」と「従業員エンゲージメントの向上」を迅速、確実に改善することを目的としてそれぞれにKPIを設定いたしました。

課題の施策	KPI
女性管理職割合の向上	女性管理職比率（課長） 2026年度：5%以上 2030年度：10%以上（三ツ星ベルト単体）

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス +
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ +
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト +
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

課題の施策	KPI
従業員エンゲージメントの向上	スコア改善目標 2026年度：10%改善 2030年度：13%改善

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — 人権の尊重

人権の尊重

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、当社の事業活動に係る全ての人の人権を尊重することが社会および当社グループの持続可能な成長の最大の前提条件であると考えており、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」およびその他の国際基準に基づき、マテリアリティの1つに「人権と人格の尊重」を取り上げ、人権尊重の取り組みを推進しています。

ガバナンスとリスク管理プロセス

「人権と人格の尊重」に係るリスクはサステナビリティ会議のワーキンググループが実施する人権デューディリジェンス（人権DD）により特定され、サステナビリティ会議が指名する推進組織により人権リスクに対する施策が実行されます。活動の進捗状況はサステナビリティ会議により監視・評価され、その内容はサステナビリティ会議から取締役会に報告されています。また、人権リスクは全社的なリスク管理プロセスにおいても特定されます。プロセスの詳細については、気候変動への取組／TCFD提言に基づく開示／リスク管理をご参照ください。

取り組み状況

人権方針の制定と人権DD

2023年1月、人権方針を制定するとともに、マテリアリティの施策推進組織であるワーキンググループでの人権DD及びサステナビリティ会議での議論により、当社のサプライチェーンを含む事業活動において、以下の取り組むべき人権リスクを特定しました。2024年2月には、調達ガイドラインをウェブサイトを開示し、取引先に人権DD活動への協力を要請しました。

人権方針、調達ガイドラインは、当社ウェブサイトをご参照ください。

取り組むべき人権リスク

特定した人権リスク	推進組織
児童労働、強制労働を伴う原材料（天然ゴム、綿等）の使用	サステナビリティ会議事務局＋購買部

人権リスクの洗い出し

事業フロー		人権課題※1
原材料メーカー	天然ゴム生産者	強制労働、児童労働、劣悪な労働環境、不当な労働条件
	綿花生産者	強制労働、児童労働、劣悪な労働環境、不当な労働条件
	パーム油生産者	強制労働、児童労働、劣悪な労働環境、不当な労働条件
	後進国メーカー	劣悪な労働環境、不当な労働条件、環境汚染
	先進国メーカー	外国人労働者に対する強制労働、不当な労働条件、ハラスメント、プライバシー侵害（個人情報管理）、不当表示
輸送業者	後進国輸送業者	強制労働、児童労働、劣悪な労働環境、不当な労働条件
	先進国輸送業者	劣悪な労働環境、不当な労働条件
外注加工業者	零細業者	外国人労働者に対する強制労働、劣悪な労働環境、不当な労働条件、環境汚染
	一般業者	外国人労働者に対する強制労働、不当な労働条件、ハラスメント、プライバシー侵害（個人情報管理）、不当表示
自社製造・販売	製造	劣悪な労働環境、ハラスメント、差別、プライバシー侵害
	営業	サービス残業、顧客からの無理な要求、上司からの無理な要求、ハラスメント、差別、プライバシー侵害、不正行為
	購買	取引先に対するハラスメント、無理な要求、不正行為
	その他間接	サービス残業、上司からの無理な要求、ハラスメント、差別、プライバシー侵害、不正行為
輸送業者	（前述の通り）	（前述の通り）

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

事業フロー		人権課題 ※1
顧客	一般顧客	取引先に対するハラスメントや無理な要求、不正行為
	後進国代理店	劣悪な労働環境、不当な労働条件、環境汚染

※1 人権課題はすべてを網羅せず、重要と思われる課題を抽出して記載

人権救済メカニズムの構築

2024年、サステナビリティ会議では国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」の要求する人権救済メカニズム（グリーンパンスメカニズム）の構築に着手いたしました。2025年度も引き続き調査・研究を継続いたします。

サプライチェーンエンゲージメント

2024年、サプライヤーとのコミュニケーションツールを導入し、主要30社を対象とした人権課題を含むESG課題の実施状況に関するアンケート調査を実施し、調査結果説明会を開催いたしました。2025年度も本ツールを活用してサプライチェーンエンゲージメント活動を推進してまいります。

2024年、EUの「欧州森林破壊防止規則（EUDR）」に対応し、天然ゴム栽培地における森林破壊の状況調査と共に法令遵守状況（強制労働、児童労働の有無）調査を天然ゴムサプライヤーに行っていただきました。2025年度、この調査結果を人権デューディリジェンス活動に展開する計画です。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — バリューチェーンマネジメント ①調達活動

バリューチェーンマネジメント ①調達活動

基本的な考え方

優れた品質の製品・サービスを、適正な価格で安定して調達することは、事業活動を持続可能な形で展開するための前提条件であり、そして、その基盤となるのは、お取引先と当社グループとの確立された信頼関係に他なりません。

「三ツ星ベルトグループ調達方針」でコミットしております通り、全てのお取引先と、「公正・公平な調達活動」を行い、「相互に信頼できるパートナーシップを構築」し、三ツ星ベルトグループとお取引先により新たな価値を共創できる関係の構築に取り組んでまいります。

調達ガイドラインを制定・開示

三ツ星ベルトグループが、持続可能な社会の実現に貢献していくためには、お取引先と価値観を共有のうえで、「CSR調達（コンプライアンス、人権尊重、安全衛生、情報セキュリティ、情報開示等）」、「グリーン調達（気候変動対応、生物多様性保全、水セキュリティ、サーキュラーエコノミー等）」の深化に取り組み、さまざまな社会課題の改善に取り組んでいく必要があります。

2023年、持続可能な社会の実現への取り組みをバリューチェーン全体でより活性化させていくために、国連グローバルコンパクトが定める、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則に則り、三ツ星ベルトグループの調達に関する考え方、お取引先と共に取り組みたい内容を、「調達ガイドライン」として制定・開示いたしました。人権やCO₂削減、または生物多様性などの項目において、当該ガイドラインに基づきバリューチェーン全体での負の影響を特定し、お取引先様と協業のうえで持続可能な事業推進のための取り組みを進めてまいります。

※調達ガイドラインは[こちら](#)

気候変動対応、生物多様性保全、人権の尊重に向けた取り組み

三ツ星ベルトグループにおける2024年度のScope 3－カテゴリ 1 「購入した製品・サービス」に由来するCO₂排出量は約80,625tonであり、三ツ星ベルトグループのScope 1 およびScope 2 の合計CO₂排出量：約71,986tonを上回っています。地球温暖化を止めるためには、当社グループのCO₂排出量を減らしていくことも重要ですが、サプライチェーン全体でのCO₂排出量を減らすことにも同じように注力しなければなりません。

生物多様性の保全活動においては、管理が不十分な「天然ゴム」の栽培による森林破壊が生物多様性の保全を脅かしており、また、同じく管理が不十分な「綿」の栽培による散水、農業汚染が、既に高い水ストレスが存在する栽培地域の水ストレスを一層悪化させていることが明らかになりました。2024年、欧州森林破壊防止規則（EUDR）※に対応した活動として、天然ゴムのサプライヤーにEUDRに準拠した天然ゴムの供給が可能かどうかを調査していただきました。2025年は、EUDRに準拠した天然ゴムを供給していただき、デューデリジェンスを実施し、EUDRに準拠した製品供給を開始する計画です。

※ 世界の森林破壊・劣化に対するEUの加担を最小限に抑えることを目的として、事業者および貿易事業者がEU市場にて取引するコモディティ7品目（カカオ、コーヒー、パーム油、ゴム、大豆、牛、木材 およびその派生品）を対象に、森林破壊につながる製品の取引禁止やデューデリジェンス実施を求める規則。中小企業では2026年6月30日から、中小企業以外では2025年12月30日から EU域内においてEUDR 基準に満たしていない製品の販売が禁止される。

人権デューデリジェンス活動においては、当社グループの主力製品である伝動ベルトの原材料として使用する「天然ゴム」、「綿」の生産地における強制労働、児童労働が、取り組むべき人権リスクに特定されています。前述のEUDRに対応した活動では、森林破壊だけでなく法令遵守について（強制労働、児童労働の有無等）も同時に調査が行われています。2025年はこの情報を人権デューデリジェンス活動に展開する計画です。

三ツ星ベルトグループの事業活動は、バリューチェーンを含み、さまざまな社会課題と密接に関係しています。三ツ星ベルトグループは、これら社会課題の解決に向け、価値観を共にするお取引先と連携して取り組みを推進してまいります。



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ



製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



サプライヤーコミュニケーションツールの導入

2024年、三ツ星ベルトグループでは、お取引先のESG関連情報を収集し、その情報を使用してサプライチェーン全体のESG活動を活性化することを目的としたサプライヤーコミュニケーションツールを導入しました。トライアルとして主要30社を対象にしたESGサーベイ、及びその結果説明会を実施しております。2025年以降、対象範囲を拡大し当社グループ全体の活動として参りたいと考えています。

お取引先監査について

三ツ星ベルトグループでは、お取引先の環境保全および品質保証に関する取り組み状況を監視・評価・改善する目的で、毎年、ISO14001（環境管理システム（EMS））またはISO9001・IATF16949（品質管理システム（QMS））に準拠した、二者監査（場合によって一者監査）を実施しております。監査対象となるお取引先は、過去の監査結果を反映させて絞り込んでおります。

これまでの監査の結果から、環境保全および品質保証に関しては、お取引先での取り組み状況は良好であると判断していますが、今後は、監査を行うお取引先の範囲を、三ツ星ベルト本社購買部のお取引先から、グループ関連会社のお取引先にまで拡大していく必要があると考えています。

また、2020年度より、お取引先に事業継続計画（BCP）の策定・運用を依頼しており、毎年策定状況の調査を行っております。2024年度の調査では、対象企業79社の内、79社のお取引先においてBCPの策定が確認できました。今後、運用状況の調査を継続したいと考えています。

お取引先監査実施状況		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
環境	実施件数	21件	18件	19件	
	不適合件数	0件	0件	0件	
品質	実施件数	21件	18件	20件	
	不適合件数	0件	0件	0件	
BCP	実施件数	54件	75件	79件	79件
	不適合件数	18件	14件	7件	0件

パートナーシップ構築宣言

2021年、三ツ星ベルトは、経済産業省が提唱するサプライチェーン全体での新たな付加価値の創造と適正な取引を目的とした「パートナーシップ構築宣言」を行いました。



三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

▲ 企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

▲ IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

▲ 製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

▲ テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
フリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

▲ お知らせ一覧

▲ サステナビリティ

▲ ライブラリ

▲ 動画ギャラリー

▲ 採用情報

▲ ブログ

ENGLISH | 中文

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトグループの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — バリューチェーンマネジメント ②安全と健康

バリューチェーンマネジメント ②安全と健康

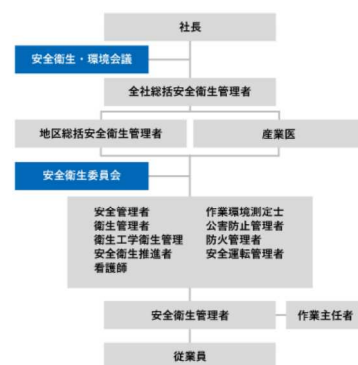
基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、持続可能な成長を実現するための価値の源泉は「人財」とであると認識しています。従業員の安全と健康を確保し、これを管理するシステムを維持、改善することを経営における最重要課題ととらえ、「労働安全衛生基本方針」のもと、従業員の健康と安全の向上に資する活動を実施しています。

労働安全衛生基本方針はこちら

管理体制

安全環境担当役員が議長を務め、全部門長がメンバーを務める「安全衛生・環境会議」が、年2回開催され、全社総括安全衛生管理者がまとめた実施状況報告について、社長と経営会議メンバーによるレビューを行い、その結果を戦略、方針、計画の見直しに展開いたします。見直された戦略、方針、計画は、地区ごとに選任された地区総括安全衛生管理者を通じて、実質的な実行組織である安全衛生委員会に通知され、それぞれの現場に対応した方針、計画へと展開されます。計画の実行内容は、安全衛生委員会が、月度で監視、評価し、報告書としてまとめ、地区総括安全衛生管理者を通じて、全社総括安全衛生管理者に報告されます。



実施状況

安全衛生に関する項目において、三ツ星ベルトグループの事業活動にどのようなリスクと機会をもたらすのか洗い出しを行い、その結果を具体的な施策に展開しました。

「法令改正にタイムリに対応したコンプライアンスの徹底」、「リスクアセスメントによる災害の未然防止」、「健康診断システム、労働災害管理システムの維持・改善」を重点課題とし活動に取り組んでまいります。

関連項目	リスク (▼) と機会 (△)		施策 (取り組み、活動)
法令遵守	△	早期対応による企業信頼度向上	内部監査、法規制教育・訓練、有資格者の育成、法令改正などの法令情報の展開
	▼	法令違反、顧客要求違反による企業価値の毀損	
労働安全 交通安全	△	安全確保による生産の安定、安全意識向上の相乗効果	リスクアセスメント、KY活動、安全衛生教育、安全バトロール、作業環境測定、安全対策の設備投資、ドライブレコーダーデータの活用
	▼	労災、交通事故増加による労働力低下、企業価値低下	
健康管理 メンタルヘルス	△	健康維持による労働活力の増強と安定	健康診断（定期健康診断・生活習慣病検診・特殊健康診断・人間ドック）、ストレスチェック、産業医バトロール、産業医との面談
	▼	罹患者増加による労働力低下	
防災・減災 事業維持・復旧	△	早期対応による事業継続・早期復旧、企業信頼度向上	避難訓練、アプリを利用した緊急避難訓練、防災・減災の設備投資、結果事象型BCPの推進
	▼	緊急時対応不足による事業活動の停止、企業価値低下	

法令改正にタイムリに対応したコンプライアンスの徹底

労働安全衛生法改正に伴う新たな化学物質規制への移行に向け、「化学物質管理者等の選任の義務化」など、タイムリに対応し法令を

遵守するとともに、コンプライアンスに関する社内意識の向上に努めています。



ENGLISH | 中文

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ



製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



リスクアセスメントによる災害の未然防止

リスクアセスメントは、労働災害を未然に防ぎ、従業員の安全を確保するための基本となる、重要手法の一つです。生産現場をはじめ、あらゆる労働環境において潜在的な危険源を特定し、労働災害に至る可能性とそのリスクの大きさを客観的に評価し、許容以上のリスクに対してその大小に応じた対策を、優先順位をつけて実施しリスク低減を図ることができます。年度計画に加え、工程変更等、適宜必要に応じ、リスクアセスメントを実施し、労働災害や職業性疾病の発生を未然に防止すべく取り組んでいます。

健康診断システム、労働災害管理システムの維持・改善

三ツ星ベルトグループでは、定期健康診断、特殊健康診断、ストレスチェック等の法定健康診断以外にも、生活習慣病健診、その他がん検診が無料で受診できるよう健康保険組合と共同でプログラムを作っています。また、人間ドック、脳ドック、心臓ドックは受診資格に制限はありますが会社費用で受診することができます。

2024年度、法定健康診断については100%実施し、また、その他の健診については希望者全員が受診しています。

交通事故を含む労働災害については、「ゼロ災」を年度目標として、リスク管理の強化、内部監査による監視、ルールの見直し等を実施しています。

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
休業災害者数	人	6	2	1	0	0
休業災害度数率	—	4.5	1.44	0.7	0	0
死亡災害者数	人	0	0	0	0	0
死亡災害度数率	—	0	0	0	0	0

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
フリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsuboshi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — バリューチェーンマネジメント ③品質保証活動

バリューチェーンマネジメント ③品質保証活動

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、ものづくりの会社です。製品とサービスに対するお客様の「信頼」は、当社グループが今後も持続可能な成長を遂げるための企業価値の源泉の一つであると考えています。

品質に係る取り組みとして、ISO9001に準拠した品質マネジメントシステム（QMS）を維持、改善しながら、これまでにその範囲をグループ全体に拡げてまいりました。自動車産業に関連する拠点では、要求事項がより厳しい自動車産業向けの規格IATF16949に準拠したQMSを構築しています。これらQMSで定められた要領に従い実行される品質に関する事業活動は、当社グループの「基本理念」ならびに「経営基本方針」のもとに定めた「品質基本方針」に基づいています。

※品質基本方針は[こちら](#)

QMS認証取得状況（2024年）

IATF16949	三ツ星ベルト(株) 四国工場	自動車用ベルト
	三ツ星ベルト技研(株)	自動車用ベルト
	MBL (USA) CORPORATION	自動車用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	自動車用ベルト
	PT. SEIWA INDONESIA	自動車用ベルト
	蘇州三之星機帯科技有限公司	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
ISO9001	三ツ星ベルト(株) 神戸本社、東京本社、名古屋工場、四国工場 三ツ星ベルト技研(株) 三ツ星ベルト工機(株)	一般産業用ベルト、ウォームホイールブランク、エンジニアリングプラスチック、Vリブドブリー、ベルトテンショナー
	建設資材本部、神戸本社、東京本社、名古屋工場	建築用防水シート、土木用遮水シート
	電子材料部	金属ベースト、回路基板材料および塗料
	三ツ星ベルト工機(株)	タイミングプーリ
	三ツ星ベルトコンベヤ(株)	輸送用樹脂ベルト
	三ツ星コード(株)	伝動ベルト用心線
	PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾生体
	PT. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト
	蘇州三之星機帯科技有限公司	一般産業用ベルト
	JIS A6008	合成高分子ルーフィングシート

管理体制

品質に関する事業活動ならびに品質問題に対する責任と権限は社長にあり、品質保証部長が活動の管理責任者を務めます。社長は経営会議メンバー、部門長を招集し「品質保証会議」を開催、品質保証部長が報告する活動状況についてレビューを行い、その結果を戦略、方針、計画の見直しに展開いたします。見直された戦略、方針、計画は、品質保証部長を通じて、各拠点の品質保証部門に通知され、それぞれの現場に対応した方針、計画へと展開されます。計画の実行内容は、各拠点の品質保証部門が、月度で監視、評価し、報告書としてまとめ、品質保証部長に報告します。

全社方針の策定、見直し

品質保証会議

品質
管理

各生産拠点との情報共有

品質保証部門

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



実施状況

品質保証に関する項目において、三ツ星ベルトグループの事業活動にどのようなリスクと機会をもたらすのか洗い出しを行い、その結果を具体的な施策に展開しました。「QMSの維持改善」、「品質教育の充実」、「確実な工程管理」を重点課題とし活動の深化に取り組んでまいります。

関連項目	リスク（▼）と機会（△）		施策（取り組み、活動）
法令遵守 顧客対応	△	早期対応による企業信頼度向上	・QMSの維持、改善 ・品質教育の充実
	▼	法令違反、顧客要求違反による企業価値の毀損	
品質改善	△	信頼性確保によるブランドイメージの向上	・工程管理の徹底 ・お取引先との協業
	▼	品質レベルの低下による競争力低下	
事業展開	△	新規市場の開発による受注機会の増加	・新事業、新製品のQMS支援
	▼	自動車のEV化による既存製品の市場縮小	

QMSの維持、改善

2024年度、第三者審査を受審し、全対象拠点でISO9001、IATF16949またはJIS A6008の認証を維持しました。

品質教育の充実

三ツ星ベルトグループでは、全社的品質管理(TQM：Total Quality Management)の一環として、1967年からQC（品質管理）サークル活動に取り組んでいますが、近年は、グローバルな人材育成・改善活動の場として、国内工場に留まらず海外各工場にもその活動が定着しています。毎年秋には「三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会」を開催し、現場における製品の品質管理や作業効率の改善などの事例を発表し合い、相互研鑽を図っています。また、一般財団法人 日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に選抜サークルが発表するなど、社外のQCサークル発表会にも積極的に参加し、レベル向上を図っています。

2024年度は三ツ星ベルトグループの各拠点から選抜されたサークルがPT. SEIWA INDONESIAに集結し、三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会が行われました。各拠点間の交流が盛んに行われ、一体感のある有意義な大会となりました。

国内では年に2回QCサークル全社大会を開催しております。会場に集合しての発表・聴講のほか、オンライン配信を併用することで、場所を問わず多くの従業員が参加でき、従来にも増して活発な相互研鑽が行われています。加えて、知識・技術の向上、人材育成の強化を図るため、長期的・継続的な品質管理教育を実施しています。品質管理教育は入社時の教育に始まり、それぞれの部門、業務にて必要とされる専門的なものを含め、多岐に渡って実施されます。専門的な知識はもとより、QC的なものの見方、考え方を理解し、身に着けることで品質に対する意識を高め、品質基本方針の達成に向けて取り組んでいます。

工程管理の徹底

生産拠点では、標準類遵守管理の一施策として、日々、製造ライン責任者が職場パトロールを行います。マンネリ化を防ぐ目的で拠点責任者、他部門の責任者もパトロールに参加します。地道な活動ですが、小さな改善を積み上げることで標準類遵守またコンプライアンスの維持に貢献しています。

PL訴訟、リコールへの対応

PL訴訟、リコールは、ものづくりの会社の「信頼」を傷つけますが、財務的にも非常に大きなインパクトを発生させる場合があります。三ツ星ベルトグループ全体をカバーする保険に加入することでこれらのリスクに備えています。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系

IR情報

トップメッセージ
IRニュース

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



TOP — サステナビリティ — 地域社会とのパートナーシップ

地域社会とのパートナーシップ

基本的な考え方

三ツ星ベルトグループは、当社の強みの一つでもある"共創型ビジネスモデル"の基盤の一つとして、地域社会とのパートナーシップ強化に取り組んでいます。

国内外にある全ての事業拠点がそれぞれの属する地域社会とともに発展していくことを目指し、以下に示す「三ツ星ベルトグループ行動基準」に則り、様々な活動を実施しています。

「三ツ星ベルトグループ行動基準」より

- ☐ 地域社会とのパートナーシップを大切にします。
- ☐ 地域社会の課題解決につながる社会貢献活動を行います。

地域社会との共生に向けた取り組み

国内の三ツ星ベルトグループでは、“住民と企業が共生するまちづくり”による持続可能な地域の発展と住みよい街の実現を目指し、ボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成しています。この団体は、グループ従業員で構成され、地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、SDGsの推進や地域社会および従業員間の交流・コミュニケーションを深めるための様々なイベントを企画・開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止による行動制限によりイベントの開催を中止せざるを得ない状況が続いていましたが、2023年5月の行動制限の解除に伴い、各地区・事業所における地域社会との共創イベントを再開しています。

神戸本社のある神戸市長田区真野地区においては、真野地区まちづくり推進会の役員会および委員会と定期的に意見交換を実施しています※。同委員会には、行政、教育機関の関係者も参画しており、重要なステークホルダーの一つである地域社会のニーズを確認したうえで、開催するイベントに展開しています。

※ 真野地区まちづくり推進会の役員会および委員会との意見交換会開催実績：2020年度～2024年度：各年度それぞれ22回

地域社会との共生に向けた取り組み（日本国内）

秋まつり

2023年から神戸本社で行われている「ふれあいフェスタ秋まつり」は、地域の園児による可愛いステージ発表や、家族で楽しめる防災クイズ、大道芸、豪華賞品が当たる抽選会など、地域とのつながりを深める、子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントとなっています。



たなばた笹飾り

神戸本社では、2001年から当社主催による「たなばたまつり」を開催しております。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年から同イベントを中止していましたが、代わりに当社グループ各事業所周辺への七夕の笹飾りを行っています。イベントの形式は以前と異なりますが、引き続き地域社会との交流を積極的に推進してまいります。



企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



ビーチクリーン

2024年11月、神戸市のNPO法人「神戸海さくら」様および取引先であるリコージャパン㈱様と合同で須磨海岸でビーチクリーン活動を実施しました。社員や家族、一般参加者ら約130名が参加し、環境セミナーやプラスチック判別センサーの体験、稚魚放流、アマモの移植など多彩なプログラムを通じて、環境保全の重要性を学びました。



地引網体験会

四国工場では、工場に隣接する海岸での地引網体験会を毎年5月に開催しております。2023年には、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除により4年ぶりの開催となり、参加した子供たちからは、普段できない貴重な体験が喜ばれています。



由良川クリーン大作戦

2025年5月、京都府立綾部高校分析化学部主催の「第13回由良川クリーン大作戦」に、三ツ星ベルトグループの社員とその家族66名が参加。地域住民ら約400人と共に約100kgのごみを回収しました。この活動に当社は2023年から参加しています。当社は今後とも地域の環境保全に取り組んでいきます。



地域社会との共生に向けた取り組み（海外関係会社）

植林活動（シンガポール共和国）

MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITEDは、シンガポールグリーンプラン2030の「One Million Trees Movement」に参加し、植樹活動を行いました。この活動は、10年間で100万本の樹木を植えることを目指し、都市の緑化と生活の質向上を図るものです。参加者はQRコードで木の成長を追跡し、他の人々と共有できます。



植林活動（タイ王国）

STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITEDはWHA工業地帯周辺の学校の生徒たちに、PETボトルのゴミを再利用して製作されたバックパックをアップサイクル製品として提供しました。学校に通う子どもたちに、食料品、生活用品、学校備品などを提供しました。また、他の企業とプロジェクトに協力し、リサイクルペットボトルを使用したスクールバッグを寄贈しました。CO₂削減に貢献するため、植林プロジェクトに参加し、寄贈された828本の木を社員に配り、各自の家に植えてもらいました。



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品



植林活動（インドネシア共和国）

2022年11月、PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIAは「Go Green, One Tree Million Benefits」をテーマに企業のCSR活動を2カ所で行いました。1カ所目はアル・パロカという近隣の学校、2カ所目はバシル・ジャヤ区役所で行いました。それぞれ、学校に1,000本、区役所に1,200本の苗木を贈りました。

【アル・パロカ学校】

学校の生徒と教師に1,000本の苗木を寄贈し、生徒たちには、お菓子も提供しました。また、あわせて、椅子や建築資材も寄付し、学校が応急処置室を建設して施設を改善できるよう支援しました。

【バシル・ジャヤ区役所】

1,200本の苗木を区役所に贈りました。苗木は後日、バシル・ジャヤ地区の町内会や市民団体に配布されました。CO₂の削減、環境の質の向上、SDGsの目標達成に貢献できることを願って活動しています。活動の様子は、地元のYouTubeニュースチャンネルでご確認いただけます。



マングローブ植林プログラム（インドネシア共和国）

PT. SEIWA INDONESIAでは、環境に関する取り組みとして、MM2100工業団地を運営するPT. Megalopolis Manunggal Industrial Developmentを通じて、マングローブ植林プログラムへの寄付を行い、プカシ県のパハギアビーチに合計25,500本のマングローブの植林を行いました。このプログラムは、津波にも耐えられる強い根を持つマングローブの植林により、海岸線を侵食から守ることを目的としています。



教育に関する取り組み（インドネシア共和国）

PT. SEIWA INDONESIAでは、MM2100工業団地にある職業訓練学校から実地実習を行う数名の学生を受け入れています。この活動は即戦力となる有能な学生を育て企業へ紹介するプカシ県政府によるLINK & MATCHプログラムを支援しています。

社会に関する取り組み（インドネシア共和国）

PT. SEIWA INDONESIAでは、2022年11月西ジャワ州チアンジュール地区で発生した強い地震で被災した従業員の家族に対して、チアンジュール地震援助プログラムを通じて、労働組合、社員共同組合、社内モスク理事会を含む全従業員より集めた5,500万ルピアを寄付しました。

ドイツ自然保護連合への寄付（ドイツ連邦共和国）

ドイツのMitsuboshi Belting Europe GmbHでは、NABU（Nature and Biodiversity Conservation Union・ドイツ自然保護連合）が環境保護を目的として行う「携帯電話のリサイクルキャンペーン」に参加すべく、社員やその家族が使用しなくなった携帯電話を集めて寄付しました。回収された携帯電話はリサイクル、電子基盤の適切処理により環境保護に貢献し、リサイクルで得た収益はNABU昆虫保護基金に活用されます。



未来を創る人材の成長をサポート（タイ王国/インドネシア共和国）

当社が生産工場を構えるタイやインドネシアでは、学校に通う子供たちに学校の備品や食料品などを提供する活動を行っています。また職業訓練学校より実地実習を行う学生の受け入れを行い、優秀な人材育成の支援を行っています。



寄付を通じた社会貢献活動

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

子どもたちの未来を応援する活動（日本ユニセフ協会への寄付）

阪神・淡路大震災により当社の本社所在地である神戸市長田区は壊滅的な被害に見舞われました。天災によるものに限らず、世界では依然として貧困などによって、年間500万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。三ツ星ベルトグループは基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、こうした子どもたちの役に立ちたいと、震災10年目の節目にあたる2005年度から「世界の子どもたちに愛の手を」と題して、グループ従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付金贈呈を毎年継続して実施しています。2024年度も1,000万円の寄付を行いました。



防災に係る取り組み

総合防災訓練（全事業所）

三ツ星ベルトグループでは、事業所ごとに防災・避難訓練を実施し、従業員の災害に対する意識向上を図っています。また、阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「三ツ星ベルト防災の日」とし、毎年総合防災訓練を行っています。この訓練は、強い地震が発生したことを想定し、いつ発生するかわからない自然災害や火災に対する減災や未然防止の活動を行うだけでなく、一人ひとりが災害発生時の適切な対応を考えて訓練に取り組んでいます。



三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

ミツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — コーポレートガバナンスに関する取り組み

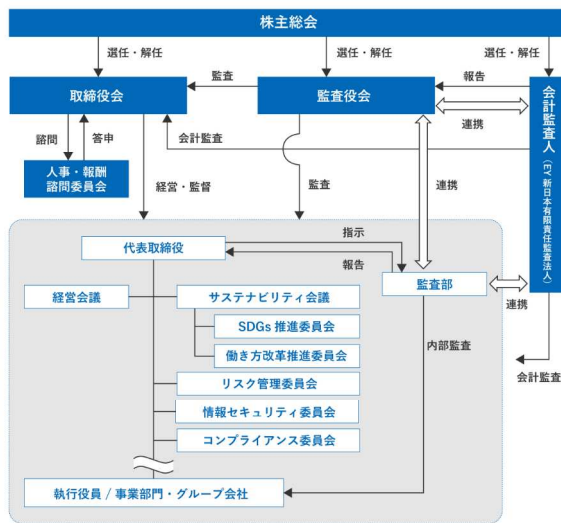
コーポレートガバナンスに関する取り組み

当社のコーポレートガバナンスに関する取り組みについて紹介します。

当社は透明性の高い経営を実現し、ステークホルダーの信頼に応えるため、健全なガバナンス体制の構築に努めています。

※ 2024年7月1日時点での情報を掲載しています。

体制図



コーポレートガバナンス強化に係るこれまでの主な取り組み

年月	主な取り組み
2003年 10月	執行役員制度 導入
2015年 5月	リスク管理委員会、コンプライアンス委員会 設置
	コーポレートガバナンス基本方針 制定
2015年 6月	社外取締役2名 選任
2016年 4月	取締役の実効性評価アンケート開始
2018年 10月	CSR推進委員会 設置※1
2021年 3月	人事・報酬諮問委員会 設置（5名中3名が独立社外取締役）
2021年 6月	譲渡制限付株式報酬制度 導入
2022年 4月	サステナビリティ推進委員会 設置
2022年 6月	社外取締役1名 選任（女性取締役） （社外取締役 3名体制に）
2022年 6月	社外取締役比率3分の1以上の取締役会構成に
2022年 6月	取締役の任期を2年から1年に短縮
2024年 7月	サステナビリティ会議 設置
2024年 7月	業績連動型報酬制度※2 導入（2024年7月支給分より）

※1 2021年3月にSDGs推進委員会に改称

※2「取締役の報酬等」については、基本報酬（金銭報酬）としての基本給・職位給・業績連動部分*および基本報酬（株式報酬）としての譲渡制限付株式により構成するものとし、「社外取締役の報酬等」については、その職責・職務等に鑑み、基本報酬（金銭報酬）としての基本給のみで構成しております。「業績連動部分」については、2024年7月度支給分より、「売上高」・「営業利益」・「自己資本利益率」を指標とする報酬制度に変更しております。変更後の報酬の種類ごとの比率は、業績指標を100%達成した場合、概ね基本報酬（金銭報酬）固定部分：基本報酬（金銭報酬）業績連動部分：基本報酬（株式報酬）＝60：20：20となるようにしております。ただし、実際に支給する業績連動部分は、当社の業績により変動するため、支給割合は変動します。

コーポレートガバナンスの強化

当社は、社外取締役3名を含む取締役8名から構成される取締役会、社外監査役2名を含む監査役3名から構成される監査役会を置く監査役会設置会社です。取締役会において、重要事項に関する意思決定等を行い、取締役の業務執行に対する監督を行っており、重要事項に関しては、取締役会の開催前に十分な事前協議を行うために、経営会議を開催しています。

また、経営陣の選任・解任・報酬等に関する取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化することを目的とした人事・報酬諮問委員会（委員3名以上で構成し、その過半数を独立社外取締役とする任意の諮問委員会）を設置し、さらには、株主の皆様と利益を共有し、長期的な企業価値向上を目指すことを目的として「譲渡制限付株式報酬制度」を導入するなど、コーポレート・ガバナンスの強

社外役員比率（👤：社外役員）



女性役員比率（👩：女性役員）



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

化、充実に努めています。なお、取締役および監査役における社外役員比率、女性比率は図の通りです。

取締役の指名に関する考え方

経営陣幹部の選任、取締役候補の指名につきましては、三ツ星ベルトグループにおける企業価値の更なる向上を推進するに相応しい多様な経験・知見・能力等を備え、広範囲な視点と行動力およびリーダーシップ力などの資質を総合的に検討しております。

各取締役のスキルマトリックス表（知識・経験・能力等の一覧化）									
地位	氏名	経営・事業・管理		財務・人事・総務・法務		技術・開発・生産・調達		営業・マーケティング	
		企業経営	人事・総務	財務	技術・開発	生産・調達	営業・マーケティング	海外経験	その他
代表取締役 取締役社長	池田 浩	○	○			○		○	○
取締役	熊崎 敏美	○			○		○	○	○
取締役	又場 敬司	○	○					○	○
取締役	倉本 信二		○	○		○	○	○	
取締役	竹田 和浩			○		○			○
取締役 (独立社外取締役)	奥田 真弥	○				○		○	○
取締役 (独立社外取締役)	三宅 由佳				○	○			
取締役 (独立社外取締役)	辻 泰弘		○			○			

※ これまでのキャリアに基づく経験、現在の役職・資格等を基準とし、特に貢献を期待するスキルに対して○を付しています。

取締役会全体で備えるべき主なスキル（知識・経験・能力等）、及び選定理由

経営・事業企画	事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献する企業づくりを推進し、将来のビジョンを見据え、中長期的な視点から持続可能な価値創造に資する成長戦略の策定と監督が必要であるため。
人事・総務・法務	‘24中期経営計画の最重点課題である「人財戦略強化」に取り組み、変革を推進する人材の育成や、コンプライアンス、リスク管理を含む強固なコーポレート・ガバナンス体制の構築が必要であるため。
デジタル（DX推進）	AI導入による生産性の向上、デジタル技術を活用した間接部門業務の効率化や新製品開発のスピードアップおよび工数削減が、競争力の維持・強化のために必要であるため。
経営・事業企画	事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献する企業づくりを推進し、将来のビジョンを見据え、中長期的な視点から持続可能な価値創造に資する成長戦略の策定と監督が必要であるため。
財務・会計	資本コストを意識した財務・資本戦略を策定し、株主価値を高めるための成長投資や株主還元を適切に実行することで、中長期的な企業価値の向上を図る資本政策を推進する必要があるため。
ESG・サステナビリティ	基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、持続可能な社会の実現に貢献するために、気候変動をはじめとする環境および社会の変化が事業に与える将来影響について、リスクと機会の両面から戦略を策定・遂行する必要があるため。
技術・イノベーション・調達・生産	経営基本方針「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」を具現化し、中長期にわたって競争優位性を維持・強化し続けるためには、知的・技術資本、製造資本の向上・発展が必要であるため。
営業・マーケティング	顧客価値に着目した共創型ビジネスモデルの実現には、各業界の特性を理解し、顧客ニーズを的確に捉え、ブランド価値を最大化するための効果的な営業・マーケティング活動が必要であるため。
グローバル経験	海外売上高比率が50%を超える当社において、異なる市場の事業環境およびニーズに精通し、地政学的リスク等も考慮したグローバル視点の事業戦略の策定・遂行が必要であるため。

独立社外取締役に期待する役割

- 企業経営、国際ビジネス、財務・会計、金融、法令遵守、法曹、行政、学術・研究、リスク管理、人材育成・教育、IT・デジタル等の分野における高い見識や豊富な実務経験、指導的な役割を務めた経験を有していること。
- 当社グループ全体を俯瞰・理解する能力、本質的な課題やリスクを把握する能力等を有し、取締役会等における率直・活発で建設的な審議への貢献が期待できること。
- 企業経営や専門分野における豊富な経験に基づく実践的な視点から、客観的な経営の監督や判断、会社の持続的な成長に対する助言・支援等ができること。
- 会社法上の社外取締役要件および東京証券取引所が定める独立性基準を満たしている地域社会とのパートナーシップを大切にしま

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

す。

5. 地域社会の課題解決につながる社会貢献活動を行います。

取締役会の運営状況

当社の取締役会においては、法令・定款・取締役会規定の定めに基づき、経営の基本方針・投資に関する事項や重要な業務執行に関する事項（重要な財産の処分・譲受け、多額の借財、重要な組織の設置・変更等、重要な使用人の選任・解任、その他）等の審議・決議ならびに、取締役の職務執行状況その他重要な業務遂行状況の報告をそれぞれ取り扱っております。

開催回数	15回
平均開催時間	91.0分
平均議案数	5.9件

2024年度においては、定例的な決議事項および報告事項に加え、'24中期経営計画に関する事項や、コーポレート・ガバナンスに関する重要課題（取締役の指名・報酬、代表取締役および取締役の後継者育成計画等）、主要な投資案件（生産・物流関係、事業関連投資）について審議を行いました。また、持続的な企業価値向上の観点から、気候変動や人的資本をはじめとする非財務分野における重点課題についても、報告・議論を行いました。

また、取締役会の運営においては、取締役会の実効性を確実なものとし、限られた時間において十分な審議・議論を行えるよう、取締役会の開催前に社外取締役への事前説明会も実施しております。（2024年度における事前説明会の開催実績：14回）

取締役会での主要議題一覧（抜粋）：

カテゴリ	主要議題（抜粋）
経営方針 成長戦略	決算報告・業績について 次期中期経営計画について 主要設備投資について 政策保有株式の対応方針および売却判断について 人材マネジメントについて
その他	取締役会実効性分析および評価について 代表取締役・取締役の後継者育成計画について 取締役の報酬基準内規の見直しについて 重大リスクの対応方針と対策について 気候変動・人的資本等、非財務分野の重点課題に関する報告（サステナビリティ会議からの報告）

人事・報酬諮問委員会の運営状況

開催回数	8回
平均開催時間	26.9分

当社は、任意の仕組みとして、経営陣の選任・解任・報酬等に関する取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化することを目的とした人事・報酬諮問委員会（委員3名以上で構成し、その過半数を独立社外取締役とする）を設置しています。

この人事・報酬諮問委員会においては、人事・報酬諮問委員会規定の定めに基づき（取締役会からの諮問に応じて）、取締役候補者の指名および経営陣幹部の選任・解任を行うにあたっての方針・手続、代表取締役・取締役の後継者育成計画（平時・有事）、取締役の報酬等を決定するにあたっての方針・手続等について審議・決定することとしております。

2024年度においては、当社の今後の持続可能な成長を支える体制構築を目的とし、次世代のリーダー候補である13名の執行役員および部長職との面談を行い（各人およそ30分）、それぞれの能力開発およびキャリアプランの確認を行いました。こうした面談の結果を通じて、次世代のリーダーの適性評価、または育成方針などを審議しています。

取締役会の実効性評価について

当社は、取締役会の機能の維持・向上に継続的に取り組むために、毎年、取締役会全体の実効性を評価することとしています。

当社では、取締役会の更なる実効性の確保・機能向上に向けて、取締役会の課題や改善点等を抽出してその実効性を高めていくために、取締役会に関する事項(情報提供、上程事項、審議・監督、構成員各人・全体としての取締役会の実効性、コーポレート・ガバナンスに関する報告書による開示内容、取締役・監査役からの意見・提案・改善要望等)について、毎年、取締役会への出席者（取締役・



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

監査役)による自己評価アンケート(書面調査)を実施することとしています。

2024年度における評価としては、2025年3月～4月にかけて上述のアンケートを実施し、その後の取締役会においてその実施結果を確認・分析するとともに、意見交換・協議を行い、これらの結果を踏まえて、同年6月開催の取締役会において、実効性の判断を行う計画です。

株主・投資家との対話の状況

当社は、「株主との建設的な対話に関する方針」を定め、建設的な対話が実現するよう積極的な対応を行っております。対話により把握した株主の意見等については、必要に応じて取締役・経営陣・社内関係部門へ報告され、情報の共有・活用が図られています。

2024年度は、機関投資家・アナリスト向け決算説明会および個別対話を合計で55回開催し、多くの有益なフィードバックを得ることができました。引き続き、透明性のある情報開示と誠実な対話を通じて、株主との信頼関係を深めてまいります。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — コンプライアンス

コンプライアンス

コンプライアンスに対する考え方

三ツ星ベルトグループは、持続可能な成長を目指しESG経営の深化に取り組むに際し、“コンプライアンス”を重要な要素の一つとして捉えています。事業活動においてコンプライアンスを良好な状態に保つことは、全てのステークホルダーからの信頼の獲得、またそれによる企業価値の向上に直結し、ものづくりの会社を標榜する当社グループにとっての重点実施事項と認識し活動に取り組んでいます。

2022年に当社は、従来の行動基準を、企業が果たすべき役割が大きくなった現在においても齟齬がないものとするべく、国連グローバルコンパクトが掲げる10原則などを鑑みながら大幅な改定を行いました。この行動基準は、英語、中国語のほか合計5か国の言語に翻訳され、三ツ星ベルトグループの全ての従業員に周知されるとともに、社員一人ひとりが正しくこの行動基準を理解することを目的に、各部課単位での読み合わせ会なども実施しております。

管理体制

三ツ星ベルトグループでは、事業活動におけるコンプライアンス管理活動を統括管理する目的において、社長が指名する役員が委員長を務め、三ツ星ベルトの全部門の責任者が委員を務めるコンプライアンス委員会が設置されています。

コンプライアンス委員会は、原則年3回開催され、年度ごとに三ツ星ベルトグループが取り組むべき重大なコンプライアンスリスクを特定し、対応方針、対応組織、目標を定め、対応組織の実施状況を監視・評価、必要に応じて指示を行います。委員会活動の内容は、社長、取締役会に報告されます。

内部通報制度

当社または当社国内グループ会社の役員・従業員からの、当社グループにおける①法令違反行為、②定款違反行為、③社内規程違反行為、④契約違反行為、⑤社会規範違反行為またはそのおそれがある行為に関する相談または情報の提供の適正な処理の仕組みとして、“三ツ星ヘルプライン”を定めています。その受付窓口を社外の法律事務所とし、「ヘルプライン対応責任者」および指定された「公益通報対応業務従事者」等がその対応にあたります。また、情報提供者への不利益な取扱いや情報提供者の探索を禁止し、その保護を図っております。今後も不正行為の早期発見と是正を図り、コンプライアンス経営の強化に努めてまいります。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

▲ 企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

▲ IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

▲ 製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

▲ テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
フリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

▲ お知らせ一覧

▲ サステナビリティ

▲ ライブラリ

▲ 動画ギャラリー

▲ 採用情報

▲ ブログ



企業情報

[企業情報トップ](#)[トップメッセージ](#)[理念体系](#)[中期経営計画](#)[会社概要](#)[コーポレート・ガバナンス](#)[内部統制体制](#)[三ツ星ベルトの沿革](#)[価値創造ストーリー](#)[国内ネットワーク](#)[海外ネットワーク](#)

IR情報

[IR情報トップ](#)[トップメッセージ](#)[IRニュース](#)[財務ハイライト](#)[IRライブラリ](#)[株主のみなさまへ](#)[経営情報](#)[IRカレンダー](#)[ディスクロージャーポリシー](#)[電子公告](#)

サステナビリティ



製品情報

[製品情報トップ](#)[事業分野から製品を探す](#)[カタログ](#)[自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト](#)[一般産業用ベルト](#)[搬送ベルト](#)[エンジニアリングプラスチック素材・加工](#)[SF\(発泡射出\)成形](#)[建築用防水材](#)[土木用遮水材](#)[電子材料・塗料](#)[その他製品](#)

Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

TOP — サステナビリティ — リスクマネジメント

リスクマネジメント

三ツ星ベルトグループは、「持続可能な企業」を目指すに際し、リスク管理の重要性を認識し、継続的に管理システムの改善に取り組んでいます。リスク管理の手法として、ISOの要求事項である「リスクと機会」の考え方を採用し、それをベースにし、戦略、方針、計画、目標を設定し、リスク管理を効果的に展開して事業活動を行っています。

リスク管理の考え方

リスク管理と事業活動の統合

三ツ星ベルトグループは、リスク管理活動のアウトプットを、あらゆる事業環境の変化に対して安定して持続することのできるESG経営の実践に効果的に展開し、持続可能な社会の実現に貢献する。

リスクの範囲

三ツ星ベルトグループのリスク管理活動において、財務的な悪影響と同等に、人権、コンプライアンス、安全衛生、環境、品質等に関する非財務的な悪影響も取り扱う。

実施責任者

三ツ星ベルトグループのリスク管理活動は、実施責任者を明確にして実行する。

リスク管理の実行者

三ツ星ベルトグループのリスク管理活動は、全ての役員、従業員により実施され、あらゆる事業活動が対象となる。また、リスク管理の有効性を確保するため、事業環境に係る情報は常に最新とし、特にステークホルダーからの情報入手に留意する。

リスク管理システムの維持・改善

有効に機能するリスク管理システムを構築・維持・改善しリスク管理を実行する。

情報開示

リスク管理に関する情報は全てのステークホルダーに対して適時適切に開示する。

管理体制

三ツ星ベルトグループでは、当社の事業活動において、事業に対するインパクトが大きく、グループ全体で取り組むべき課題（重大リスク）に対するリスク管理活動の監視・評価を目的として、また、グループ全体のリスク管理体制の維持・発展を目的として、リスク管理委員会*が設置されています。

※委員長：社長が指名する役員 / 委員：全事業部門・関係会社の責任者

リスク管理委員会は、毎年度、重大リスクおよびその対応組織、責任者、目標、計画を決定し、原則年2回、対応組織の責任者から対応状況の報告を受け、その内容を審議します。重大リスク選定における決定内容、対応状況に対する審議内容は、都度、社長および取締役会に報告されます。また、リスク管理委員会は、三ツ星ベルトグループのリスク管理活動を、制度面（方針、規程・要領等）から牽引する役割も担っています。

各事業部門・関係会社が取り組むべきと判断した課題（重大リスクを含むそれぞれの経営環境で発生する様々なリスク）に対するリスク管理活動は、各事業部門・関係会社の責任者が、年度方針書に対処部門、責任者、目標、計画を明確にし、社長の承認を得たうえ

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ

製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

で実施され、当該責任者が実施状況の日常的な監視・評価を行います。原則年1回、リスク管理活動の実施状況は、事業部門・関係会社の責任者から社長および取締役会に報告され、審議のうえ、必要に応じて指示がなされます。

リスクの評価

三ツ星ベルトグループでは、取り組むべき課題（リスク）を選定する過程において、事業活動に対する影響度と発生可能性の2軸を使って、リスクの評価を行っています。リスク管理委員会で重大リスクを選定する場合の評価尺度は、影響度（大：10億円以上、中：1～10億円、小：1億円未満）、発生可能性（高：1回以上/年、中：1回/2年、低：1回未満/10年）となっています。各事業部門・関係会社では、その経営規模に対応させ、評価尺度を取り決め、リスクの評価に活用しています。

2024年度の活動では、前年度に引き続き、リスク管理委員会において事業部門・関係会社の全責任者が参加するリスクアセスメントを実施し、その結果をもとに、三ツ星ベルトグループが取り組むべき重大リスクを特定しております。

リスクの把握

2024年度のリスクアセスメントの結果、リスク管理委員会において以下の2点を重大リスクとして選定しました。① 自然災害・大規模事故による自社の事業活動の停止、② 同様の要因によるサプライヤの事業活動の停止。これらに対しては、対応施策、実行組織、責任者、目標、計画を定め、実施状況を継続的に監視・評価してまいりました。

また、アセスメントの過程で重大リスクの候補として挙げたEV化、景気変動、情報セキュリティ、経済安全保障等については、他の会議体や委員会において対応状況の監視・評価を行っております。

特定された重大リスク	実績
①自然災害・大規模事故による自社の事業活動停止	グローバルな生産体制の再編によるリスク分散に加え、国内では倉庫（ロケーションと在庫量）および運送方法（ルートと運送業者）の両面から物流体制を見直しました。 また、事業継続計画（BCP）は国内外の生産拠点にとどまらず、営業拠点にも活動を拡大しています。
②自然災害・大規模事故によるサプライヤの事業活動停止	主要原材料に加え、副資材や外注加工先についても、複数社からの購買を進めています。また、主要取引先には事業継続計画（BCP）の策定・運用を要請し、その実施状況については年1回の頻度で調査を実施しています。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

製品情報

- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト
- 樹脂製品
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

テクニカルサポート

- ベルト設計支援ソフト
- 適正張力計算コーナー
- フリーCADデータ
- テクニカルライブラリ
- 用途別設計検討事例集
- よくあるご質問
- 製品の該非判定について
- 改正食品衛生法適合製品
- 環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — BCP（事業継続計画）

BCP（事業継続計画）

当社リスク管理委員会の活動では、2015年度に「自然災害、倒産、大規模事故などによる事業活動の中断、原材料供給の中断」などを重大リスクとして位置づけ、対応を開始し、その翌年の2016年には「事業継続計画（BCP）」を導入しました。事業活動の停止は、三ツ星ベルトグループだけでなく、バリューチェーンで連携する社会全体に損害をもたらす可能性があるため、BCPを活用して迅速な復旧を図ることは、企業の責務であると認識しています。

これまでの三ツ星ベルトグループでは、品質マネジメントシステムや環境マネジメントシステムの下で、サイトごとに緊急事態への対応計画としてContingency Planが策定・実施されてきました。しかし、事業の重要性を明確にし、緊急事態発生後の事業継続や早期復旧に重点を置くため、より広範な視点から事業の継続性を確保し、企業の競争優位性を維持することを目的としてBCPへの移行に取り組んでいます。

グループ全体で統一的なアプローチを明確にするため、「BCP策定実施要領」を策定・運用し、BCPの方針、目的、策定・運用プロセスを統一しました。これにより、BCPをこの基準に従って体系的に管理する体制が整備されています。さらに、BCP管理体制を継続的に改善し、PDCAサイクルを回していくことで、想定外の事態にも柔軟に対応できる「オールハザード」型の持続可能な企業活動を目指しています。

管理体制

三ツ星ベルトグループのBCP活動は、前述の通り、リスク管理委員会が取り上げる重大リスクへの対応施策として実施されています。対応組織には安全環境管理部が指名され、「BCP策定実施要領」のメンテナンスを行うとともに、三ツ星ベルトグループの事業拠点ごとに展開されるBCPの運用状況をイベントごとに共有し、必要に応じて情報展開などの支援を行っています。BCPは事業拠点ごとに策定されていますが、内容の充実や活動レベルの向上を図るため、主要なイベントごとに経営層を中心とした審査メンバーによる承認を受けるほか、年2回の活動内容に関するレビューをリスク管理委員会で報告・審議し、その結果を取締役会へ報告する体制が整えられています。

実施状況

2021年に「BCP策定実施要領」を新たに制定し、ビジネス影響分析（BIA）のプロセスを明確化するとともに、従来の要因事象型BCPから、オールハザード（結果事象）型BCPへの切り替えをグループ全体に展開しました。BIAは、すべての業務を洗い出し、事業継続にとって最も重要な業務を特定する手法であり、BCPの有効性を大きく左右する重要なプロセスです。オールハザード型BCPは、特定の事故や災害の種類に限定せず、事業継続に必要な資源が喪失した状態からの復旧を目的とした計画です。

国内外20拠点を対象に、2024年度末までにオールハザード型BCPの策定を完了しており、2025年度にはその有効性を評価するための教育・訓練を実施し、BCPの見直しを行っています。また、新たに4拠点を追加し、BCPの策定・運用を開始しています。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
フリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品



ENGLISH | 中文

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

TOP — サステナビリティ — 情報セキュリティ

情報セキュリティ

現在の情報ネットワークは、自社内に留まらず、社外のシステムとリンクしており、自社で発生した情報セキュリティインシデントの社会への影響は避け難い状況であり、また、この逆も然りです。情報ネットワークにつながった一つ一つの企業が責任を持って自社の情報セキュリティを管理し、インシデントの発生を未然に防がなければなりません。三ツ星ベルトグループでは、情報セキュリティ管理の重要性を認識し、2021年、情報セキュリティ委員会を設置、情報セキュリティ方針のもと三ツ星ベルトグループ全体の情報セキュリティ管理に取り組んでいます。2025年度も引き続き継続的改善を実施いたします。

管理体制

三ツ星ベルトグループは、重要な顧客であるカーメーカーの要求に応えるべく、情報セキュリティ委員会が中心となって全拠点で情報セキュリティ管理システム（ISMS）の構築を目指しています。

情報セキュリティ委員会は、社長が指名した委員長、委員長が指名した事業部門・管理部門の責任者が務める委員で構成されており、グループとして取り組むべき情報セキュリティ課題の特定、対応責任部門の決定、実施状況の監視・評価・指示がされ、これら内容は、年2回、社長および取締役へ報告されます。また、情報セキュリティ委員会は、三ツ星ベルトグループ全拠点の情報セキュリティ管理体制の構築・推進・改善を行う役割も担っています。

実施状況

情報セキュリティ委員会では、2021年度、ISO / IEC 27001（情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格）に準拠したISMSを、神戸本社、ドイツ拠点を対象として立ち上げました。方針および規程・要領類を整備した上で、全部門に管理責任者を設置し、教育を行い、部門ごとに、情報資産の洗い出し、リスクアセスメント、教育等を実施してきました。実施状況およびその有効性は内部監査により確認し、必要に応じて是正処置を指示し、その完了、有効性を確認しております。2023年度、ドイツ拠点において、TISAX（ドイツ自動車工業会の情報セキュリティに関する規格）の認証を取得しました。また、2024年度は、国内の三ツ星ベルトグループ全拠点にISMSを展開いたしました。2025年度は、中国の上海拠点、2026年度は、神戸本社およびアメリカ拠点でのTISAX認証取得を計画しております。

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

企業情報

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

樹脂製品

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト

適正張力計算コーナー

フリーCADデータ

テクニカルライブラリ

用途別設計検討事例集

よくあるご質問

製品の該非判定について

改正食品衛生法適合製品

環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

ブログ

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報



ENGLISH | 中文

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



環境データ

項目	範囲	内容	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	GRI 該当項目
原材料使用量	国内8拠点 ^{※1} グループ		ton	15,399	14,345	12,974	15,564	301-1
エネルギー消費量 ^{※2}				35,915	34,961	29,970	35,501	
		再生可能でない燃料消費量		215,134	207,501	187,048	192,832	
		重油		70,518	67,136	62,144	38,027	
		軽油		297	170	244	183	
		ガソリン	MWh	319	331	210	225	
		天然ガス		129,415	125,735	112,417	142,040	
		都市ガス		14,440	13,959	11,805	12,097	
		LPG		144	171	229	259	
		再生可能な燃料消費量	MWh	0	0	0	0	
		その他エネルギー消費量		87,146	86,755	80,308	82,515	
	グループ	電力	MWh	87,018	86,607	80,088	82,343	302-1
		暖房		128	148	197	149	
		冷房		0	0	23	22	
		蒸気		0	0	0	0	
		販売したエネルギー量		0	142	405	315	
		電力	MWh	0	142	405	315	
		暖房		0	0	0	0	
		冷房		0	0	0	0	
		蒸気		0	0	0	0	
		エネルギー総消費量	MWh	302,280	294,256	267,356	275,346	
		エネルギー消費原単位 ^{※3}	MWh/ton	8.42	8.42	8.92	7.76	302-3
		エネルギー消費量の削減率 ^{※4}	%	16.1	-2.7	-9.1	3.0	302-4
GHG排出量		CO ₂ 総排出量 ^{※5}		34,979	28,927	26,132	27,108	—
		Scope1	t-CO ₂	18,995	17,759	16,088	16,112	305-1
		Scope2 マーケット基準		15,983	11,168	10,044	10,996	305-2
		Scope2 ロケーション基準		16,955	17,244	16,988	16,001	
		CO ₂ 排出原単位 ^{※6}		2.3	2.0	2.0	1.7	
		Scope1	t-CO ₂ /ton	1.2	1.2	1.2	1.0	305-4
		Scope2 マーケット基準		1.0	0.8	0.8	0.7	
		Scope2 ロケーション基準		1.1	1.2	1.3	1.0	
	国内8拠点	基準年		2013年				305-1,2
		CO ₂ 総排出量		40,915				—
		Scope1	t-CO ₂	18,875				305-1
		Scope2 マーケット基準		22,040				305-2
		Scope2 ロケーション基準		21,858				
		GHG排出量の削減率 ^{※7}		-14.5	-29.3	-36.1	-33.7	
		Scope1	%	0.6	-5.9	-14.8	-14.6	305-5
		Scope2 マーケット基準		-26.9	-48.9	-54.0	-49.7	
		Scope2 ロケーション基準		-22.4	-21.1	-22.3	-26.8	
		CO ₂ 総排出量		51,208	49,681	44,273	44,878	—
		Scope1	t-CO ₂	24,926	24,535	22,711	22,026	305-1
		Scope2 マーケット基準		26,283	25,146	21,562	22,852	305-2
		Scope2 ロケーション基準		26,746	25,694	25,884	27,054	
		CO ₂ 排出原単位		2.5	2.4	2.6	2.3	
		Scope1	t-CO ₂ /ton	1.2	1.2	1.3	1.1	305-4
		Scope2 マーケット基準		1.3	1.2	1.3	1.1	
		Scope2 ロケーション基準		1.3	1.2	1.5	1.4	
	海外生産拠点 ^{※8}	基準年		2013年				305-1,2
		CO ₂ 総排出量		56,618				—
		Scope1	t-CO ₂	25,146				305-1
		Scope2 マーケット基準		31,473				305-2
		Scope2 ロケーション基準		30,829				
		GHG排出量の削減率		-9.6	-12.3	-21.8	-20.7	
		Scope1	%	-1.2	-3.2	-12.9	-16.5	305-5
		Scope2 マーケット基準		-19.2	-20.4	-26.3	-28.6	
		Scope2 ロケーション基準		-13.2	-16.7	-16.0	-12.2	
		Scope3		n.d.	243,841	208,187	278,516	
		カテゴリ1 購入した製品・サービス		n.d.	38,008	35,188	80,625	
		カテゴリ2 資本財		n.d.	11,608	24,899	20,000	
		カテゴリ3 エネルギー関連活動		n.d.	5,737	5,308	10,750	
		カテゴリ4 輸送（上流）		n.d.	4,140	3,341	3,741	
		カテゴリ5 廃棄物		n.d.	5,074	4,833	5,773	
		カテゴリ6 出張		n.d.	546	581	584	
		カテゴリ7 通勤		n.d.	282	221	1,539	
	グループ ^{※9}	カテゴリ8 リース資産（上流）	t-CO ₂	n.d.	対象外	対象外	対象外	305-3
		カテゴリ9 輸送（下流）		n.d.	248	224	249	
		カテゴリ10 販売した製品の加工		n.d.	8,502	4,595	4,834	
		カテゴリ11 販売した製品の使用		n.d.	169,443	128,800	150,198	
		カテゴリ12 販売した製品の廃棄		n.d.	253	197	223	
		カテゴリ13 リース資産（下流）		n.d.	対象外	対象外	対象外	
		カテゴリ14 フランチャイズ		n.d.	対象外	対象外	対象外	
		カテゴリ15 投資		n.d.	対象外	対象外	対象外	
大気排出量	国内5拠点 ^{※10}	VOC排出量	ton	40	36	40	42	305-7
PRTR	国内5拠点	化学物質排出・移動量	ton	139	132	143	128	306-4
		化学物質排出・移動原単位	ton/ton	0.0090	0.0092	0.0110	0.0082	
廃棄物量		廃棄物総量	ton	7,209	7,384	7,094	7,328	306-3
		処分されなかった廃棄物量		1,392	1,989	2,401	2,943	
		有害廃棄物総量		0	0	0	0	
		再利用のための準備		0	0	0	0	
		リサイクル		0	0	0	0	
		その他回収		0	0	0	0	
		回収の内訳		0	0	0	0	
		オンサイト		0	0	0	0	
		オフサイト	ton	0	0	0	0	306-4
		非有害廃棄物総量		1,392	1,989	2,401	2,943	
		再利用のための準備		0	0	0	0	
		リサイクル		1,392	1,989	2,401	2,943	
		その他回収		0	0	0	0	
		回収の内訳		0	0	0	0	
		オンサイト		29	29	39	368	
		オフサイト		1,364	1,959	2,362	2,575	
	グループ	処分された廃棄物量		5,817	5,395	4,693	4,384	
		有害廃棄物総量		139	147	143	128	
		焼却		0	0	0	0	
		埋立		0	0	0	0	
		その他		139	147	143	128	
		処分の内訳		0	0	0	0	
		オンサイト		0	0	0	0	
		オフサイト	ton	139	147	143	128	306-5
		非有害廃棄物総量		5,678	5,249	4,550	4,257	
		焼却		4,091	4,140	3,737	3,705	
		埋立		1,586	1,108	813	551	
		その他		0	0	0	0	
		処分の内訳		0	0	0	0	
		オンサイト		0	0	0	0	
		オフサイト		5,678	5,249	4,550	4,257	

環境データ（つづき）

項目	範囲	内容	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	GRI 該当項目
水資源保全	国内8拠点	総取水量		877	814	695	745	303-3
		地表水		0	0	0	0	
		地下水		639	612	485	558	
		海水		0	0	0	0	
		第三者の水 水道水	kℓ	58	52	60	55	
		第三者の水 工業用水		179	151	150	132	
		生産随伴水		0	0	0	0	
		取水の内訳		877	814	695	745	
		淡水		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		水ストレス地域※11での取水量		非該当	非該当	非該当	非該当	
		地表水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		地下水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		海水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		第三者の水 水道水	kℓ	非該当	非該当	非該当	非該当	
		第三者の水 工業用水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		生産随伴水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		取水の内訳		非該当	非該当	非該当	非該当	
		淡水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		その他		非該当	非該当	非該当	非該当	
		総排水量		789	743	581	745	303-4
		地表水		735	695	521	687	
		地下水		0	0	0	0	
		海水		0	0	0	0	
		第三者の水 下水道	kℓ	54	48	61	57	
		淡水		789	743	581	745	
		水ストレス地域での排水量とその内訳		0	0	0	0	
		淡水		非該当	非該当	非該当	非該当	
		その他		非該当	非該当	非該当	非該当	
		排水に関する法令違反	件	0	0	0	0	
		総水消費量		88	70	113	0	303-5
		水ストレス地域	kℓ	非該当	非該当	非該当	非該当	
		非水ストレス地域		88	70	113	0	
環境管理システム	グループ	総取水量		1,221	1,177	995	1,047	303-3
		地表水		0	0	0	0	
		地下水		692	665	520	597	
		海水		0	0	0	0	
		第三者の水 水道水	kℓ	116	108	104	79	
		第三者の水 工業用水		413	405	371	371	
		生産随伴水		0	0	0	0	
		取水の内訳		1,221	1,177	995	1,047	
		淡水		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		水ストレス地域での取水量		62	66	86	110	
		地表水		0	0	0	0	
		地下水		0	0	0	0	
		海水		0	0	0	0	
		第三者の水 水道水	kℓ	30	34	29	21	
		第三者の水 工業用水		32	32	57	89	
		生産随伴水		0	0	0	0	
		取水の内訳		62	66	86	110	
		淡水		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		総排水量		1,133	1,107	843	1,025	303-4
		地表水		863	828	592	772	
		地下水		0	0	29	64	
		海水		0	0	0	0	
		第三者の水 下水道	kℓ	270	279	222	189	
		淡水		1,133	1,107	843	1,025	
		水ストレス地域での排水量とその内訳		0	0	0	0	
		淡水		62	66	86	110	
		その他		0	0	0	0	
		排水に関する法令違反	件	0	0	0	0	
		総水消費量		87	70	152	23	303-5
		水ストレス地域	kℓ	0	0	0	0	
		非水ストレス地域		87	70	152	23	
環境管理システム	グループ	ISO14001認証維持拠点数	拠点	12	12	11	11	-
		維持拠点数		80%	80%	73%	79%	
		カバース率※12	%	0	0	0	0	
		環境法令違反	件数	0	0	0	0	
		費用	円	0	0	0	0	

※1 神戸本社・事業所、東京本社、四国工場、名古屋工場、綾部事業所、西神事業所、滋賀事業所、新旭本社工場

※2 電力のエネルギーは一次エネルギー換算しておりません。また燃料の発熱量は環境省が開示する「算定方法及び排出係数一覧」から引用しました。

※3 エネルギー消費原単位＝エネルギー総消費量／原材料使用量

※4 エネルギー消費量の削減率＝（（前年度実績－今年度実績）／前年度実績）×100

※5 CO2総排出量＝（Scope1排出量）＋（Scope2マーケット基準排出量）

※6 CO2排出原単位＝CO2排出量／原材料使用量

※7 GHG排出量の削減率＝（（2013年度実績－今年度実績）／2013年度実績）×100

※8 MBL(USA)(米国)、MOH(シンガポール)、SEIWA(インドネシア)、MBI(インドネシア)、STI(タイ)、SMB(中国)、MB(IND)(インド)2拠点、MB(POL)(ポーランド)

※9 2022年、2023年は、カテゴリ1、カテゴリ3、カテゴリ5、カテゴリ7の算定範囲が「単体」

※10 神戸事業所、四国工場、名古屋工場、綾部事業所、滋賀事業所

※11 World Resources InstituteのAqeductにおいて水ストレスリスクが“Extremely High”とされている地域を水ストレス地域としています。

※12 カバース率＝（認証維持生産拠点数／生産拠点数）×100

社会データ

項目	範囲	内容	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	GR1 該当項目
従業員の総数	単体	従業員数（正社員）	男	613	620	618	627	102-8
			女	75	74	79	81	
			男	89.1	89.3	89.0	88.6	
			女	10.9	10.7	11.0	11.4	
		従業員数（嘱託・特契）	男	36	40	42	41	
			女	1	1	1	1	
			男	97.3	97.6	97.7	97.6	
			女	2.7	2.4	2.3	2.4	
		従業員数 （パート・アルバイト）	男	5	5	6	6	
			女	0	0	2	2	
			男	100.0	100.0	75.0	75.0	
			女	0.0	0.0	25.0	25.0	
新規雇用と離職	単体	新規雇用数	男	22	30	41	38	401-1
			女	6	4	10	10	
			男	78.6	88.2	80.4	79.2	
			女	21.4	11.8	19.6	20.8	
		離職数	男	27	34	34	25	
			女	4	7	4	6	
			男	87.1	82.9	89.5	80.6	
			女	12.9	17.1	10.5	19.4	
育児休業	単体	取得権利者数	男	30	34	27	18	401-3
			女	3	7	1	3	
		取得数	男	3	9	16	9	
			女	3	7	1	3	
		育児休業からの復職数	男	2	7	14	17	
			女	6	0	8	1	
		育児休業後の定着率 ^{※13}	男	100	100	100	89	
			女	100	100	100	100	
有給休暇	単体	有給休暇取得率 ^{※14}	%	48.6	53.1	68.3	67.1	—
障がい者雇用	単体	障がい者雇用率 ^{※15}	%	2.4	2.2	1.9	2.0	—
健康増進	単体	法定健診受診率 ^{※16}	%	100	100	100	100	—
		健診サービス利用率 ^{※17}	%	100	100	100	100	
労働災害	単体	ストレスチェック回答率 ^{※18}	%	100	100	100	100	403-9
		休業災害者数	人	2	1	0	0	
		休業災害度数率 ^{※19}	—	1.44	0.70	0	0	
		死亡災害者数	人	0	0	0	0	
		死亡災害度数率 ^{※19}	—	0	0	0	0	
労働関連の疾病	単体	業務上疾病者数	人	0	0	0	0	403-10
		業務上疾病死亡者数	人	0	0	0	0	
研修	人材開発室 実施研修	上級管理職研修受講者数	男	1	9	11	10	404-1
			女	0	0	0	0	
		上級管理職研修時間 ^{※20}	男	36	36	36	36	
			女	非該当	非該当	非該当	非該当	
		管理職研修受講者数	男	37	36	78	121	
			女	2	0	3	8	
		管理職研修時間 ^{※20}	男	39	43	107	100.5	
			女	39	非該当	61	57.5	
		一般職研修受講者数	男	170	149	159	184	
			女	30	24	57	60	
		一般職研修時間 ^{※20}	男	235.5	266.5	245.5	442.5	
			女	235.5	266.5	245.5	358.75	
ダイバーシティ	単体	専門研修 QMS研修受講者数	VDA6.3	n.d.	n.d.	4	1	405-1
			QMS：品質管理システム	n.d.	n.d.	19	16	
		女性取締役割合	課長	n.d.	n.d.	8	8	
			全管理職	0	11.1	12.5	18.1	
		女性管理職者割合	課長	1.6	2.4	3.1	3.4	
			全管理職	1.1	1.7	2.2	2.5	
		女性給与の 男性給与に対する比率	全労働者	n.d.	72.1	76.1	77.0	
			正規雇用労働者	n.d.	70.9	76.5	77.4	
		パート・有期労働者	パート・有期労働者	n.d.	37.0	24.9	30.1	
				n.d.	0	0	0	
人権	国内グループ	差別リスク件数	件	n.d.	0	0	0	—
		団体交渉権侵害リスク件数	件	n.d.	0	0	0	407-1
		児童労働リスク件数	件	n.d.	1	1	1	408-1
		強制労働リスク件数	件	n.d.	1	1	1	409-1
		先住民権利侵害リスク件数	件	n.d.	0	0	0	411-1
		人権DDの課題数	件	n.d.	2	2	2	412-1
		差別事例の発生件数	件	0	0	0	0	406-1
		団体交渉権侵害発生件数	件	0	0	0	0	—
		児童労働発生件数	件	0	0	0	0	—
		強制労働発生件数	件	0	0	0	0	—
		先住民権利侵害発生件数	件	0	0	0	0	—
サプライヤー エンゲージメント	購買部担当の 取引先	取引先EMS監査	実施件数	21	18	19	22	308-2
			不適合件数	0	0	0	0	
		取引先QMS監査	改善件数 ^{※21}	非該当	非該当	非該当	非該当	
			実施件数	21	18	20	26	
		取引先BCP調査	不適合件数	0	0	0	0	
			改善件数	非該当	非該当	非該当	非該当	
		品質管理システム	実施件数	54	75	79	79	
			未実施件数	18	14	7	0	
	グループ	IATF16949認証維持拠点数	維持拠点数	8	8	7	6	
			カバー率 ^{※22}	100%	100%	88%	86%	
		ISO9001認証維持拠点数 ^{※24}	維持拠点数	12	12	12	13	
			カバー率 ^{※12}	80%	80%	80%	93%	

※13 育児休業からの復職後、12か月経過した時点での在籍率

※14 有給休暇取得率＝（年次有給休暇取得分／規定の年次有給休暇）×100

※15 障がい者雇用率＝（雇用身障者数／常用雇用労働者数）×100

※16 法定健診受診率＝（受診者数／対象者数）×100

※17 健診サービス利用率＝（受診者数／希望者数）×100

※18 ストレスチェック回答率＝（回答者数／回答依頼者数）×100

※19 100万延実労働時間当たりの休業災害者数、あるいは死亡災害者数

※20 研修者一人当たりの研修時間

※21 取引先監査の不適合判定に対して、適切な是正処置を実施し適合判定となった件数

※22 カバー率＝（認証取得生産拠点数／IATF認証が要求される生産拠点数）×100

ガバナンスデータ

項目	範囲	内容	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	GR1 該当項目
リスクマネジメント	グループ	重大リスクの特定件数	件	6	6	5	2	102-34
コンプライアンス		重大コンプライアンスリスクの特定件数	件	0	0	1	0	205-1
		腐敗行為発生件数	件	0	0	0	0	205-3
		反競争行為発生件数	件	0	0	0	0	205-3
		労働基準違反件数	件	0	0	0	0	—

Reports Download

各種レポートダウンロード

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP - サステナビリティ - 各種レポートダウンロード

統合報告書2024

ダウンロード



INTEGRATED
REPORT
2024

MITSUBOSHI
三ツ星ベルト株式会社
統合報告書 2024

目次

- はじめに
- 三ツ星ベルトの価値創造ストーリー
- ビジョンと戦略
- 価値創造を支える経営基盤
- データセクション



アーカイブズ

2023年

サステナビリティレポート 2023

一括ダウンロード



MITSUBOSHI

MITSUBOSHI
SUSTAINABILITY
REPORT
2023

三ツ星ベルト株式会社 サステナビリティレポート 2023 (100ページ)

目次

- 三ツ星ベルト・ブランドストーリー
- ESG経営の深化
- 環境 (Environment)
- 社会 (Social)
- ガバナンス (Governance)
- Appendix



TCFDレポート 2022

一括ダウンロード



MITSUBOSHI

MITSUBOSHI
TCFD
REPORT

三ツ星ベルト株式会社 TCFDレポート2022



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ



製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産業用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



2022年

2022 CSR報告書

一括ダウンロード



目次

- ・ トップメッセージ
- ・ 持続可能な企業をめざして
- ・ 環境への取り組み
- ・ 社会への取り組み
- ・ ガバナンスへの取り組み
- ・ 事業場環境データ
- ・ 企業データ



2021年

2021 CSR報告書

一括ダウンロード



目次

- ・ トップメッセージ
- ・ 環境への取り組み
- ・ 品質への取り組み
- ・ 社会貢献活動
- ・ 安全衛生への取り組み
- ・ 働き方改革と人材育成活動
- ・ コーポレート・ガバナンス
- ・ 内部統制体制
- ・ 企業プロフィール



2020年

2020 CSR報告書

一括ダウンロード



目次

- ・ トップメッセージ
- ・ 企業プロフィール
- ・ 環境への取り組み
- ・ 品質への取り組み
- ・ 社会貢献活動
- ・ 安全衛生への取り組み
- ・ 働き方改革と人材育成活動
- ・ コーポレートガバナンス
- ・ 内部統制体制



2019年

2019 CSR報告書

企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ



製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品



一括ダウンロード



目次

- 企業プロフィール
- 環境への取り組み
- 品質への取り組み
- 社会貢献活動
- 働き方改革と人材育成活動
- コーポレートガバナンス
- 内部統制体制

2019 CSR

Corporate Social Responsibility Report

報告書



三ツ星ベルト株式会社
MITSUBISHI BELTING LTD.

2018年

2018 CSR報告書

一括ダウンロード



目次

- 企業プロフィール
- 環境への取り組み
- 品質への取り組み
- 社会貢献活動
- 働き方改革と人材育成活動
- コーポレートガバナンス
- 内部統制体制

CSR報告書 2018



三ツ星ベルト株式会社
MITSUBISHI BELTING LTD.



2017年

環境報告書 2017

一括ダウンロード



目次

- ごあいさつ
- 会社概要
- マテリアルバランス
- 環境マネジメントに関する状況
- 環境保全に向けた取り組み
- 事業場別環境データ

環境報告書
2017



三ツ星ベルト株式会社

2016年

環境報告書 2016

一括ダウンロード



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス +
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ +
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ >

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト +
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品



目次

- ・ [ごあいさつ](#)
- ・ [会社概要](#)
- ・ [製品紹介](#)
- ・ [マテリアルバランス](#)
- ・ [環境経営（環境マネジメント）に関する状況](#)
- ・ [環境保全に向けた取り組み](#)
- ・ [事業所別環境データ](#)



三ツ星ベルト株式会社

2015年

環境報告書 2015

[一括ダウンロード](#) 

目次

- ・ [ごあいさつ](#)
- ・ [会社概況](#)
- ・ [製品紹介](#)
- ・ [マテリアルバランス](#)
- ・ [環境経営（環境マネジメント）に関する状況](#)
- ・ [環境保全に向けた取り組み](#)
- ・ [事業場別環境データ](#)



三ツ星ベルト株式会社

2014年

環境報告書 2014

[一括ダウンロード](#) 

目次

- ・ [ごあいさつ](#)
- ・ [会社概況](#)
- ・ [製品紹介](#)
- ・ [マテリアルバランス](#)
- ・ [環境経営（環境マネジメント）に関する状況](#)
- ・ [環境保全に向けた取り組み](#)
- ・ [事業場別環境データ](#)



三ツ星ベルト株式会社

2013年

環境報告書 2013

[一括ダウンロード](#) 

目次

- ・ [ごあいさつ](#)



企業情報

- 企業情報トップ
- トップメッセージ
- 理念体系
- 中期経営計画
- 会社概要
- コーポレート・ガバナンス +
- 内部統制体制
- 三ツ星ベルトの沿革
- 価値創造ストーリー
- 国内ネットワーク
- 海外ネットワーク

IR情報

- IR情報トップ
- トップメッセージ
- IRニュース
- 財務ハイライト
- IRライブラリ +
- 株主のみなさまへ
- 経営情報
- IRカレンダー
- ディスクロージャーポリシー
- 電子公告

サステナビリティ



製品情報

- 製品情報トップ
- 事業分野から製品を探す
- カタログ
- 自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
- 一般産業用ベルト
- 搬送ベルト +
- エンジニアリングプラスチック素材・加工
- SF(発泡射出)成形
- 建築用防水材
- 土木用遮水材
- 電子材料・塗料
- その他製品

- 会社概況
- 製品紹介
- マテリアルバランス
- 環境経営（環境マネジメント）に関する状況
- 環境保全に向けた取り組み
- 事業場別環境データ



2012年

環境報告書 2012

一括ダウンロード



目次

- ごあいさつ
- 会社概況
- 製品紹介
- マテリアルバランス
- 環境経営（環境マネジメント）に関する状況
- 環境保全に向けた取り組み
- 事業場別環境データ



三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

▲ 企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

▲ IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

▲ 製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

▲ テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

▲ お知らせ一覧

▲ サステナビリティ

▲ ライブラリ

▲ 動画ギャラリー

▲ 採用情報

▲ ブログ

©2025 Mitsuboshi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — SDGsへの取り組み

SDGsへの取り組み

三ツ星ベルトグループのCSR活動は、基本理念「人を想い、地球を想う」のもと、先進の発想と「高機能・高精度・高品質」を提供する高度な技術力の追求によって当社グループを取り巻くステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）との共生を図り、継続して人と社会に貢献することで、快適で豊かな未来を目指してまいります。

社会への貢献

優れた技術に基づいた安全で信頼性の高い製品を提供することで、関係する取引先と連携し社会から必要とされる製品の一端を担うことにより、世界の「ものづくり」に貢献します。



地域社会との連携と協調

広く社会とのコミュニケーションを大切にし、事業活動を果たしながら、地域社会との連携と協調を図り、共生することで社会に貢献します。



地球環境への貢献

環境への負荷が少ない製品づくりやグループで環境保全を推進することで、地球環境との共存を常に意識した企業づくりを目指します。



人権の尊重

社会の人々と従業員の人権を尊重し、従業員一人ひとりが働きやすく、活躍でき、働きがいのある職場を提供できる企業を目指します。



経営統治の継続的強化



企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス +
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ +
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト +
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ

© 2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Sustainability

サステナビリティ

<

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

+

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

+

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

>

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

+

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — サステナビリティ — イニシアティブへの参画

イニシアティブへの参画



関連記事

「脱炭素社会実現への貢献」への取り組み ～TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同表明について～

>

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）フォーラムに参画

>

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

▲ 企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

▲ IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

▲ 製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

▲ テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

▲ お知らせ一覧

▲ サステナビリティ

▲ ライブラリ

▲ 動画ギャラリー

▲ 採用情報

▲ ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



News Releases

お知らせ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス

内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ

株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ

製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト

エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

TOP — お知らせ一覧 — 「サステナビリティ・リンク・ローン」契約の締結について

「サステナビリティ・リンク・ローン」契約の締結について

2023/2/28

三ツ星ベルト株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長 池田 浩）は、この度、株式会社三菱UFJ銀行（本店：東京都千代田区、取締役頭取執行役員 半沢 淳一）をアレンジャーとし、サステナビリティ・リンク・ローン原則に即したシンジケーション方式での「サステナビリティ・リンク・ローン」契約を締結しました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下：SPT）を設定し、貸付条件とSPTの達成状況を連動させることで、借り手の目標達成に向けた動機づけを促進するとともに、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長の促進を目指すものです。

三ツ星ベルトグループは、持続可能な社会の実現への貢献と当社グループの持続的成長を目指し、ESG経営の実践を推進しています。2022年度には、当社グループが取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定し、「環境」、「社会」、「ガバナンス」のESG課題の解決に向け積極的な活動を展開しています。

特定したマテリアリティのひとつでは、「脱炭素社会実現への貢献」として、温室効果ガスの排出量削減目標『2013年比で2023年度：22%以上削減、2030年度：46%削減、2050年：カーボンニュートラル＊（国内8拠点、Scope1・2）』の達成に取り組むべき課題としており、本サステナビリティ・リンク・ローンにおいては、このマテリアリティに沿ったKPI、及び中間年度での削減目標値をSPTとして設定しております。

なお、当社が設定しました当SPTは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所(JCR)より“野心的な目標である”との評価を受けました。また、本サステナビリティ・リンク・ローンは国際的な指針である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」との適合性について同社より第三者意見書を取得しております。

三ツ星ベルトグループは、今後も、企業理念「人を想い、地球を想う」のもとサステナブルな事業活動を推進し、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値の向上を目指してまいります。

本サステナビリティ・リンク・ローンの概要

組成方法：シンジケートローン

組成金額：50億円

契約締結日：2023年2月22日

契約期間：5年

アレンジャー：株式会社三菱UFJ銀行

資金用途：設備資金

設定したSPT：2025年度のCO2排出量を2013年度対比で27%削減させる

株式会社日本格付研究所による第三者意見書：<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

このニュースに関するお問い合わせ先

三ツ星ベルト株式会社
社長室 広報
直通電話 078-685-5604



よくあるご質問を掲載
よくあるご質問



ご質問やお問い合わせはこちら
お問い合わせ



カタログなど資料はこちら
ライブラリ



ENGLISH | 中文

企業情報

企業情報トップ
トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス +
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ +
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ
事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト +
エンジニアリングプラスチック素材・加工
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

お知らせ一覧

サステナビリティ

ブログ

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.



Resources Library

ライブラリ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

TOP — ライブラリ — 各種方針

各種方針

行動基準



人権方針



環境基本方針



品質基本方針



労働安全衛生基本方針



情報セキュリティ方針



ディスクロージャーポリシー



調達方針



調達ガイドライン



プライバシーポリシー



クッキーポリシー



IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告



よくあるご質問を掲載
よくあるご質問



ご質問やお問い合わせはこちら
お問い合わせ



カタログなど資料はこちら
ライブラリ

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリーCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

お知らせ一覧

サステナビリティ

ライブラリ

動画ギャラリー

採用情報

ブログ



ENGLISH | 中文

企業情報

企業情報トップ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品



Sustainability

サステナビリティ

トップメッセージ

理念体系

中期経営計画

会社概要

コーポレート・ガバナンス



内部統制体制

三ツ星ベルトの沿革

価値創造ストーリー

国内ネットワーク

海外ネットワーク

TOP — サステナビリティ — サステナビリティアーカイブ

サステナビリティアーカイブ

過去のサステナビリティページは以下よりご確認ください。

2024年度

三ツ星ベルト株式会社「サステナビリティ」ページ2024年度



※過去の統合報告書・サステナビリティレポート・CSR 報告書・環境報告書は[こちら](#)よりダウンロードください。

IR情報

IR情報トップ

トップメッセージ

IRニュース

財務ハイライト

IRライブラリ



株主のみなさまへ

経営情報

IRカレンダー

ディスクロージャーポリシー

電子公告

サステナビリティ



製品情報

製品情報トップ

事業分野から製品を探す

カタログ

自動車・二輪・建機・産機用伝動ベルト

一般産業用ベルト

搬送ベルト



エンジニアリングプラスチック素材・加工

SF(発泡射出)成形

建築用防水材

土木用遮水材

電子材料・塗料

その他製品

三ツ星ベルト株式会社

ご利用にあたって | プライバシーポリシー | クッキーポリシー | サイトマップ

▲ 企業情報

トップメッセージ
理念体系
中期経営計画
会社概要
コーポレート・ガバナンス
内部統制体制
三ツ星ベルトの沿革
価値創造ストーリー
国内ネットワーク
海外ネットワーク

▲ IR情報

トップメッセージ
IRニュース
財務ハイライト
IRライブラリ
株主のみなさまへ
経営情報
IRカレンダー
ディスクロージャーポリシー
電子公告

▲ 製品情報

事業分野から製品を探す
カタログ
自動車・二輪用伝動ベルト
一般産業用ベルト
搬送ベルト
樹脂製品
SF(発泡射出)成形
建築用防水材
土木用遮水材
電子材料・塗料
その他製品

▲ テクニカルサポート

ベルト設計支援ソフト
適正張力計算コーナー
プーリCADデータ
テクニカルライブラリ
用途別設計検討事例集
よくあるご質問
製品の該非判定について
改正食品衛生法適合製品
環境負荷物質対応製品

▲ お知らせ一覧

▲ サステナビリティ

▲ ライブラリ

▲ 動画ギャラリー

▲ 採用情報

▲ ブログ

©2025 Mitsubishi Belting Ltd. All Rights Reserved.

